

配筋撮影ツールマニュアル

はじめに

「現場編集長 CALSMaster 配筋撮影オプション」は、施工業者の CALS 対応、電子納品などが行える統合型の業務 IT 化ソフトウェア「現場編集長 CALSMaster」に配筋断面図切り出し機能を追加するツールです。配筋断面図は主に建築工事などで利用されますが、建築工事に限らずいずれの工事でも機能をお使いいただけます。

本マニュアルでは、「現場編集長 CALSMaster 配筋撮影オプション」（以下、本製品と表記します。）の一連の操作について解説しています。ご使用になる前に必ずお読みください。

著作権・商標

Copyright© TDBIS. All rights reserved.

株式会社帝国データバンク情報システム

配筋撮影ツールの著作権は、株式会社帝国データバンク情報システムにあります。

※このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用・複製することは、禁止されています。

※このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

※本書掲載の画面構成は開発時のものです。実際の画面と一部表記が異なる場合があります。

目次

はじめに.....	ii
目次	iii
1. ご使用の前に.....	1
1-1. 利用環境.....	1
1.1.1. OSの確認.....	1
1.1.2. Microsoft Excelの確認.....	2
1.1.3. 「.NET Framewok3.5」のインストール.....	2
2. 概要	5
2-1. 特徴	5
2.1.1. 配筋写真の工事写真アルバムへ構造図の部材断面図を並べて表示	5
2.1.2. 個別部材の断面図を簡単に切り出し.....	6
2-2. 配筋写真の自動整理	7
切り出した部材断面図の2次活用（配筋検査チェックシートへ転用）	8
3. 工事の作成と管理.....	9
3-1. 新規工事作成.....	9
3-2. 符号（構造略称）の登録	11
3.2.1. 項目名の変更	11
3.2.2. 通り名の登録	11
3.2.3. 部位の登録	13
3.2.4. 符号の登録	14
3.2.5. 位置の登録	19
3.2.6. 項目のCSV取込と出力	20
3.2.7. 項目間の関連付け.....	24
3-3. 工事情報登録.....	28
3.3.1. 構造情報の設定.....	29
3.3.2. 伏図の設定	34
3.3.3. 階別撮影部位設定.....	35
3-4. 登録符号の再編集	38
4. 断面図切り出し	39
4-1. 一括切出しと個別切出し	40
4-2. 一括切出し.....	42
4-3. 個別切出し.....	54
4.3.1. 表の個別切出し.....	55
4.3.2. 窓枠切出し	60

4.3.3. 個別切出し その他の機能	66
4.3.4. 窓枠一括切出し.....	69
4-4. 部材断面図の保存フォルダ.....	71
4.4.1. 断面図フォルダの作成	71
4.4.2. 断面図フォルダの設定と構成	72
5. 撮影リスト作成.....	73
5-1. 部材断面図を元に一括作成.....	73
5.1.1. 撮影リスト作成時の注意	76
5.1.2. 撮影リスト作成.....	77
5.1.3. 撮影リスト上の断面図項目について	79
5.1.4. 黒板表示	80
5.1.5. 断面図出力	81
5-2. CSV データへの出力、CSV データからの取り込み	83
5.2.1. CSV ファイルへ出力.....	83
5.2.2. CSV ファイルの編集.....	84
5.2.3. CSV ファイルからの取り込み	86
5-3. リストの編集.....	87
5.3.1. リストの表示方法.....	87
5.3.2. 通り名の編集	89
5.3.3. 符号の編集	92
5.3.4. 位置の編集	93
5.3.5. 行の追加と削除.....	95
6. その他	98
6-1. データのバックアップの作成と回復	98
6.1.1. バックアップデータの作成	98
6.1.2. バックアップデータの回復	100
7. 現場作業～配筋写真の撮影方法.....	102
7-1. デジタルカメラの初期設定.....	102
7-2. 撮影リストをカメラへ転送.....	102
7-3. 部材断面図の Excel 出力	108
7-4. 黒板添付用部材断面図の出力	110
8. Q & A 索引.....	113
8-1. 現場作業編.....	113
8-2. 準備作業編.....	114
8-3. その他	115

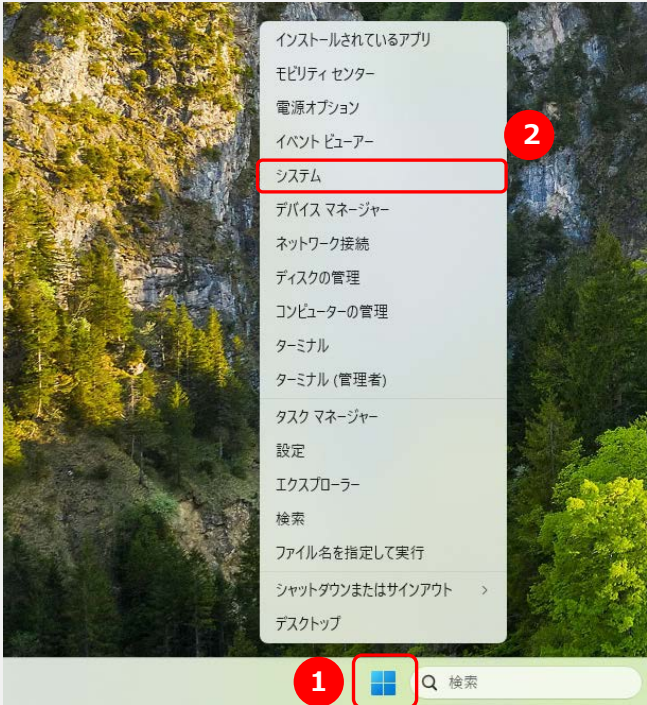

1. ご使用の前に

配筋撮影ツールを初めて使う場合は以下の項目を確認して下さい。

1-1. 利用環境

1.1.1. OS の確認

OS（オペレーションシステム）が Microsoft Windows 10 / 11（32,64bit）であること。

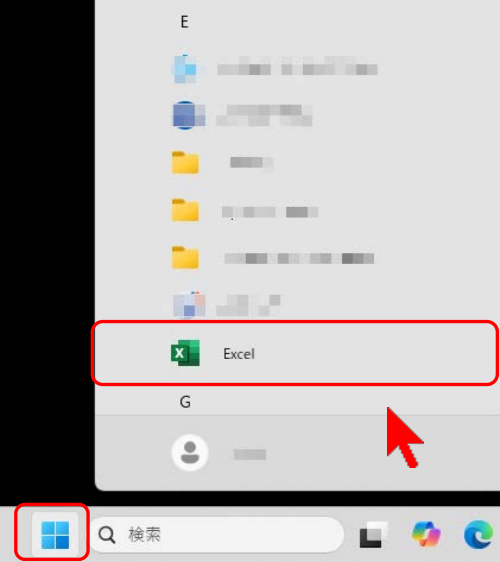
画面イメージ	項目
	<p>①【スタート】ボタンを右クリック</p> <p>②【システム】をクリック</p>
	<p>③「Windows の仕様」の項目をご確認ください。</p>

※撮影リストの CSV 出力・取り込み機能の利用時は Microsoft Office Excel がインストールされている必要があります。

1.1.2. Microsoft Excel の確認

Microsoft Office Excel（エクセル）がインストールされていること。

部材リストを Excel の CSV 形式ファイルで編集して取り込みたい場合や、部材断面図を Excel ファイルへ貼り付けて出力したい場合には事前に Excel がインストールされている必要があります。

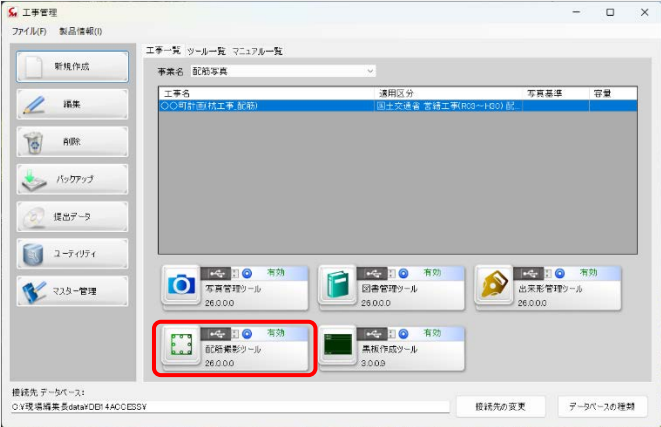

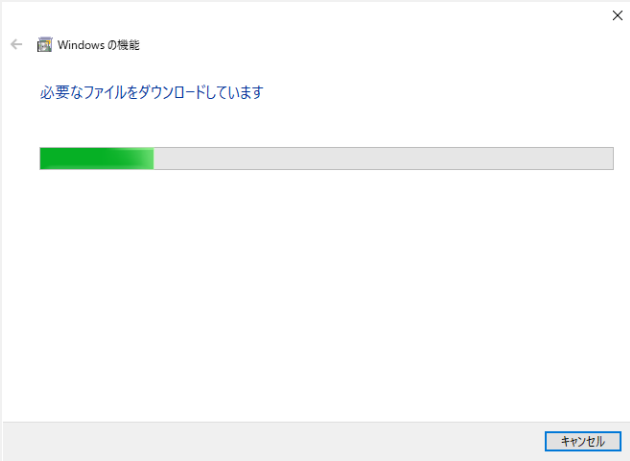
画面イメージ	項目
	① 【スタート】ボタンをクリックするとインストールされているプログラムが確認できるので Excel がインストールされているかご確認下さい。

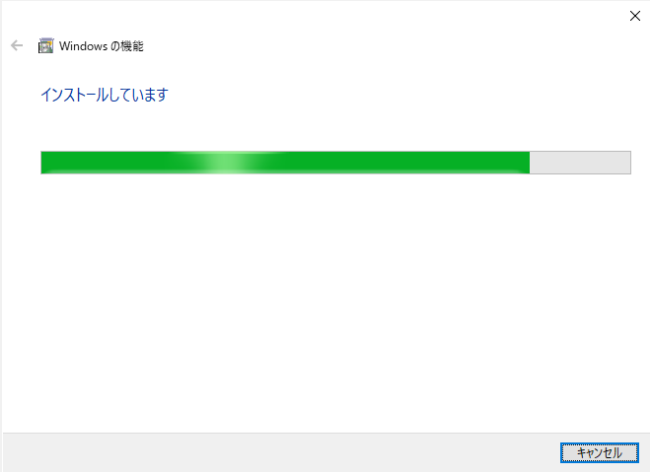
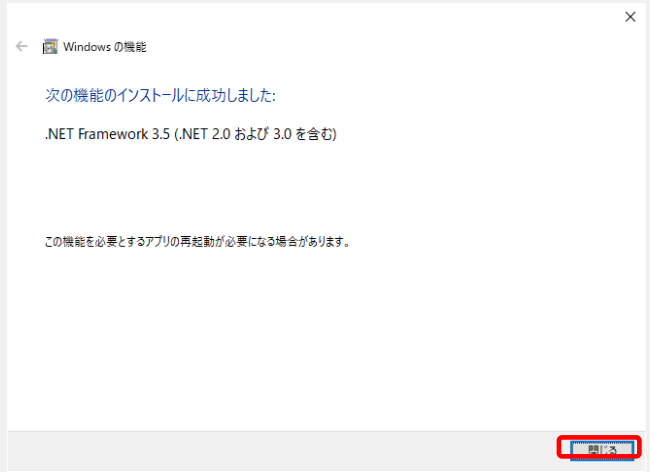
1.1.3. 「.NET Framework3.5」のインストール

配筋撮影ツールの起動には「.NET Framework3.5」のインストールが必要です。

お使いの PC に「.NET Framework3.5」がインストールされていない場合、配筋撮影ツール起動時にインストール画面に進みます。画面に従いインストールを進めてください。

（.NET Framework3.5」が既にインストールされている場合、この画面は表示されません。）

画面イメージ	説明
	<p>①新規工事を作成し、配筋撮影ツールをクリックします。</p> <p>※新規工事の作成方法は「3.1 新規工事の作成」を参照</p>
	<p>②「.NET Framework3.5」がインストールされていない場合、左記の画面が表示されます。</p> <p>「この機能をダウンロードしてインストールする」をクリックします。</p> <p>※既にインストールされている場合はこの画面は表示されません。</p>
	<p>③ファイルのダウンロードが始まります。</p>

 <p>The screenshot shows the 'Windows の機能' (Windows Features) window. At the top, it says 'インストールしています' (Installing). Below this is a green progress bar that is approximately 75% full. At the bottom right, there is a 'キャンセル' (Cancel) button.</p>	<p>④ファイルのダウンロードが完了するとインストールが開始されます。</p>
 <p>The screenshot shows the 'Windows の機能' (Windows Features) window after successful installation. It says '次の機能のインストールに成功しました:' (Successfully installed the following features:). Below this, it lists '.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)' (.NET Framework 3.5 (including .NET 2.0 and 3.0)). A note at the bottom states 'この機能をもととするアプリの再起動が必要になる場合があります。' (An application that uses this feature may need to be restarted). At the bottom right, the '閉じる' (Close) button is highlighted with a red rectangle.</p>	<p>⑤完了画面が表示されたら「閉じる」をクリックします。</p> <p>事前確認は以上となります。</p>

2. 概要

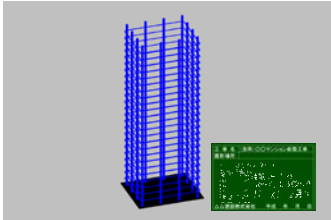
2-1. 特徴

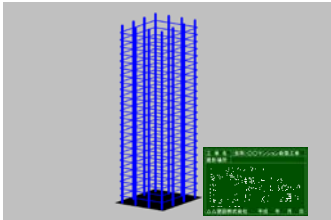
2.1.1. 配筋写真の工事写真アルバムへ構造図の部材断面図を並べて表示

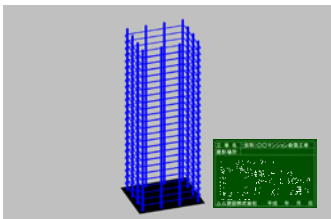
工事写真撮影時に現場で黒板へ記載している部材断面図がアルバム内で写真の横へ表示されるので、黒板には、階・符号・撮影日など、最低限の内容を記載すれば済みます。

現場では黒板へ部材断面図を転記する際にミスが発生することがあり、その黒板を帳票で印刷すると図が小さくて判読しにくいなどの問題が見られますが、設計図面をそのまま切り出して利用する本ツールではその問題を解消できます。

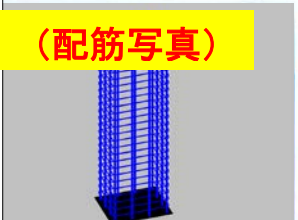
<一般的な印刷帳票>

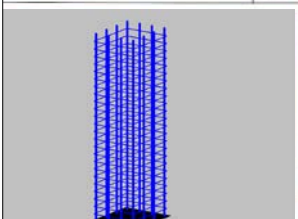
	階 : 1階
	部位 : 柱
	符号 : C1
	通り名 : X1, Y2
撮影日 : 年 月 日	
立会者 :	
備考 :	

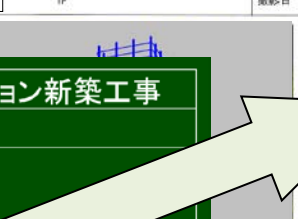
	階 : 1階
	部位 : 柱
	符号 : C1
	通り名 : X1, Y2
撮影日 : 年 月 日	
立会者 :	
備考 :	

	階 : 1階
	部位 : 柱
	符号 : C1
	通り名 : X1, Y2
撮影日 : 年 月 日	
立会者 :	
備考 :	

<工事写真アルバム例>

1F	撮影日	検査者
	符号	C1
	断面	SAMPLE 1C1
	1階	
	1F	
部位	柱	通り名 X1 Y2
符号	C1	位置 外壁部
備考		

1F	撮影日	検査者
	符号	C2
	断面	SAMPLE 1C2
	1階	
	1F	
部位	柱	通り名
符号	C2	位置 中央部
備考		

1F	撮影日	検査者
	符号	C3
	断面	SAMPLE 1C3
	1階	
	1F	
部位	柱	通り名
符号	C3	位置 内廊部
備考		

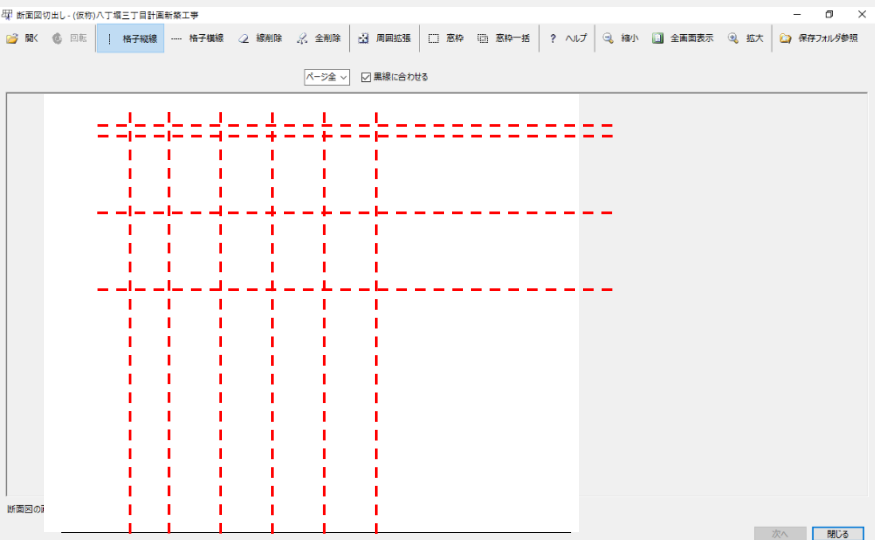
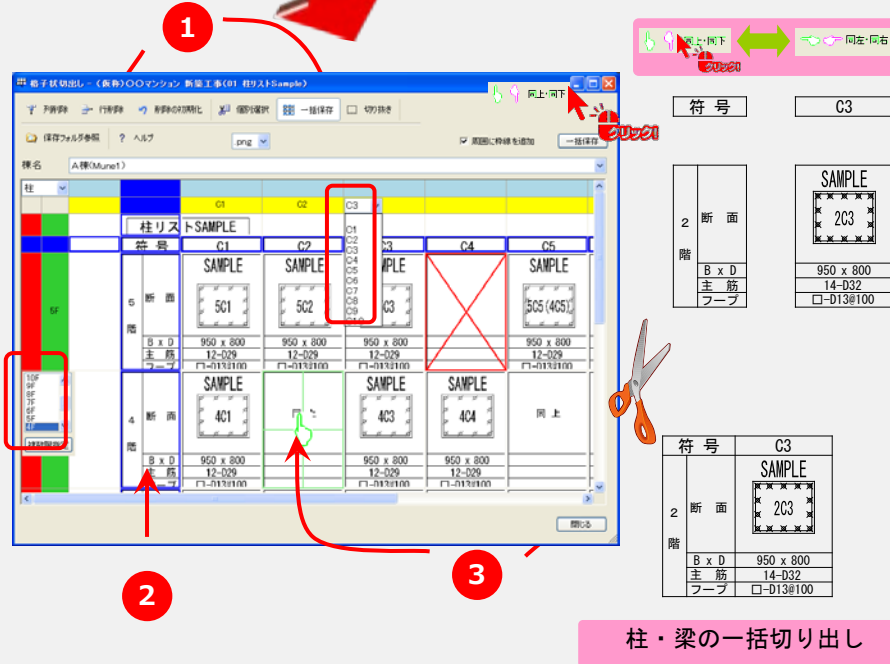


不要

工 事 名	(仮称)〇〇マンション新築工事
撮影場所	
C1 950×950	
主筋 14-D13@100	
1F、X1、Y2通り	
△△建設株式会社 平成 年 月 日	

2.1.2. 個別部材の断面図を簡単に切り出し

設計の構造図を画像データ化し、各階各符号の部材別に切り出した断面図が簡単に作成できます。

断面図切り出しメニュー画面	説明
	<p>画像ファイル化した構造図を切り出しメニューで開き、分割する位置をマウスで入力。</p>
 <p>① 行と列へ「階」と「符号」を選択入力。</p> <p>② 表題となる行と列を指示</p> <p>③ 「同上・同下・同左・同右」への対応。</p> <p>部材の無い階への対応。</p> <p>符号別に切り出しが不要な階を指定。</p> <p>柱・梁の一括切り出し</p>	

2-2. 配筋写真の自動整理

リコーデジタルカメラの「カメラメモ機能」を利用し、写真の自動整理が可能です。
カメラメモ機能を用いて写真撮影を行うと、撮影後写真データを配筋撮影ツールへ取り込むだけで自動整理されます。

リコー G700/G800/G900	説明
	① 撮影リストを作成し、カメラへ転送。
	②現場での撮影時に「階」、「部位」、「符号」などの情報を確認しながら撮影。

切り出した部材断面図の2次活用（配筋検査チェックシートへ転用）

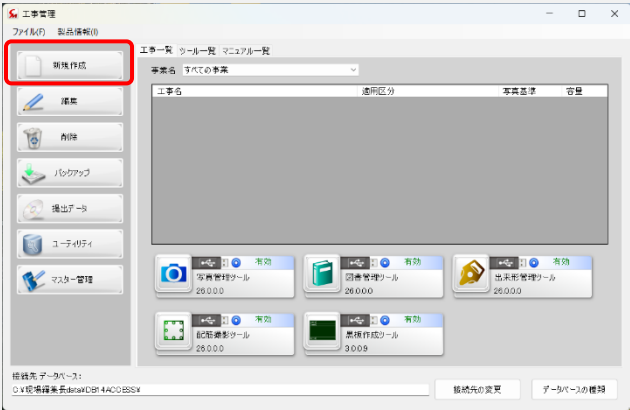

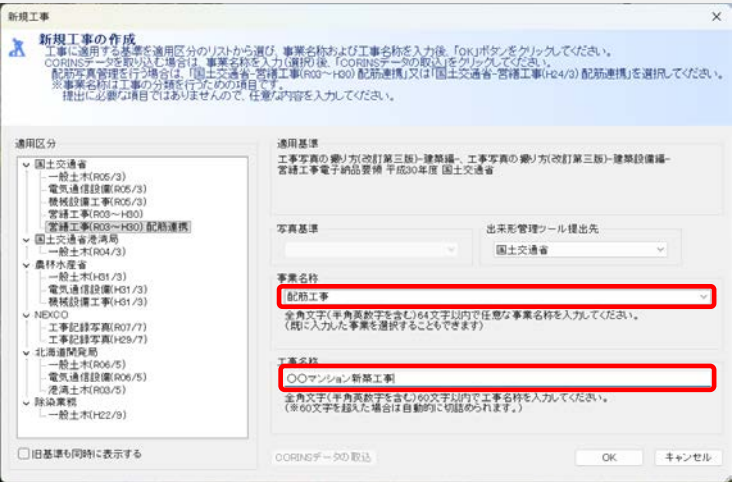
構造図から切り出した各部材の断面図を Excel ファイルへ貼り付けて出力することができ、ファイルを編集して配筋検査チェックシート等へ転用することができます。

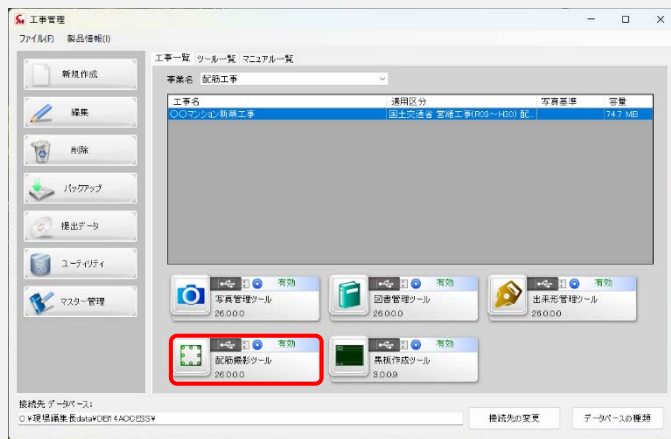
画面イメージ	項目
<p>The diagram illustrates the workflow for reusing section views. It starts with a grid of section views from a structural drawing. A specific section view (C3) is highlighted, showing its details: a square section with a central hole, dimensions 950 x 800, and a reinforcement area of 14-332. This view is then pasted into an Excel spreadsheet, where it appears as a detailed image within a cell.</p>	<p>各階伏せ図の画像を割り付けると一緒に出力できます。</p>

※本機能の利用には Microsoft Office Excel がインストールされている必要があります。

3. 工事の作成と管理

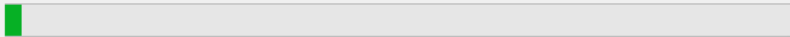
3-1. 新規工事作成

画面イメージ	説明
	<p>① 工事管理画面にて【新規作成】を選択。</p>
	<p>② 適用区分内の 【営繕工事(R01/10/・H30/2) 配筋連携】か 【営繕工事(H24/3) 配筋連携】 を選択。</p>
	<p>③ 【事業名称】欄と【工事名称】欄に工事の正式名称を入力。</p>

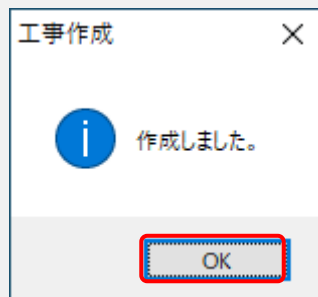


- ④ 工事データが作成されるので「配筋撮影ツール」をクリックします。

工事作成中...



- ⑤ 初回起動時のみ、工事データの作成処理が実行されます。

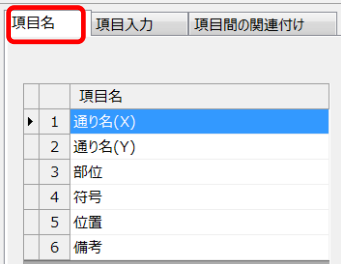


- ⑥ 作成完了メッセージが表示されますので「OK」をクリックします。

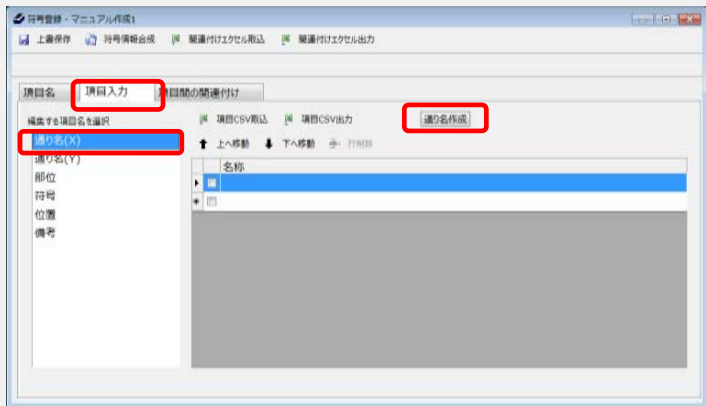
3-2. 符号（構造略称）の登録

工事情報を登録する前に符号（構造略称）を定義しておく必要があります。

3.2.1. 項目名の変更

画面イメージ	説明
	<p>①【項目名】タブを選択すると、項目名の一覧が表示されます。</p> <p>ここで項目名を変更することができます。</p>

3.2.2. 通り名の登録

画面イメージ	説明
	<p>①【項目入力】タブを選択してください。</p> <p>②【通り名作成】ボタンを押してください。</p>

通り名作成

☒ X通り ☒ X 1 ~ X X1,X2... 1,2,3
☐ A ~ A,B,C...

☒ Y通り ☒ Y 1 ~ Y 1 Y1,Y2... 1,2,3
☐ A ~ A,B,C...

アルファベットと数字の通り名 OK キャンセル

数字のみの通り名

☒ X 1 ~ X 10 X1,X2... 1,2,3

アルファベットのみの通り名

☒ A ~ G A,B,C...

③【通り名作成】画面が開きます。

伏図を元に、X方向、Y方向の通り名を入力してください。

また、数字を入力してください。

ここで入力した数字・アルファベットの通り名が自動作成されます。

通り名作成

☒ X通り ☒ X 1 ~ X X1,X2... 1,2,3
☐ A ~ A,B,C...

☒ Y通り ☒ Y 1 ~ Y 1 Y1,Y2... 1,2,3
☐ A ~ A,B,C...

OK キャンセル

④【OK】ボタンを押すと通り名が自動作成されます。

項目名 項目入力 項目間の関連付け

編集する項目名を選択

項目CSV取込 項目CSV出力 通り名作成

↑ 上へ移動 ↓ 下へ移動 行削除

通り名(X)
 通り名(Y)

単位
 符号
 位置
 備考

名称
Y1
Y2
Y3
Y4
Y5
TEST

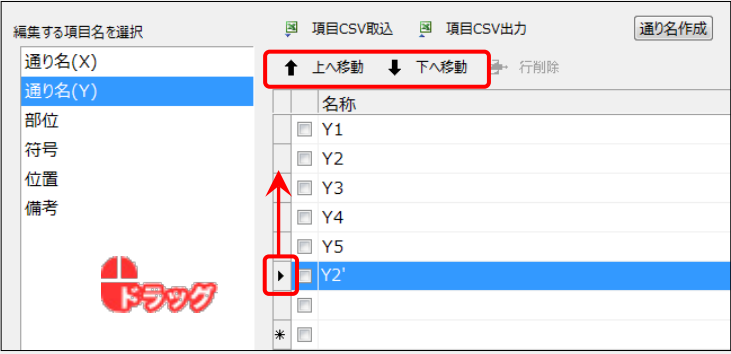

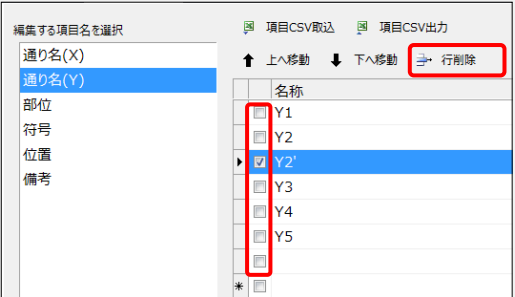
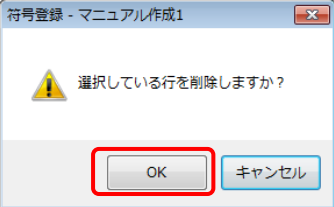
⑤. 通り名を追加したい場合は最下行へ直接入力してください。

半角で入力した「」記号は全角に変換されます。

置換確認

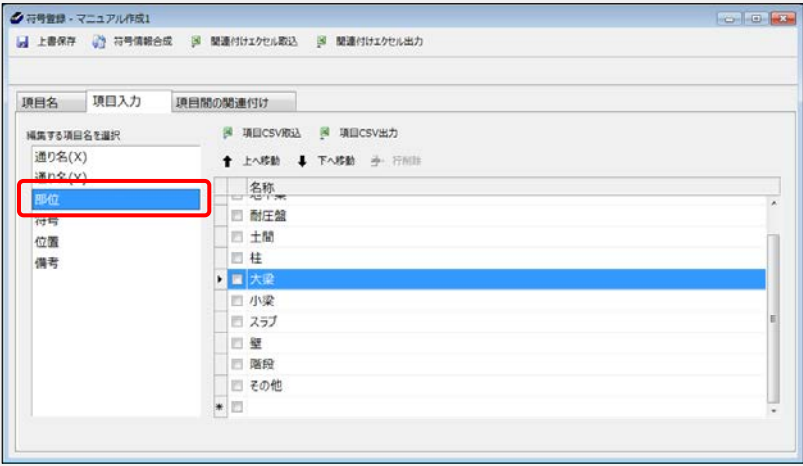
「」を「」に変換しないと確定できません。変換しますか？

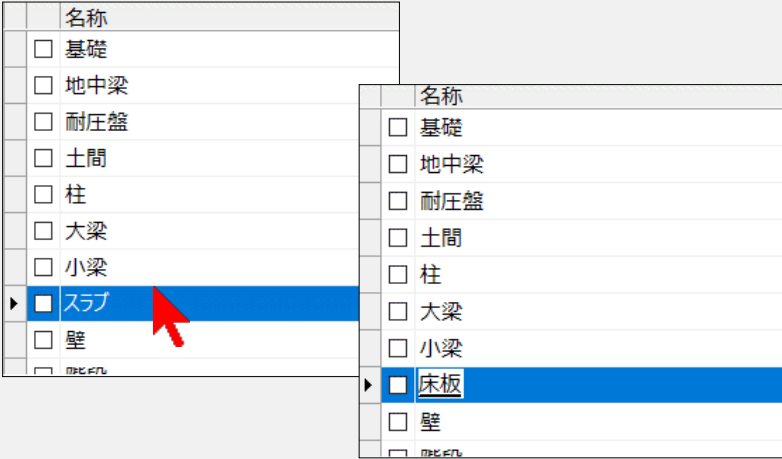
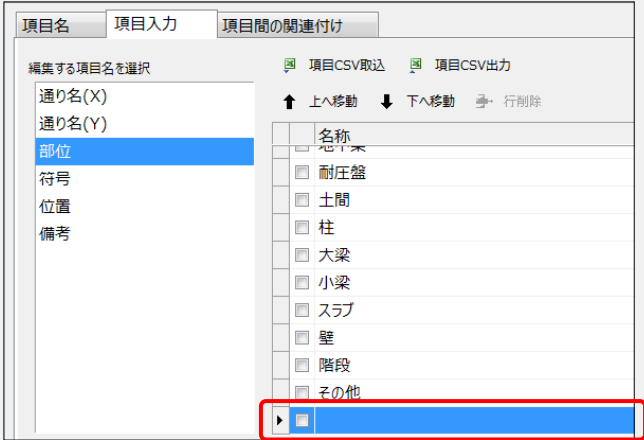
はい(Y) いいえ(N)

	<p>⑥ここで表示されている通り名の登録順が選択入力画面での表示順となります。</p> <p>登録順を変更するには、各通り名行左側の  をドラッグして下さい。</p> <p>または、移動させたい行を選択して、【上へ移動】【下へ移動】ボタンで1行ずつ移動してください。</p>
	<p>⑦通り名のチェックボックスにチェックマークを入れ【行削除】ボタンを押すと削除が可能です。</p> <p>尚、削除対象となるチェックマークは複数選択できます。</p>
	<p>⑧削除の確認メッセージが表示されます。</p> <p>【OK】を選択すると削除されます。</p>

3.2.3. 部位の登録

柱、梁、壁、スラブ棟の「部位」は、初期設定で事前に作成されている部位を編集して登録します。

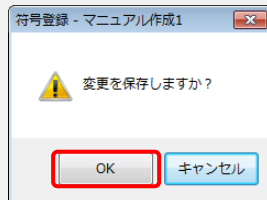
画面イメージ	説明
	<p>①【項目入力】タブが選択された状態で、【部位】を選択してください。</p> <p>すると、初期設定の部位名が表示されます。</p>

	<p>②部位名をクリックすると、部位名の編集が可能です。名称を直接入力して変更して下さい。</p>
	<p>③部位名を追加したい場合は、最下行をクリックして直接入力して下さい。</p>

3.2.4. 符号の登録

連続する数字の符号を自動作成することができます。

画面イメージ	説明
	<p>①【符号】を選択し、【符号作成】ボタンをクリックして下さい。</p>



符号作成

連番による指定 厚さによる指定

部位	行追加	削除	符 号
基礎	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	F 1 ~ 1
礎柱	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	1 ~ 1
地中梁	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	FG 1 ~ 1
小梁	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	B 1 ~ 1
床版	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	S 1 ~ 1
雑配筋	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	1 ~ 1

C1A, C2A, C3A は C#A 1~3 と入力
C1A, C1B, C1C は C1# A~C と入力
連番を使用しない場合は 0~0 と入力

OK キャンセル

②現状の編集を保存する確認メッセージが表示されるので【OK】をクリックしてください。

（「部位」の変更内容が保存されます。）

すると、符号作成画面が開きます。

部位	行追加	削除	符 号
基礎	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	F 1 ~ 1
地中梁	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	FG 1 ~ 1
耐圧盤	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	FS 1 ~ 1
土間	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	D 1 ~ 1
柱	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	C 1 ~ 1
大梁	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	G 1 ~ 1

③事前に登録した部位が表示されます。

ここで、部位ごとにアルファベットと連続する数字の組み合わせで符号を作成します。

部位の行ごとにアルファベットを入力してください。

符号作成

連番による指定 厚さによる指定

部位	行追加	削除	符 号	1	2	3
基礎	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	F	1	~	1
礎柱	▼	<input checked="" type="checkbox"/>		1	~	1
地中梁	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	FG	1	~	1
小梁	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	B	1	~	1
床版	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	S	1	~	1
雑配筋	▼	<input checked="" type="checkbox"/>		1	~	1

部位	行追加	削除	符 号	1	2	3
基礎	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	F	1	~	1
地中梁	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	FG	1	~	1
		<input type="checkbox"/>	FCG	1	~	1

1つの部位で、符号のアルファベットが複数種類ある場合は、【行追加】列の「▼」マークをクリックしてください。

【削除】チェックマークを外すとその行の符号は作成されません。

(行背景がグレーで表示されます)

符号作成

連番による指定 厚さによる指定

部位	行追加	削除	符 号	1	2	3
基礎	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	F	1	~	1
礎柱	▼	<input checked="" type="checkbox"/>		1	~	1
地中梁	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	FG	1	~	1
小梁	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	B	1	~	1
床版	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	S	1	~	1
雑配筋	▼	<input checked="" type="checkbox"/>		1	~	1

部位	行追加	削除	符 号	1	2	3
大梁	▼	<input checked="" type="checkbox"/>	G	1	~	1
		<input checked="" type="checkbox"/>	G#A	3	~	8
		<input checked="" type="checkbox"/>	G1#	A	~	C



G1、G2、G3、G4、G5
 G3A、G4A、G5A、G6A、G7A、G8A
 G1A、G1B、G1C
 (自動作成後の登録順は、G1、G1A、G1B、G1C、G2、G3・・・とはなりません)

④. 部位ごとに符号の連続する数字を入力します。


欄によって符号が異なり、数字が連続しない場合には、行を追加して同じアルファベットを入力し、数字を複数行に分けて入力してください。

G1A、G2A、G3A、などの符号はアルファベット入力欄を「G#A」と数字が入る文字位置に「#」を入力してください。

また、G1A、G1B、G1C、などのアルファベットが連続となる符号は、アルファベット入力欄に「G1#」と入力し、数字入力欄へ「A」～「C」などのアルファベットを入力してください。

柱  C1
C2
梁  G1
G2


⑧ 符号を編集するには、符号をクリックして直接入力してください。

 符号作成画面で作成された符号は、「部位」と「符号」が関連付けられています。異なる「部位」への編集は行わないで下さい。

<例>

既に「柱」へ関連付けされている「C1」を「G1」へ名称変更しても「梁」へは関連付けされません。関連付け設定は 22 ページ参照。

⑨. 符号の追加は最下行をクリックして直接入力してください。

 最下行に直接入力で追加した符号は、部位と関連付けがされていません。部位との関連付けを行ってください。
(部位と符号の関連付けは 22 ページ参照)

⑩ 不要な符号を削除するには、削除する行のチェックボックスをクリックしてチェックマークを入れ、「行削除」アイコンをクリックします。

なお、削除対象のチェックマークは複数選択できます。

⑪ 削除の確認メッセージが表示されます。
【OK】をクリックすると削除されます。

⑫. 符号の登録順が選択入力画面での表示順となります。登録順を変更するには、各符号行左側の ▶ をドラッグしてください。

または、移動したい行を選択して

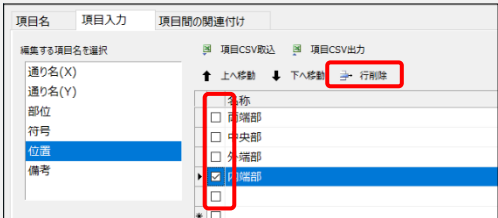
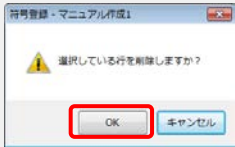
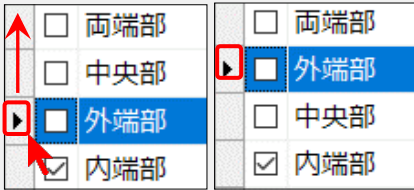
↑ 上へ移動
↓ 下へ移動

で1行ずつ移動してください。

3.2.5. 位置の登録

柱の「柱脚」、「柱頭」や、梁の「端部」、「中央部」など区別して写真を撮影する部材内の位置を登録します。

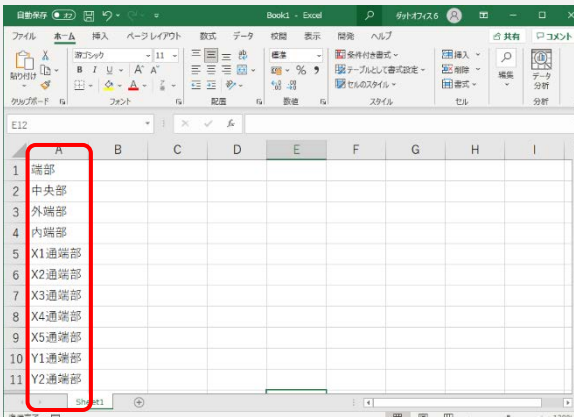
画面イメージ	説明
	①項目入力タブを選択した状態で、【位置】をクリックします。
	②部位を一覧へ直接入力して登録します。最下行をクリックすると追加登録が可能です。
	③名称を編集するには、行をクリックして直接入力してください。

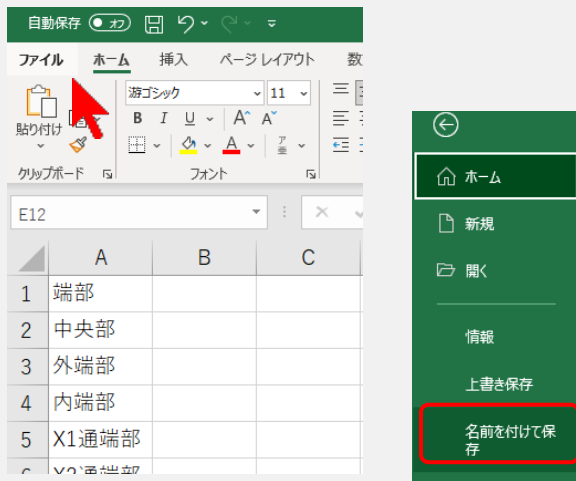
	<p>④不要な部位名を削除するには、削除したい行のチェックボックスにチェックマークを入れ【行削除】を選択してください。</p> <p>なお、削除対象のチェックマークは複数選択できます。</p>
	<p>⑤削除の確認メッセージが表示されます。</p> <p>【OK】をクリックすると削除されます。</p>
	<p>⑥部位の登録順が選択入力画面での表示順となります。</p> <p>登録順を変更するには、各符号行左側の▶をドラッグしてください。</p> <p>または、移動する行を選択して</p> <div style="text-align: center;"> ↑ 上へ移動 ↓ 下へ移動 </div> <p>ボタンで1行ずつ移動させて下さい。</p>

3.2.6. 項目のCSV取込と出力

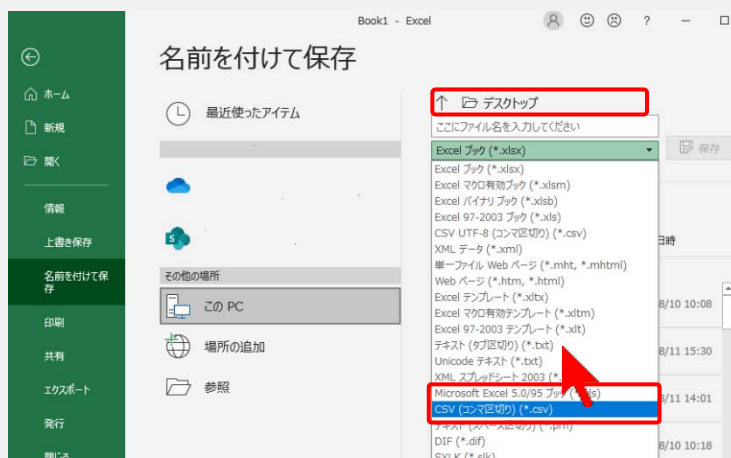
通り名、部位、符号、位置、の各項目をエクセルで編集し、CSV形式のファイルから取り込むことができます。

以下では、位置の項目取り込みを例として紹介します。

画面イメージ	説明
	<p>①エクセルを起動して新規ファイルの「A」列最上行から列方向へ項目を入力してください。</p> <p>項目は連続して入力し、中間に空白行は設けないでください。</p>

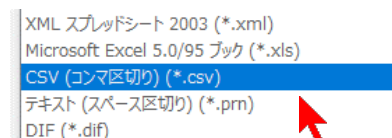


②【ファイル】→【名前を付けて保存】をクリックしてください。

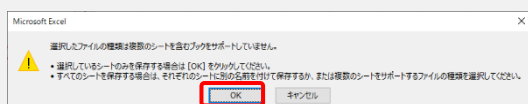


③ファイルの保存先を選択してください。

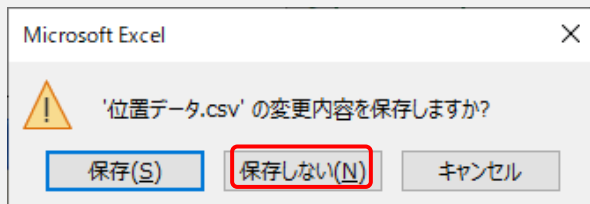
④【ファイルの種類】から【CSV（コンマ区切り）】を選択してください。



⑤ファイル名を付けて【保存】ボタンをクリックしてください。

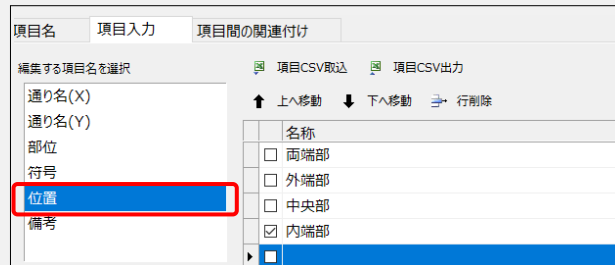


⑥複数シートを保存できない事を確認するメッセージが表示されます。
【OK】をクリックしてください。

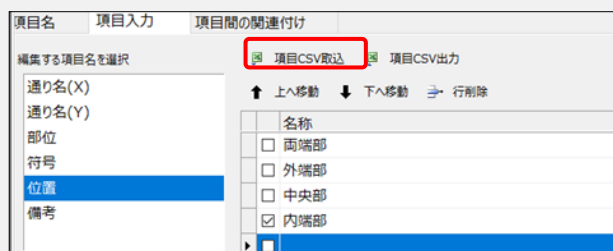


⑦エクセルファイルを閉じてください。

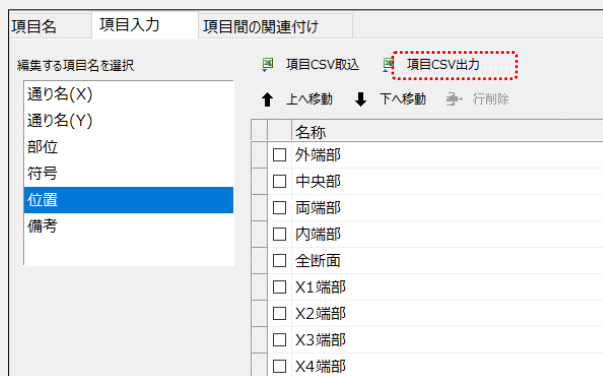
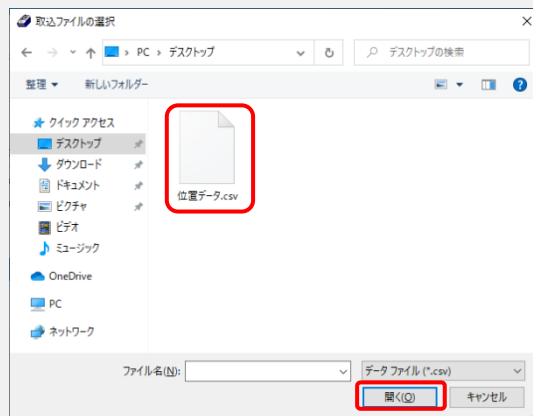
⑧変更の保存確認メッセージが表示されます。【いいえ】をクリックしてください。



⑨配筋撮影ツールの符号登録画面へ戻り、項目入力タブを選択した状態で【位置】をクリックしてください。



⑩【項目CSV取込】をクリックしてください。



⑪取込ファイルの選択画面が開きます。
作成したエクセルC S Vファイルの保存先を開き、ファイルを選択して【開く】をクリックしてください。

C S Vファイルで作成した項目が取り込まれます。登録順はC S Vファイルの入力順と同じです。

重複している項目は複数登録されません。
現状の項目をC S Vファイルへ出力して利活用する場合は【項目C S V出力】をクリックしてください。

3.2.7. 項目間の関連付け

登録した、“部位”と“符号”、“符号”と“位置”を関連付けします。項目間の関連付けによって、部材の断面図切出しメニューで“符号”を選択入力するとき、全ての符号から選択せずに、「柱、梁、壁、スラブ・・・」など“部位”の条件によって関連付けされた“符号”から選択入力することができます。

また、写真の撮影リストを「部材リスト作成」で一括作成するとき、各階“部位”別に関連付けされている“符号”を元にリストを作成します。さらに“符号”に「端部、中央部、柱脚、柱頭・・・」などの“位置”が関連付けされていると、“位置”別にリストが作成されます。

<部位と符号の関連付け>

- ・柱 └ C1
└ C2
- ・梁 └ G1
└ G2

“部位”と“符号”の関連付けを行うと「断面図切出し」と「部材リスト」の符号選択入力時に“部位”に関連付けされた“符号”の中から選択可能となります。「符号作成」メニューから作成された“符号”は自動で関連付けされます。

直接入力で追加した“符号”は“部位”へ関連付けを行って下さい。

<符号と位置の関連付け>

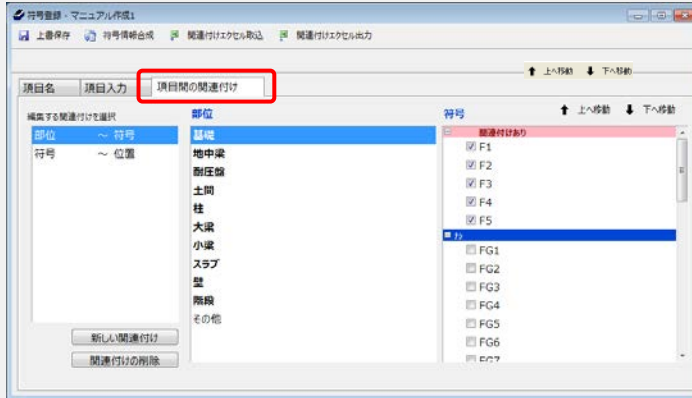
- ・G1 └ 端部
└ 中央部
- ・G2 └ 外端部
└ 中央部
└ 内端部

棟名	階	工区	通り名1	通り名2	部位	符号	位置
1	☑ A棟	2F	2F_1工区		大梁	G1	端部
2	☑ A棟	2F	2F_1工区		大梁	G1	中央部
3	☑ A棟	2F	2F_1工区		大梁	G2	外端部
4	☑ A棟	2F	2F_1工区		大梁	G2	中央部
5	☑ A棟	2F	2F_1工区		大梁	G2	内端部
6	☑ A棟	2F	2F_1工区		大梁	G3	
7	☑ A棟	2F	2F_1工区		大梁	G4	X1 端部
8	☑ A棟	2F	2F_1工区		大梁	G4	中央部
9	☑ A棟	2F	2F_1工区		大梁	G4	X2 端部
10	☑ A棟	2F	2F_1工区		大梁	G5	

画面イメージ

説明

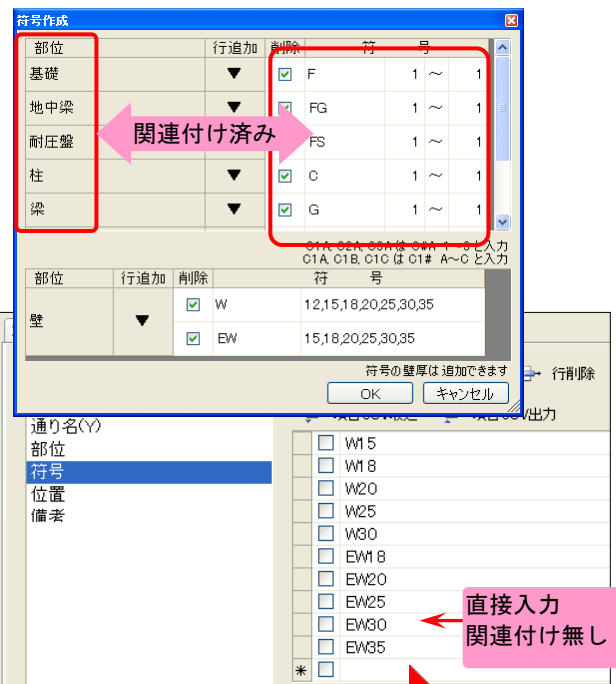
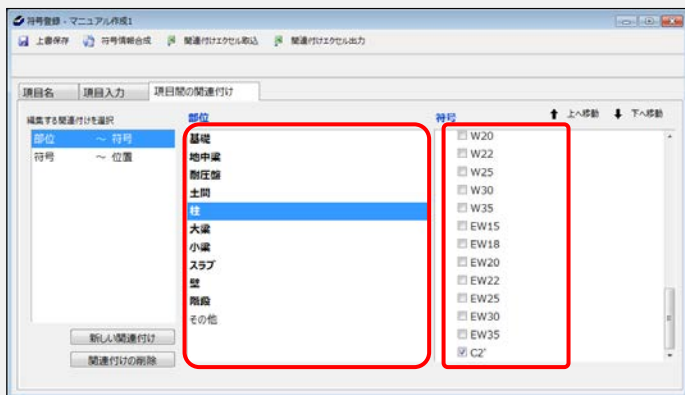
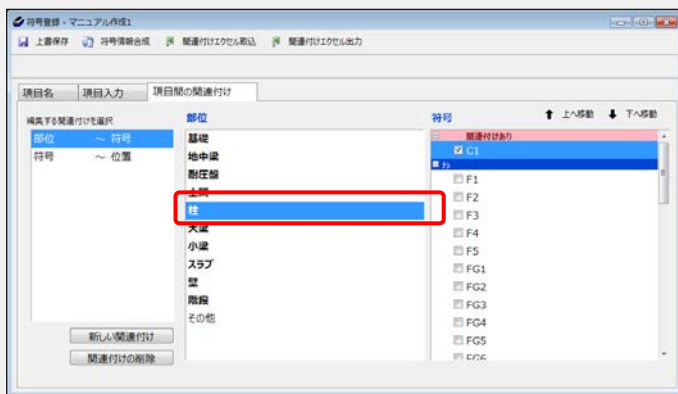
①【項目間の関連付け】タブを選択してください。



②【部位～符号】を選択してください。

【符号作成】によって一括作成した符号は既に部位と関連付けされた状態となっています。

直接入力で追加した符号はこの画面で関連付けを行って下さい。

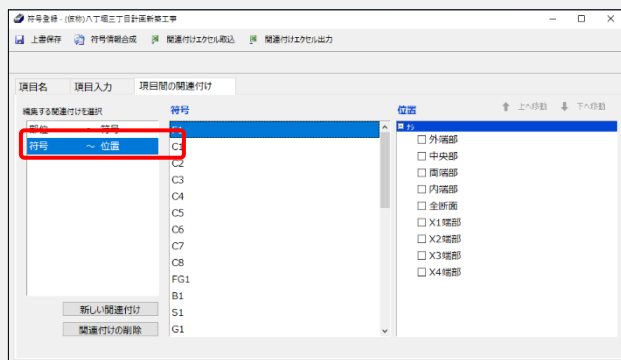


③編集したい【部位】を選択してください。

④選択した部位に関連付けする符号のチェックボックスにチェックマークを入れて下さい。

1 つ以上関連付けがされている部位項目は太字で表示されます。





⑤【符号～位置】を選択してください。



符号と位置の関連付けを行うと「部材リスト作成」時に符号に関連付けされた位置がリスト作成され、全ての階に反映されます。

<例>

10 階建ての梁で 2 ～ 8 階までは、「端部、中央部」に配筋が分かれており、9 階・R 階は「全断面」のような場合、関連付けを行い部材リスト自動作成後、リストから 9 階・R 階の部位と不要な行を削除してください。

一方、2 階・3 階のみ「端部、中央部」に配筋が分かれており、4 ～ R 階は全断面のような場合には、関連付けを行わず部材リスト自動作成後、リストへ 2 階・3 階の部位と行を追加してください。

階	部位	符号	部材リスト自動作成
2階	梁	G1	中央部
	梁	G1	端部
3階	梁	G1	中央部
	梁	G1	端部
4階	梁	G1	中央部
	梁	G1	端部
5階	梁	G1	中央部
	梁	G1	端部
6階	梁	G1	中央部
	梁	G1	端部
7階	梁	G1	中央部
	梁	G1	端部
8階	梁	G1	中央部
	梁	G1	端部
9階	梁	G1	中央部
	梁	G1	端部
R階	梁	G1	中央部
	梁	G1	端部



全ての階に位置のリストを作成
中間階で位置の区別が変わる部材は関連付けに注意して下さい。
位置の順番を入れ替える場合は、
移動することが出来ます。

↑ 上へ移動 ↓ 下へ移動

項目名
項目入力
項目間の関連付け

編集する関連付けを選択

部位	～	符号
符号	～	位置

新しい関連付け

関連付けの削除

符号

- F1
- C1
- C2
- C3
- C4
- C5
- C6
- C7**
- C8
- FG1
- B1
- C4
- G1

位置

- ☐ 外端部
- ☐ 中央部
- ☐ 両端部
- ☐ 内端部
- ☐ 全断面
- ☐ X1端部
- ☐ X2端部
- ☐ X3端部
- ☐ X4端部

↑
太字
関連付け有り

<順番入れ替えの例>

【移動前】

外端部

中央部

内端部

【移動後】

内端部

中央部

外端部

↑ 上へ移動 ↓ 下へ移動

⑥編集したい符号を選択してください。

⑦選択した“符号”に関連付け設定する“位置”のチェックボックスにチェックマークを入れて下さい。

1 つ以上関連付け設定がされている符号は太字で表示されます。

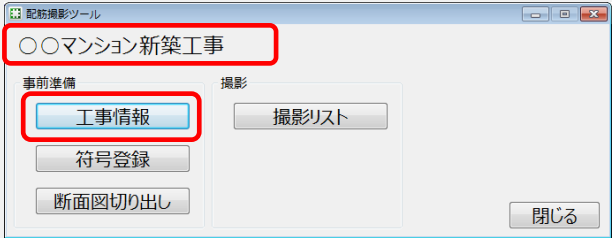
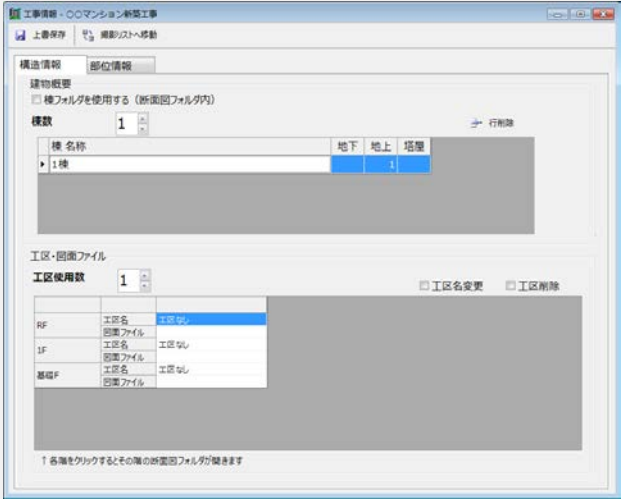
⑧位置の順番は ↑ 上へ移動 ↓ 下へ移動 で移動して下さい。

27

Copyright© TDBIS. All rights reserved.

3-3. 工事情報登録

符号（構造略称）を定義した後、工事情報を登録してください。

画面イメージ	説明
	①【工事情報】ボタンをクリックして下さい。
	工事情報登録画面が開きます。

画面イメージ	説明
<div></div>	<p>① 【構造情報】タブを選択すると、構造情報入力画面が表示されます。</p>
<div><div><div>建物概要</div><div><input type="checkbox"/> 棟フォルダを使用する（断面図フォルダ内）</div><div>棟数</div><div>1</div></div></div> <div><div><棟数と写真管理></div><div><div>【物件】</div><div>〇〇マンション新築工事 住戸棟</div><div>〇〇マンション新築工事 住戸棟</div><div>〇〇マンション新築工事 管理棟</div><div>〇〇マンション新築工事 駐車場棟</div></div><div><div>【大分類】</div><div><div>住戸棟</div><div>管理棟</div><div>駐車場</div></div><div><div>(大分類無し)</div><div>(大分類無し)</div><div>(大分類無し)</div></div></div><div><div>①の場合</div><div><div>・リコーのカメラへ複数棟の撮影リストを同時に転送可能</div><div>・写真の取り込み枚数が増えると動作速度が遅くなる</div></div><div><div>②の場合</div><div><div>・リコーのカメラへ1棟分の撮影リストしか転送できない</div></div></div></div></div>	<p>② 1つの物件で複数棟の建物を管理する場合は、「棟数」を入れてください。</p>

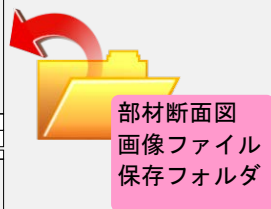
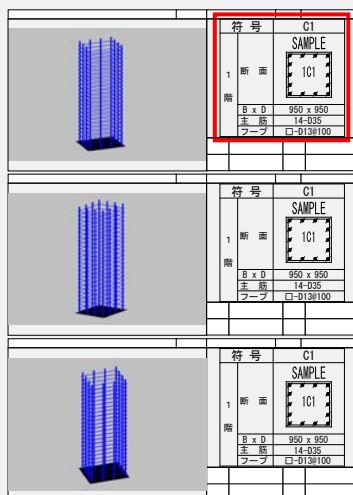
建物概要

☒ 棟フォルダを使用する (断面図フォルダ内)

棟数 2

棟名称	地下	地上	塔屋	フォルダ名
1棟		1		棟1
2棟		1		棟2

(仮称) OOマンション新築工事



OO建設株式会社

③ 「棟フォルダを使用する(断面図フォルダ内)」のチェックボックスで断面図画像の保存先フォルダ構成を設定します。

【棟フォルダを使用した場合】

棟別に「棟 1」「棟 2」・・・のフォルダを作成し、棟別に部材断面図を保存します。

またレアケースですが「A棟」と「B棟」があり、「A棟」の柱「C1」と「B棟」の柱「C1」が符号は同じであるが、部材断面の寸法と配筋仕様が異なる場合は、棟フォルダを使用して画像を分けて保存します。この場合、小梁など棟共通の部材であっても、それぞれの棟別フォルダ内の各階に画像を保存し、設計変更等があればそれぞれを変更する必要があります。

【棟フォルダを使用しない場合】

数棟登録されているが、部材断面が共通で、階名称の数字も棟によって異なることがない場合は棟フォルダで分ける必要はありません。

工事情報 - OOマンション新築工事

上書き保存 挿入リストへ移動

構造情報 部位情報

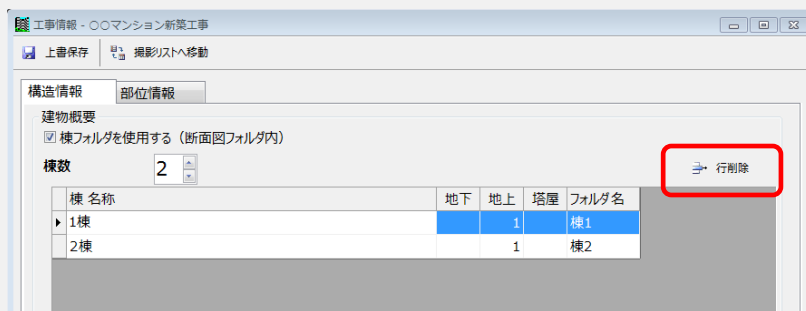
建物概要

☒ 棟フォルダを使用する (断面図フォルダ内)

棟数 2

棟名称	地下	地上	塔屋	フォルダ名
1棟		1		棟1
2棟		1		棟2

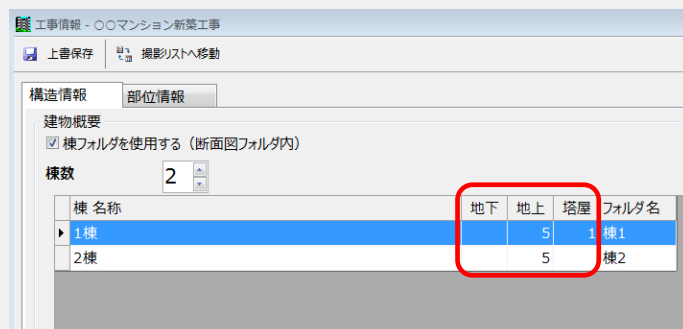
④ 棟の棟名称を入力してください。



⑤棟を削除するには削除する棟名を選択して【行削除】ボタンをクリックして下さい。

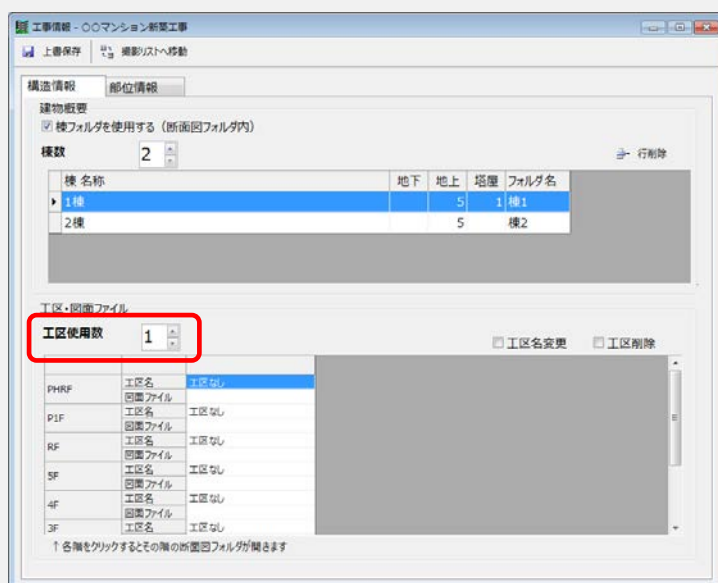
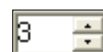
削除が最下行の場合は「大分類使用数」を減らしても削除できます。

中間行の削除後は棟フォルダの「棟 1」「棟 2」「棟 3」・・・の数字が連番ではなくなりますので注意して下さい。



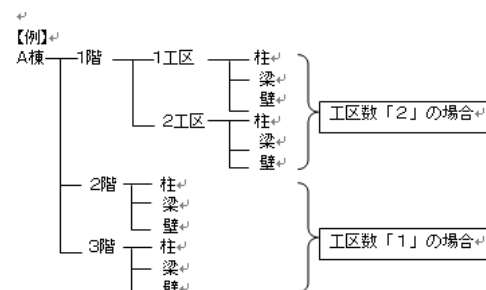
⑥ 各棟の、地上・地下階数を入力してください。

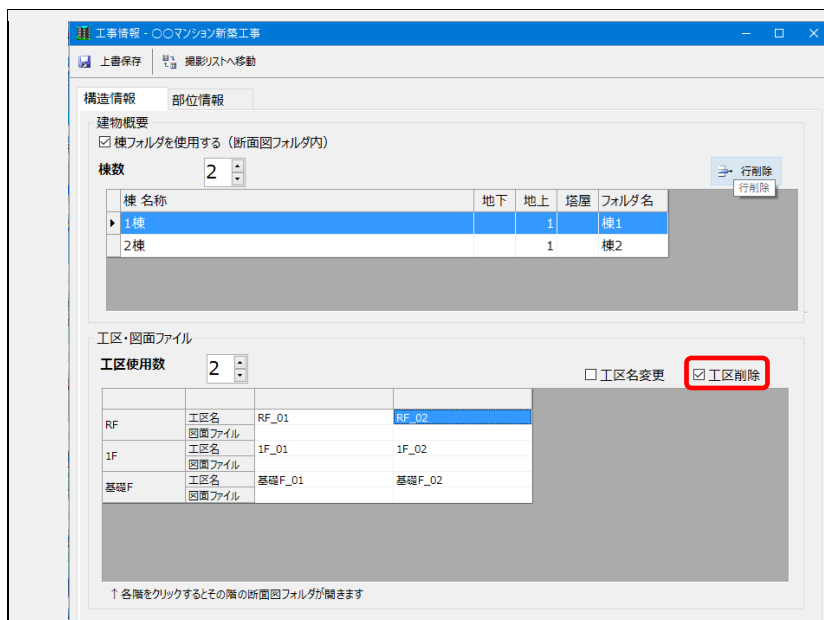
表をクリックすると入力状態になります。直接入力か ▲ ▼ ボタンで数値を入力してください。



⑦写真を各階工区別に管理する場合は、工区の設定が必要です。

「使用数」へ工区数を入力してください。直接入力か ▲ ▼ ボタンで数値を入力して下さい。工区の設定を行うと撮影リストが工区別に行われます。

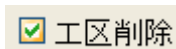




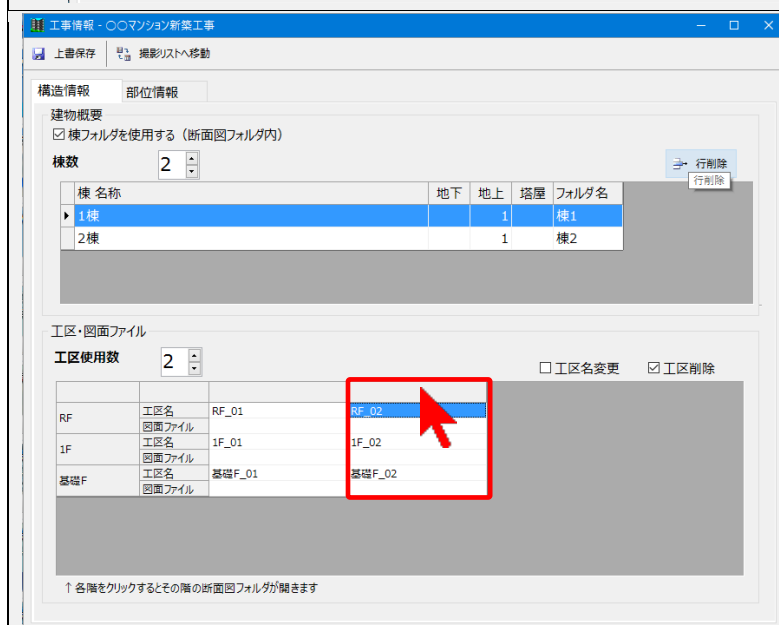
⑧上階で工区数が減る場合などは工区の削除が必要となります。

【工区削除】ボタンをクリックして削除モード ON にして下さい。

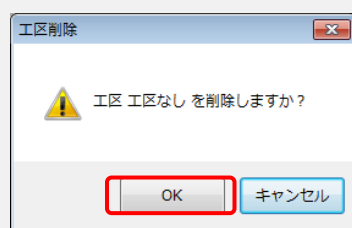
工区削除モード ON



工区削除モード OFF



⑨表内の削除したい工区をクリックします。



⑩削除の確認メッセージが表示されます。

【OK】をクリックすると削除されます。

工事情報 - マンション新築工事

上書き保存 検索リストへ移動

構造情報 部位情報

建物概要

☒ 棟フォルダを使用する (断面図フォルダ内)

棟数 2

棟名称	地下	地上	塔屋	フォルダ名
1棟		5		棟1
2棟		1		棟2

工区・図面ファイル

工区使用数 2

☒ 工区名変更 ☐ 工区削除

RF	工区名	RF_01	RF_02
5F	図面ファイル	5F_01	5F_02
4F	図面ファイル	4F_01	4F_02
3F	図面ファイル	3F_01	3F_02
2F	図面ファイル	2F_01	2F_02
1F	図面ファイル	1F_01	1F_02

同じ工区名の登録も可能です。
(例) 各階 A工区

⑪階の名称、工区の名称を編集したい場合は【工区名変更】ボタンをクリックして変更モードONにしてください。

工区名変更モードON ☒ 工区名変更

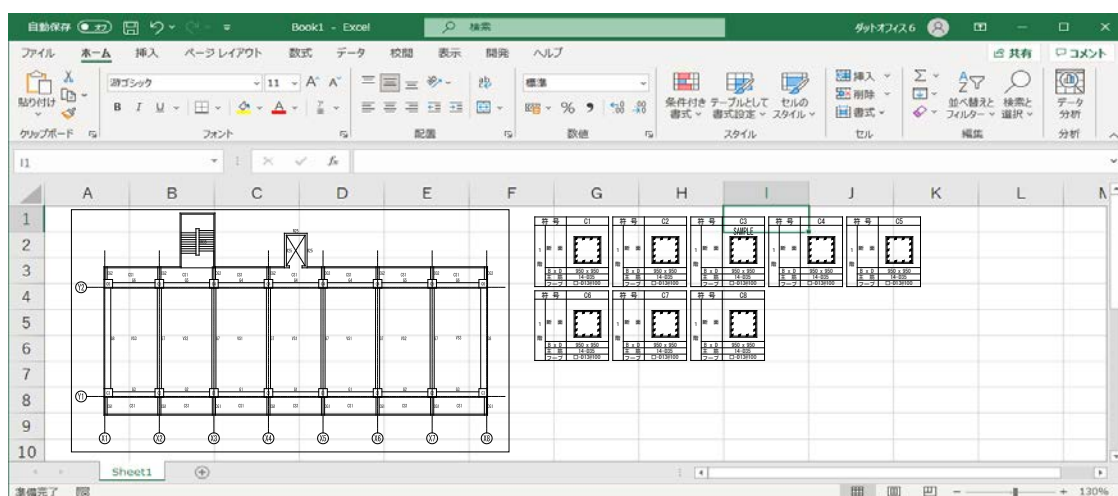
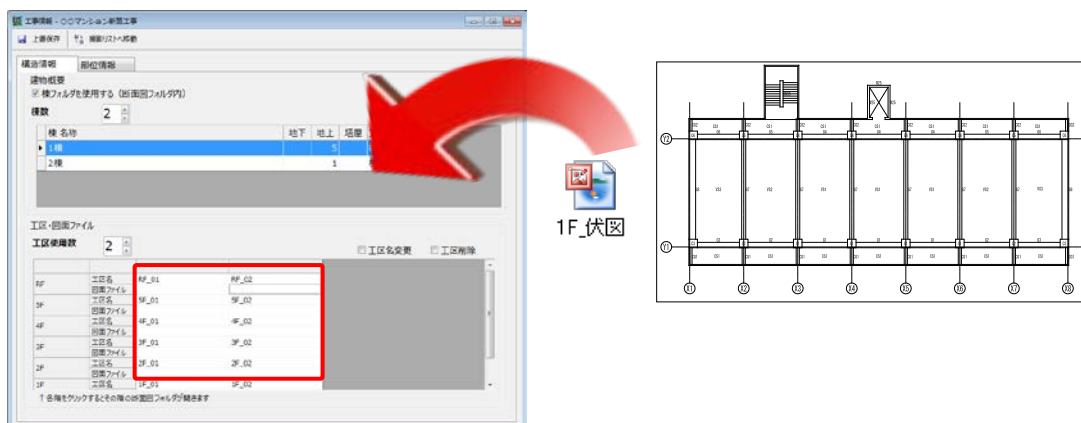
工区名変更モードOFF ☐ 工区名変更

階名称、工区名称をクリックして直接入力してください。

3.3.2. 伏図の設定

設定した各階の各工区に対して伏図の画像ファイルを割り付けることができます。

伏図を割り付けておく工区別に伏図と部材断面図をエクセルへ貼り付けてファイル出力することができます。



画面イメージ

説明

①【工区名変更】と【工区削除】のチェックが外れていることを確認してください。

②図面を割り付けたい工区名の下をクリックします。

③図面ファイルの指定ウィンドウが開きます。

割り当てる画像ファイルを選択して【開く】をクリックして下さい。

※一度設定に図面ファイルを削除する際は、削除する図面にフォーカスを当てて下さい。

次に F2 を押したら Delete 又は Backspace で削除して下さい。

3.3.3. 階別撮影部位設定

各階ごとに写真を管理する部位を設定して下さい。

画面イメージ

工事情報 - ○○マンション新築工事

上書保存 | 撮影リストへ移動

構造情報 | **部位情報**

棟: 1棟

使用部位

全設定	基礎	地中梁	耐力壁	
RF_02	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
RF_01	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

説明

①【部位情報】タブを選択してください。

工事情報 - ○○マンション新築工事

上書保存 | 撮影リストへ移動

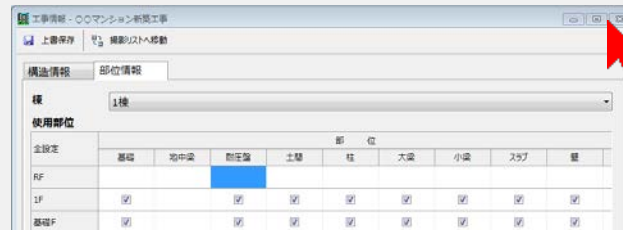
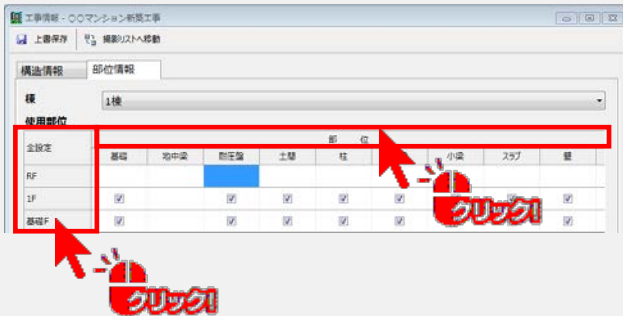
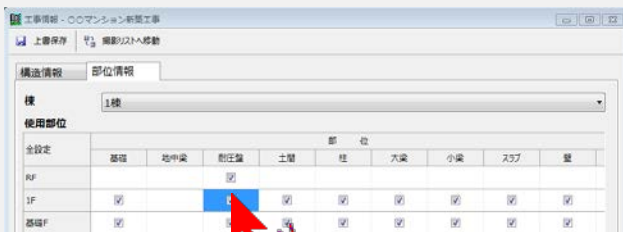
構造情報 | 部位情報

棟: 1棟

使用部位

全設定	基礎	地中梁	耐力壁	土間	柱	大梁	小梁	スラブ	壁
RF_02	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
RF_01	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
SF_02	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
RF_01	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

②複数棟の設定を行っている場合は、棟を選択してください。

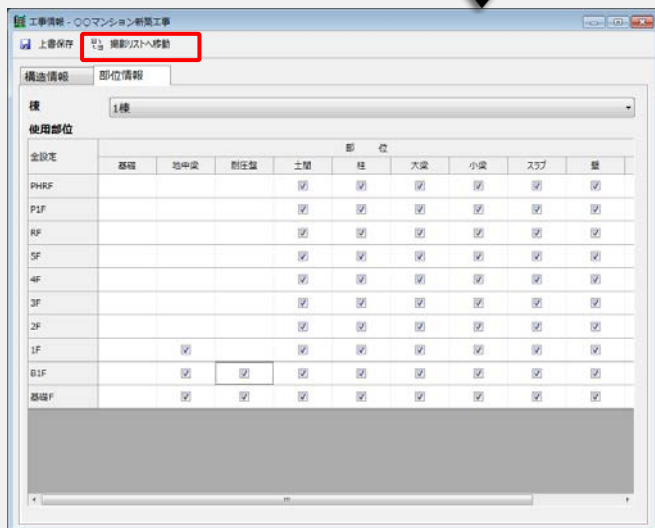
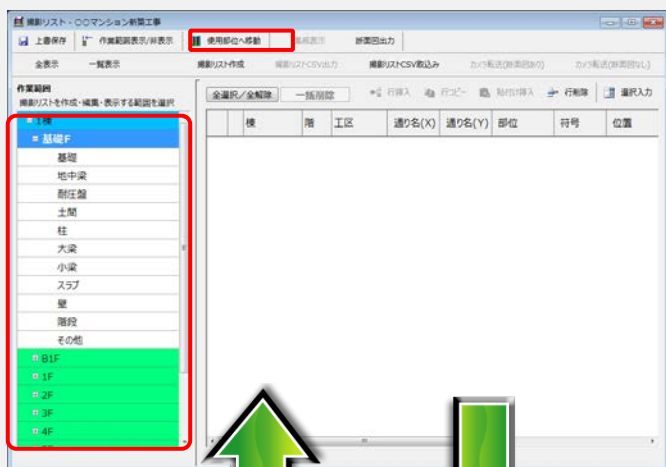
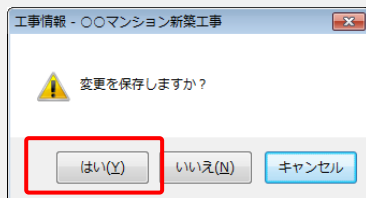


③階と部位の表から、各階の撮影リストで使用する「部位」のセルをクリックして使用しない部位のチェックマークを外してください。

例えば、「基礎」や「地中梁」は地上階には不要な為、撮影リストに含まないよう基礎階のみチェックマークを入れます。

階の行見出し部分、または列の部位見出し部分をクリックするとチェックマークを一括で入れたり、解除したりできます。

④設定が完了したら、ウィンドウ右上の閉じる × アイコンをクリックしてください。



⑤設定内容の保存確認メッセージが表示されます。

【はい】をクリックして設定を保存してください。

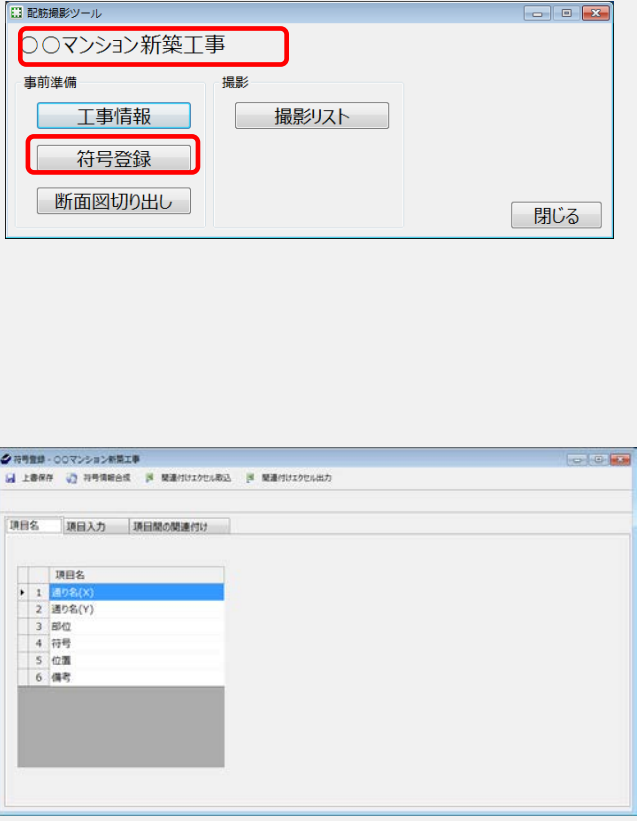

「使用部位設定」は写真の撮影リストを作成する「部材リスト」メニューでツリー表示される、各棟、各階、の「部位」へ反映されます。

部材リストに修正がある場合、【使用部位へ移動】をクリックし使用部位設定画面で修正して下さい。

【撮影リストへ移動】をクリックすると、撮影リスト画面へ移動します。

3-4. 登録符号の再編集

作成した符号は、後からでも編集することが可能です。必要に応じて変更・修正してください。

画面イメージ	説明
	<p>①【符号登録】ボタンをクリックしてください。</p> <p>符号登録画面が表示されます。</p> <p>内容、操作方法は前述の「符号の（構造略称）の登録」と同じです。</p> <div data-bbox="901 772 1481 1142"><p>後述する「断面図切り出し」を行った後に 棟名、階数、使用部位等を変更した場合は、 フォルダ構成が一致しなくなりますの</p></div>

4. 断面図切り出し

工事写真アルバムで写真と一緒に出力する各部材の断面図を作成します。

柱リストSAMPLE								
符号	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8
5階	断面 SAMPLE 5C1	断面 SAMPLE 5C2	断面 SAMPLE 5C3	断面 SAMPLE 5C4	断面 SAMPLE 5C5(4C5)	断面 SAMPLE 5C6 4C6・3C6		
	B x D 950 x 950 14-D32	B x D 950 x 800 12-D29 □-D13@100	B x D 950 x 800 12-D29 □-D13@100	B x D 950 x 800 12-D29 □-D13@100	B x D 950 x 800 12-D29 □-D13@100	B x D 950 x 800 12-D29 □-D13@100		
	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100		
4階	断面 SAMPLE 4C1	断面 SAMPLE 4C2	断面 SAMPLE 4C3	断面 SAMPLE 4C4	同上	同上	断面 SAMPLE 4C7	
	B x D 950 x 950 14-D32	B x D 950 x 800 12-D29 □-D13@100	B x D 950 x 800 12-D29 □-D13@100	B x D 950 x 800 12-D29 □-D13@100			B x D 950 x 800 12-D29 □-D13@100	
	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100			主筋 □-D13@100	
3階	断面 SAMPLE 3C1	断面 SAMPLE 3C2	断面 SAMPLE 3C3	断面 SAMPLE 3C4	断面 SAMPLE 3C5	同上	断面 SAMPLE 3C7	
	B x D 950 x 950 14-D32	B x D 950 x 800 14-D32 □-D13@100	B x D 950 x 800 14-D32 □-D13@100	B x D 950 x 800 14-D32 □-D13@100	B x D 950 x 800 14-D32 □-D13@100		B x D 950 x 800 14-D32 □-D13@100	
	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100		主筋 □-D13@100	
2階	断面 SAMPLE 2C1	断面 SAMPLE 2C2	断面 SAMPLE 2C3	断面 SAMPLE 2C4	断面 SAMPLE 2C5	断面 SAMPLE 2C6(1C6)	断面 SAMPLE 2C7	断面 SAMPLE 2C8
	B x D 950 x 950 14-D32	B x D 950 x 800 14-D32 □-D13@100	B x D 950 x 800 14-D32 □-D13@100	B x D 950 x 800 14-D32 □-D13@100	B x D 950 x 800 14-D32 □-D13@100	B x D 950 x 800 14-D32 □-D13@100	B x D 950 x 800 14-D32 □-D13@100	B x D 950 x 800 14-D32 □-D13@100
	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100
1階	断面 SAMPLE 1C1	断面 SAMPLE 1C2	断面 SAMPLE 1C3	断面 SAMPLE 1C4	断面 SAMPLE 1C5	同上	断面 SAMPLE 1C7	断面 SAMPLE 1C8
	B x D 950 x 950 14-D35	B x D 950 x 800 14-D35 □-D13@100	B x D 950 x 800 14-D35 □-D13@100	B x D 950 x 800 14-D35 □-D13@100	B x D 950 x 800 14-D35 □-D13@100		B x D 950 x 800 14-D35 □-D13@100	B x D 950 x 800 14-D35 □-D13@100
	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100		主筋 □-D13@100	主筋 □-D13@100

符号

断面

階

B x D

主筋

フープ

C3

SAMPLE

2C3

950 x 800

14-D32

□-D13@100

号

C3

SAMPLE

2C3

950 x 800

14-D32

□-D13@100

2

断面

階

B x D

主筋

フープ

（仮称）〇〇マンション新築工事

住戸様 1階

撮影日 2009年8月1日

立会者

符号

C1

SAMPLE

1C1

950 x 950

14-D35

□-D13@100

部位

柱

通り筋

X1

Y2

符号

C1

位置

住戸様 1階

撮影日 2009年8月1日

立会者

符号

C1

SAMPLE

1C1

950 x 950

14-D35

□-D13@100

部位

柱

通り筋

X2

Y3

符号

C1

位置

住戸様 1階

撮影日 2009年8月1日

立会者

符号

C1

SAMPLE

1C1

950 x 950

14-D35

□-D13@100

部位

柱

通り筋

X3

Y4

符号

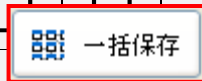







C1

位置

4-1. 一括切出しと個別切出し


柱や梁など「階」と「符号」の表形式となっている構造図は、階と符号の組み合わせで一括切出しが可能です。
一方、符号の列が不揃いの場合などは個別切り出しが必要となります。

以下、「一括保存」と「個別選択」の使用例です。






画面イメージ						説明																																				
<table><tr><th>符号</th><th>C1</th><th>C2</th><th>C3</th><th>C4</th><th>C5</th></tr><tr><td>5階</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr><tr><td>4階</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr><tr><td>3階</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr><tr><td>2階</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr><tr><td>1階</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr></table> <div></div> <div><div> 断面図</div><div><div> 1F</div><div>→C1、C2、C3、C4、C5</div></div><div><div> 2F</div><div>→C1、C2、C3、C4、C5</div></div><div><div> 3F</div><div>→C1、C2、C3、C4、C5</div></div><div><div> 4F</div><div>→C1、C2、C3、C4、C5</div></div><div><div> 5F</div><div>→C1、C2、C3、C4、C5</div></div></div>						符号	C1	C2	C3	C4	C5	5階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>①階と符号が個別に表示されている場合→</p> <p>C1、C2、C3、C4、C5 を1～5階で一括保存。</p>
符号	C1	C2	C3	C4	C5																																					
5階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																					
4階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																					
3階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																					
2階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																					
1階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																					

符号	C1	C2	C3・C4	C5
5階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



 一括保存

 断面図

-  1F →C1、C2、C3、C5、+C4
-  2F →C1、C2、C3、C5、+C4
-  3F →C1、C2、C3、C5、+C4
-  4F →C1、C2、C3、C5、+C4
-  5F

②符号見出しが複数符号で兼用されている場合→

C1、C2、C3、C5

を1～5階で一括保存後


C4のみ1～5階で一括保存

符号	C1	C2	C3	C4	C5
5階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4階 3階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>






→C1、C2、C3、C4、C5

→C1、C2、C3、C5、+C4



 一括保存

 断面図

-  1F →C1、C2、C3、C4、C5
-  2F →C1、C2、C3、C4、C5
-  3F →C1、C2、C3、C4、C5
-  4F →C1、C2、C3、C4、C5
-  5F →C1、C2、C3、C4、C5

③階見出しが複数階で兼用されている場合→

連続する階は複数階範囲指定が可能。

符号	FG1	FG2			FG3
基礎		内端部	中央部	外端部	
符号	FG4		FG5	FG6	
基礎	端部	中央部		端部	中央部

個別選択

④同じ階見出しが複数行、符号の列が不揃いの場合→

「階」と「符号」が表になっていない部材断面図は個別切出しで保存。

符号	主筋方向		配力筋方向	
S1	端部	中央部	端部	中央部
S2	端部	中央部	端部	中央部
S3	端部	中央部	端部	中央部
S4	端部	中央部	端部	中央部
CS1	端部	中央部	端部	中央部

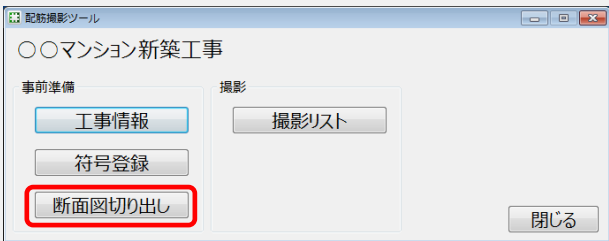
個別選択

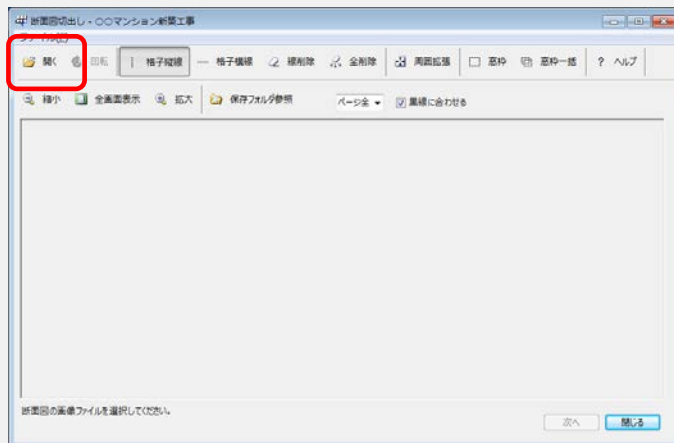
⑤「階」と「符号」の表になっていない場合（スラブ、壁、雑配筋等）→

「階」と「符号」が表になっていない部材断面図は個別切出しで保存。

4-2. 一括切出し

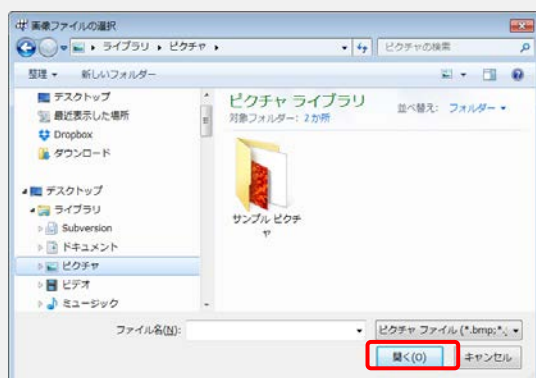
柱や梁など「階」と「符号」の表形式となっている構造図は、階と符号の組み合わせで一括切出しが可能です。

画面イメージ	説明
	<p>①配筋撮影ツールのメイン画面より、 【断面図切り出し】をクリックしてください。</p>



③断面図切出しメニュー画面が開きます。

【開く】を選択してください。



④「画像ファイルの選択」ウィンドウが開きます。事前に画像ファイル化した構造図の保存フォルダを開き、切出しを行う図面のファイルを選択してください。

⑤【開く】ボタンをクリックしてください。

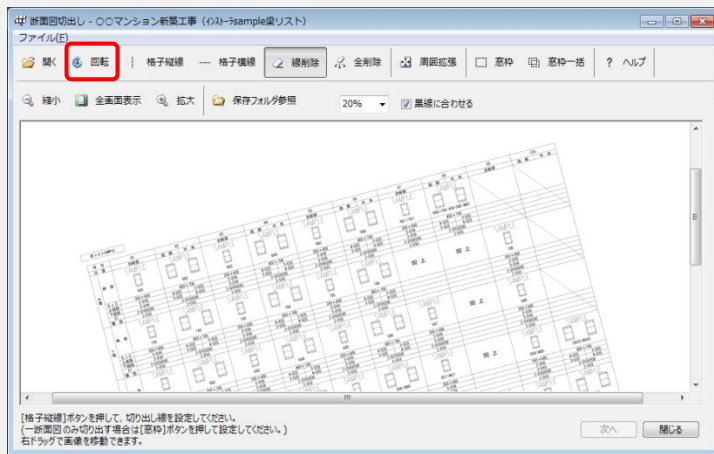


⑥選択した画像ファイルが画面に表示されます。画面を編集し易い大きさに拡大表示してください。

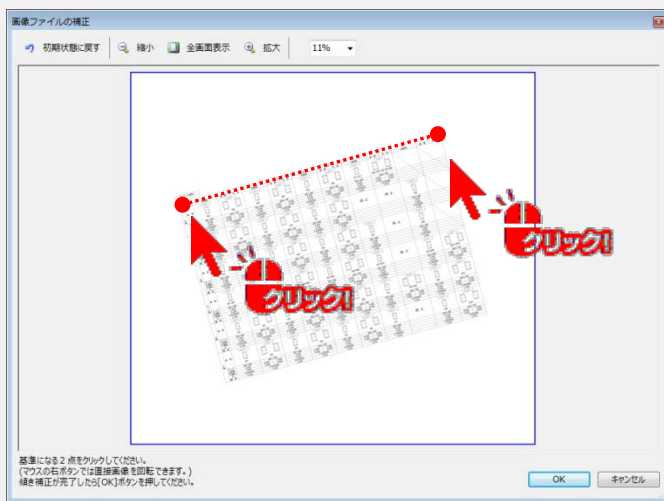
縮小・拡大：1回クリックすると5%縮小または拡大します。

全画面表示：ウィンドウ内に全体表示します。

表示サイズ：選択ボックスから表示サイズを選択、または表示サイズの数字を直接入力できます。



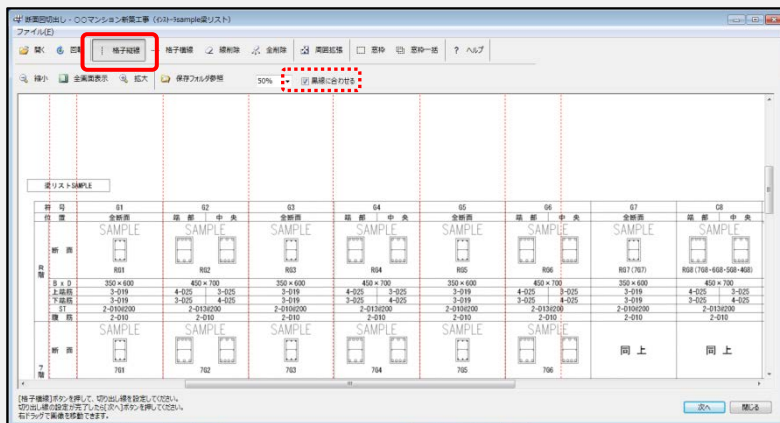
⑦紙の図面をスキャナで読み取って画像データ化した場合など、図面が傾いているときは、**【回転】**アイコンをクリックしてください。



⑧画像ファイルの補正画面が開きます。傾いている図面の線上を任意に2点クリックします。または右クリックしたまま、マウスをドラッグすると傾きを補正できます。

傾き補正が完了したら**【OK】**を選択してください。





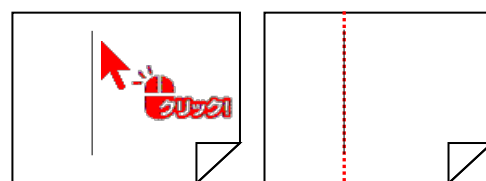
⑨【格子縦線】アイコンを選択してください。

⑩図面の分割したい位置でクリックすると、赤い点線が入力されます。

分割位置の入力時に「黒線に合わせる」にチェックマークを入れておくと、位置が多少ずれても縦線が図面の線分に吸着ようになります。



☒ 黒線に合わせる

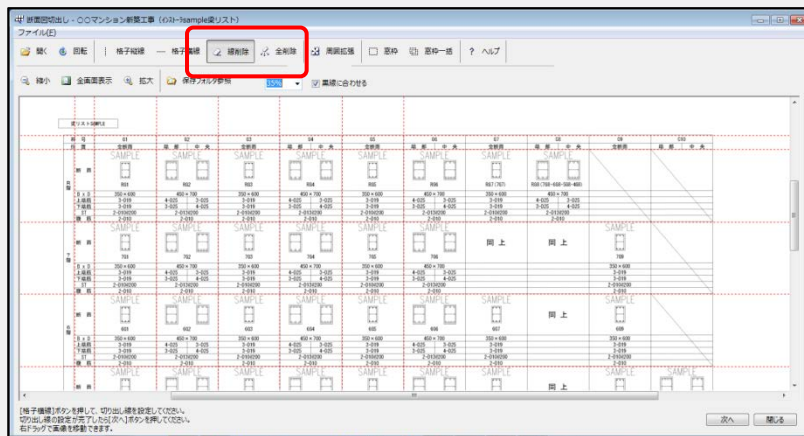


マウスの右クリックでドラッグすると、図面の表示範囲を移動することができます。



⑪【格子横線】アイコンをクリックします。

⑫図面の分割したい位置でクリックすると、赤い点線が入力されます。

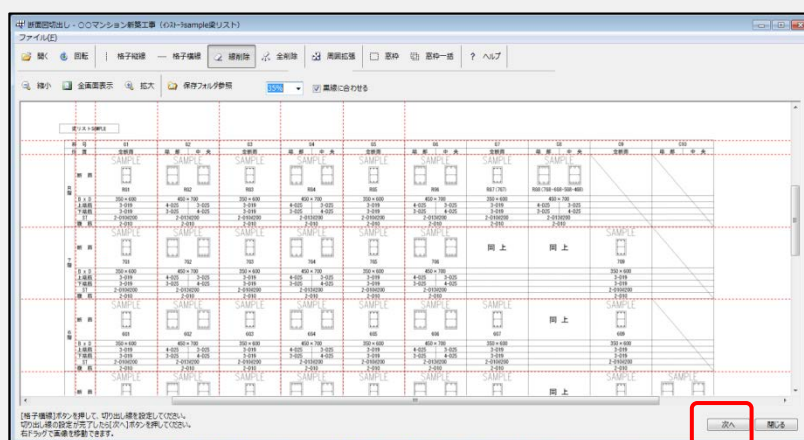


入力した切出し線を削除するには【線削除】アイコンをクリックしてから削除対象の線にマウスカursorを合わせてください。

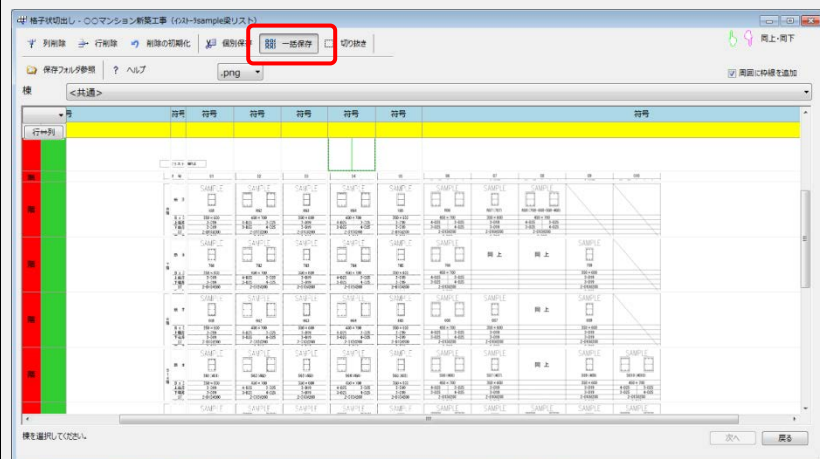


線上ではマウスカursorが消しゴムマークになります。この状態でクリックすると、線が削除されます。

線を全て削除する場合は、【全削除】アイコンをクリックしてください。

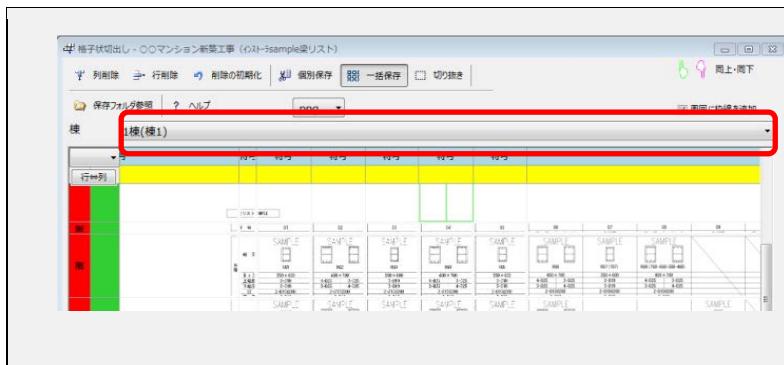


⑬縦横の切出し線を入力したら【次へ】アイコンをクリックしてください。

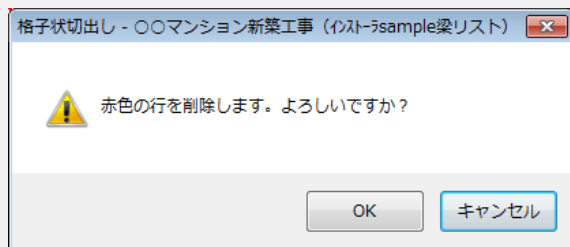
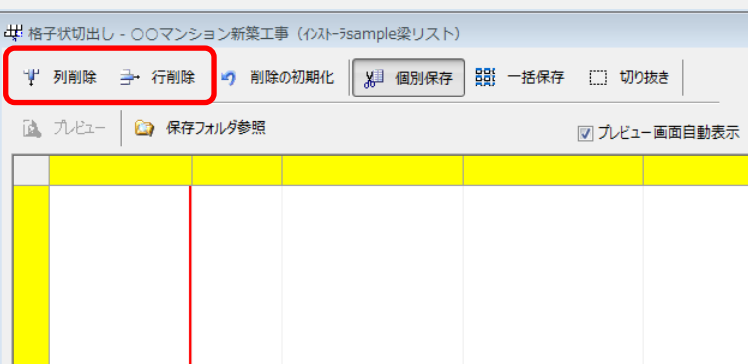


⑭格子状切出し画面が開きます。

【一括保存】アイコンをクリックすると、画面が一括保存モードに切替わります。

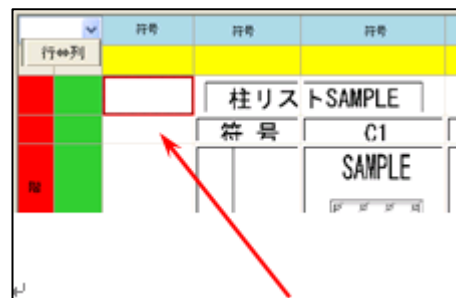


⑮複数棟の設定を行っている場合は、【棟】を選択します。



⑩符号見出しとなる行の赤いセルと、階見出しとなる列の水色セルをクリックします。

【行⇄列】をクリックすると、階と符号の見出しの列と行が切替わります。

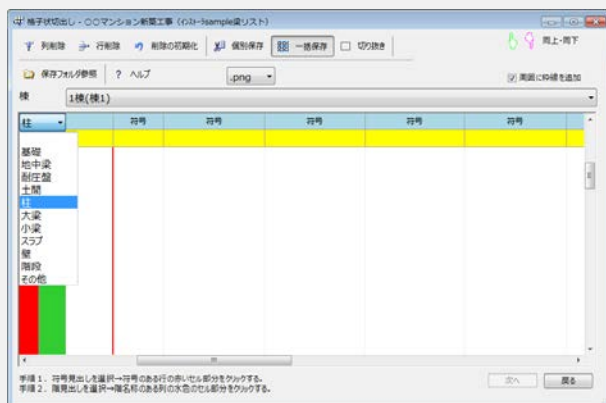


枠が赤で表示されている箇所の行と列が削除対象となります。赤い枠の表示位置は矢印キーで移動できます。

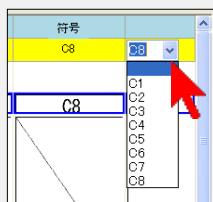
【列削除】または【行削除】アイコンをクリックすると、削除対象の列、または行が赤色で表示され、削除の確認メッセージが表示されます。



【OK】をクリックすると削除されます。



⑰【部位】を選択してください。
 (「部位」の登録は 21 ページ参照)



⑩「階」と「符号」を選択します。

「階」は各行の緑色セルをクリックすると、階選択が表示されます。

連続する複数階を範囲選択する場合は、「複数階指定」をクリックして下さい。

「符号」は各列の黄色いセルをクリックすると符号選択ボックスが表示されます。

符号は直接入力も可能です。(階の設定は 28 ページ参照、符号の設定は 12 ページ参照)



余白行や余白列に「階」、「符号」を選択入力してしまった場合は、選択ボックス最上部の空白を選択し直して下さい。選択ボックスは 1 つ選択すると次の選択ボックスが自動で開きます。選択ボックスを閉じるには「Esc」キーを押して下さい。

同上・同下 同左・同右

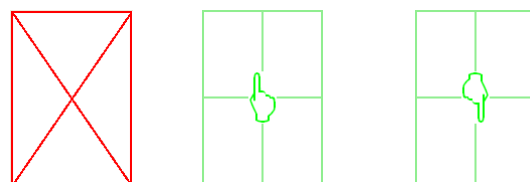


クリックすると切り替えが出来ます。

⑩セットバック等で上層階に不要な符号と、「同上」、「下に同じ」の設定を行います。

図面を直接クリックすると、分割された図面枠内に

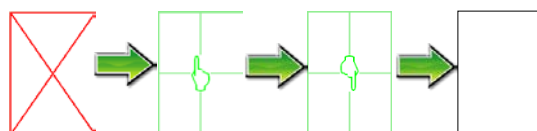
<作成しない> <同上> <下に同じ>



のマークが表示されます。

繰り返しクリックすると

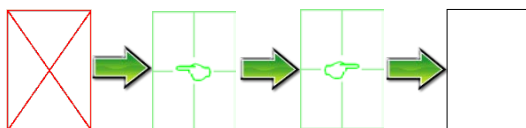
<作成しない><同上><下に同じ><解除>



の順に設定が変更します。

同左・同右の場合

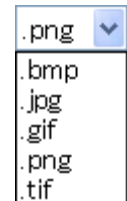
<作成しない><左に同じ><右に同じ><解除>

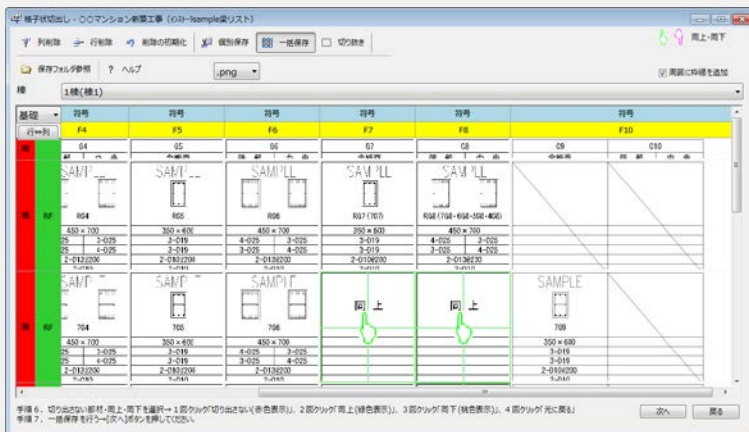
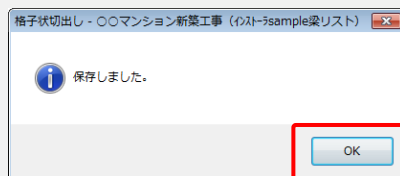
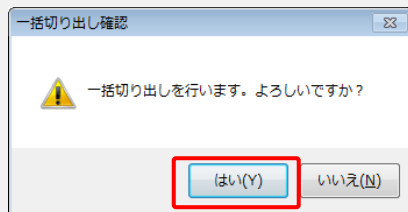
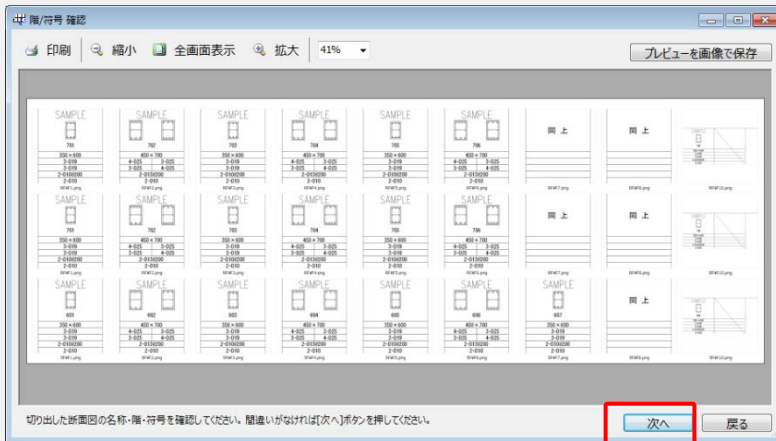




②画像のファイル形式を選択して「一括保存」をクリックすると確認メッセージが表示されます。「OK」アイコンをクリックすると切出し画像の一括保存が開始されます。

・画像のファイル形式は5種類から選択できます。(比較的ファイルサイズが小さい.pngを推奨します)





階と符号設定の確認画面が表示されます。
画像を確認して設定がよろしければ【OK】アイコンをクリックすると確認メッセージが表示されます。

【はい】をクリックして保存を開始してください。

階と符号を確認してください。

階	符号	
2	C3	SAMPLE 2C3
	B x D	950 x 800
	主筋	14-D32
	フープ	□-D13@100

2F¥C3.png

“保存フォルダ”¥“ファイル名”

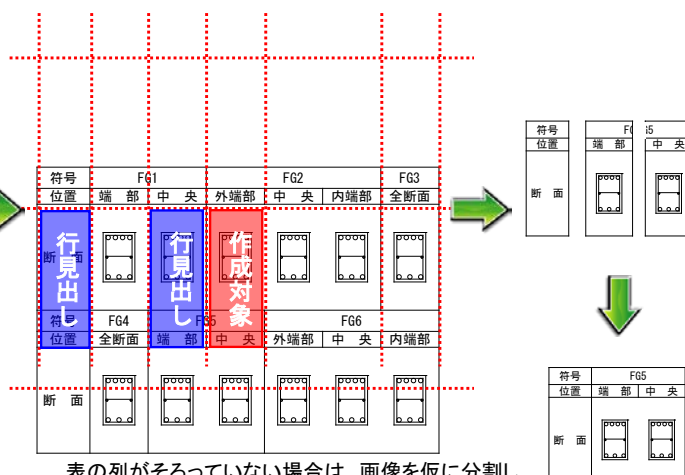
4-3. 個別切出し

「階」と「符号」の表で行と列がそろっていない図面や、表になっていない図面は個別切出しを行ってください。
個別切出しには、「表の個別切出し」と「窓枠切出し」の2種類があります。

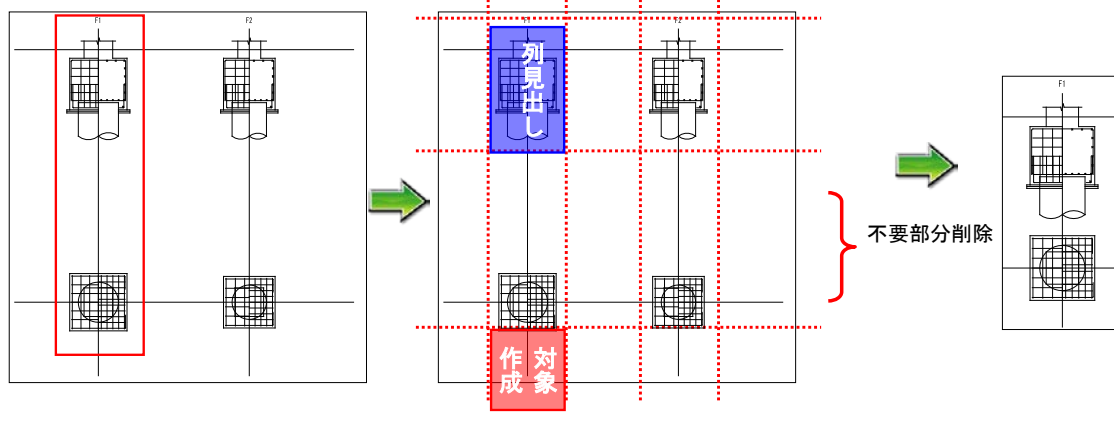
表の個別切出し

符号	FG1			FG2			FG3
位置	端	部	中 央	外端部	中 央	内端部	全断面
断面							
符号	FG4			FG5			FG6
位置	全断面	端	部	中 央	外端部	中 央	内端部
断面							

【例】列がそろっていない

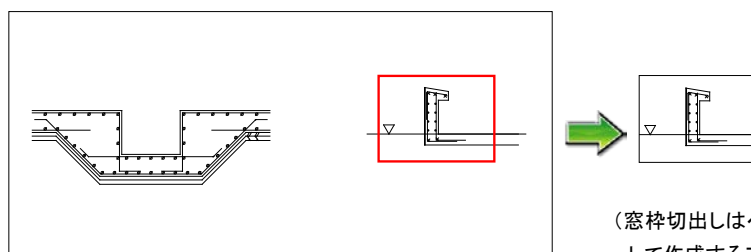


表の列がそろっていない場合は、画像を仮に分割して、部材断面図を見出しとして複数箇所選択すると、画像を作成することができます。



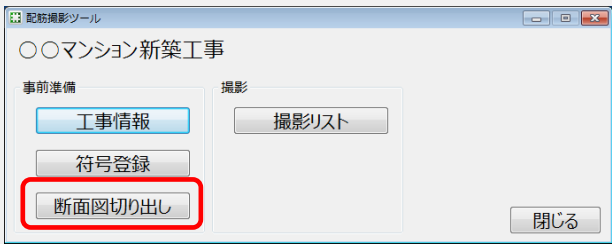

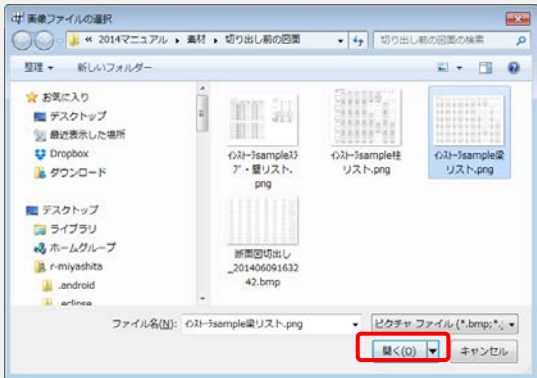
【例】無駄な空白がある

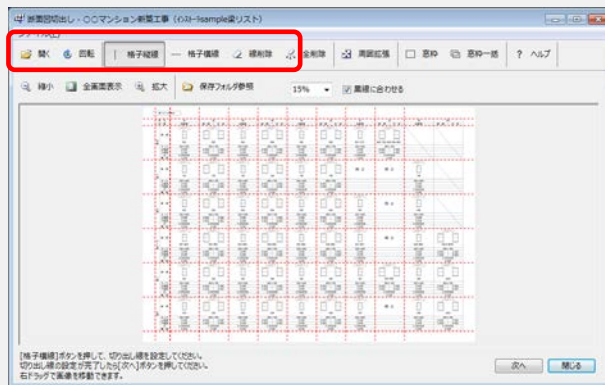
窓枠切出し



(窓枠切出しはペイントなど他の画像編集ソフトでトリミング処理を利用して作成することもできます。)

4.3.1. 表の個別切出し

画面イメージ	項目
	<p>①配筋撮影ツールのメイン画面を表示します。</p> <p>②【断面図切り出し】を選択してください。</p>
	<p>③断面図切り出しメニュー画面が開きます。</p> <p>【開く】をクリックしてください。</p>
	<p>④画像ファイルの選択画面が開きます。事前に画像ファイル化した構造図の保存フォルダを開き、切出しを行う図面のファイルを選択します。</p> <p>⑤【開く】をクリックしてください。</p>



⑥選択した画像ファイルが画面に表示されます。編集しやすいように図面を拡大/縮小してください。



縮小・拡大：1回クリックすると5%縮小または拡大します。

全画面表示：ウィンドウ内に全体表示します。
表示サイズ：選択ボックスから表示サイズを選択、または表示サイズの数字を直接入力できます。



⑦【格子縦線】アイコンをクリックしてください。

⑧図面の分割する縦線をクリックすると、赤い点線が入力されます。



⑨【格子横線】アイコンをクリックしてください。

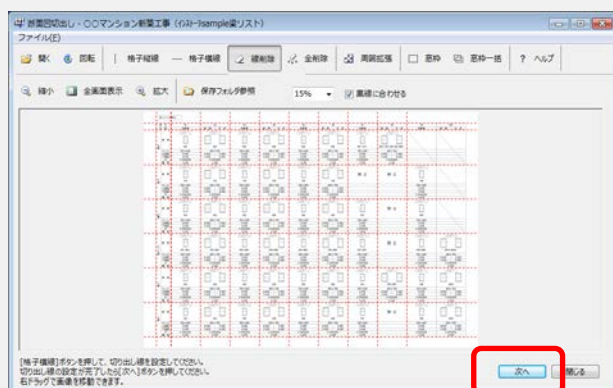
⑩図面の分割する横線をクリックすると、赤い点線が入力されます。



入力した切出し線を削除するには「線削除」アイコンをクリックしてから削除対象の線をクリックしてください。



マウスカーソルが消しゴムマークに変わった位置でクリックして下さい。線を全て削除する場合は、【全削除】をクリックしてください。



⑪縦横の切出し線を入力したら【次へ】アイコンをクリックしてください。



⑫【個別保存】アイコンをクリックすると、画面が個別保存モードに切り替わります。

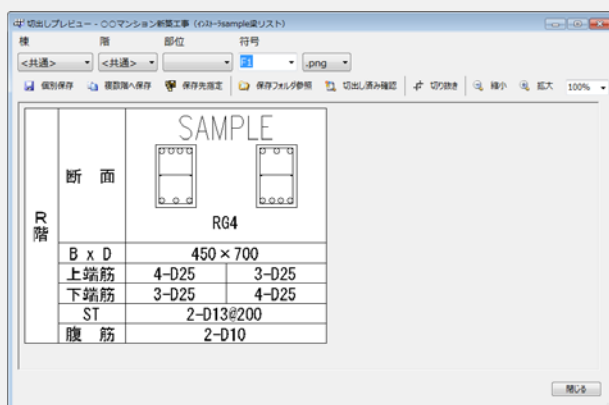
(画面が開いた直後は【個別保存】が選択されています。)



⑬見出しとなる行と列の黄色いセルをクリックします。

(見出し行、見出し列は複数行(列)選択可能です。)

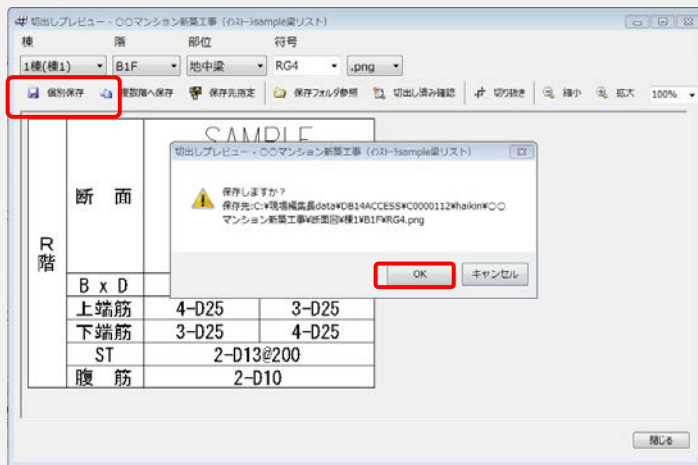
⑭個別切出しの対象となる部材の画像をクリックします。



「切出しプレビュー」画面が開き、選択した部材の画像が表示されます。

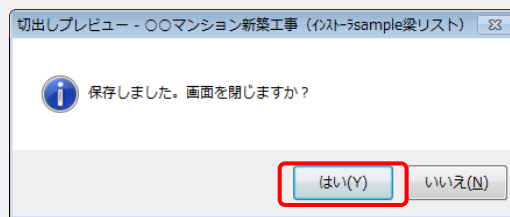


⑮保存対象部材の「棟」、「階」、「部位」、「符号」、「ファイル形式」を選択します。「符号」は直接入力も可能です。



⑯「個別保存」アイコンをクリックすると保存確認メッセージが表示されます。

【OK】をクリックして保存してください。

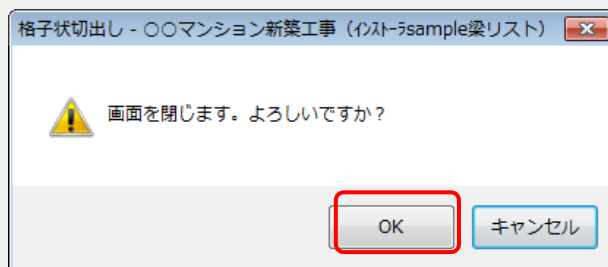


⑰個別保存のプレビュー画面を閉じる確認メッセージが表示されます。次の部材を保存する時は「はい」をクリックすると画面が閉じます。

上記⑭～⑰の操作を繰り返し、それぞれの部材の画像を保存して下さい。




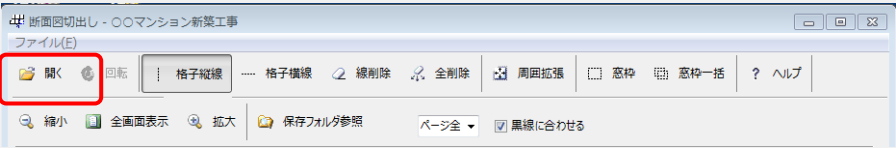
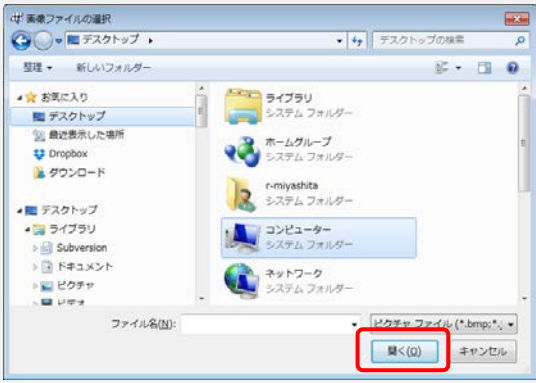

⑱個別切出しの作業が完了したら【戻る】アイコンをクリックしてください。

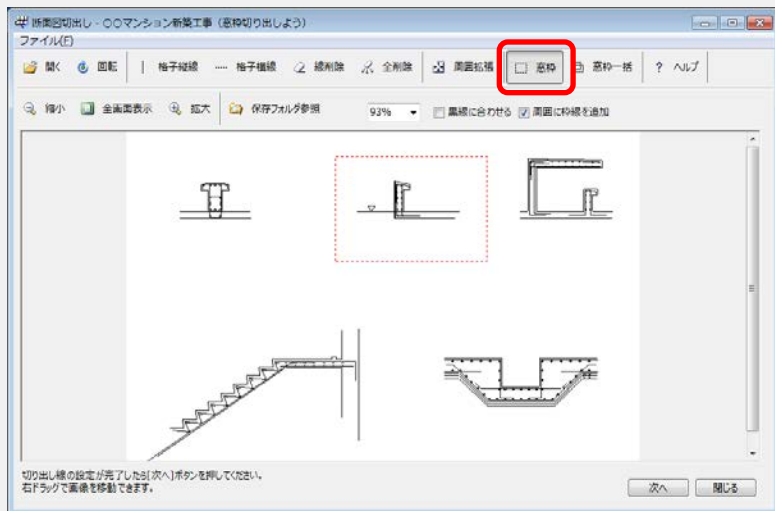


⑲画面を閉じる確認メッセージが表示されます。

【OK】をクリックして下さい。

4.3.2. 窓枠切出し

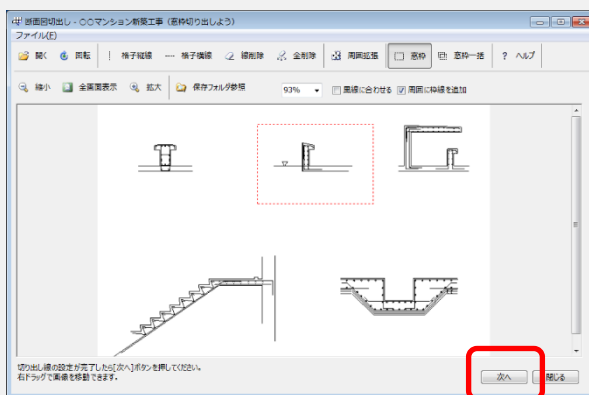
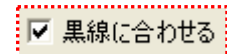
画面イメージ	項目
	<p>①配筋撮影ツールのメイン画面を表示します。</p> <p>②【断面図切り出し】を選択してください。</p>
	<p>③断面図切り出しメニュー画面が開きます。</p> <p>【開く】をクリックしてください。</p>
	<p>④画像ファイルの選択ウィンドウが開きます。</p> <p>事前に画像ファイル化した構造図の保存フォルダを開き、切出しを行う図面のファイルを選択してください。</p> <p>⑤【開く】をクリックしてください。</p>
	<p>⑥選択した画像ファイルが画面に表示されます。画面を編集し易い大きさに拡大表示します。</p> <p>縮小・拡大：1回クリックすると5%縮小または拡大します。</p> <p>全画面表示：ウィンドウ内に全体表示します。</p> <p>表示サイズ：選択ボックスから表示サイズを選択、または表示サイズの数字を直接入力できます。</p>



⑦【窓枠】を選択してください。

⑧切出したい画像の範囲を四角で囲むようにドラッグしてください。

線の無い箇所を境界に切出し範囲を入力するには、【黒線に合わせる】のチェックマークを外してから範囲を指定して下さい。



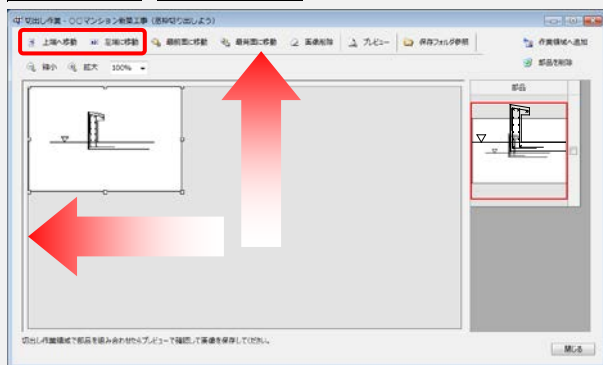
⑨【次へ】をクリックしてください。



⑩窓枠切出しの作業画面が開きます。作業画面のウィンドウを移動または縮小して、⑧と⑨の作業を繰り返し、編集する部品を用意します。

窓枠切出しは切出した部品を作業画面上で組み合わせて1つの画像として保存することができます。

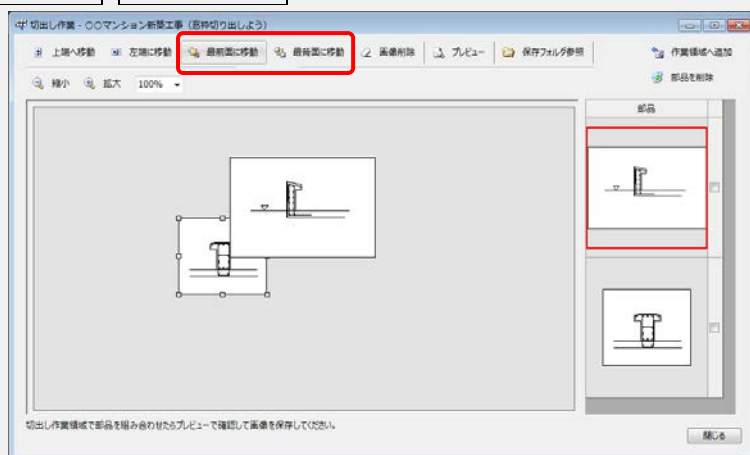
上端へ移動 左端に移動



作業領域で選択されている画像を編集作業範囲の上合わせ、左合わせで移動します。

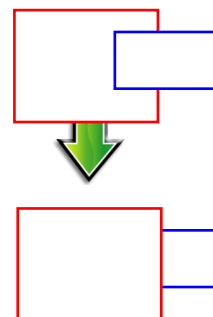
上端へ移動 左端に移動

最前面に移動 最背面に移動

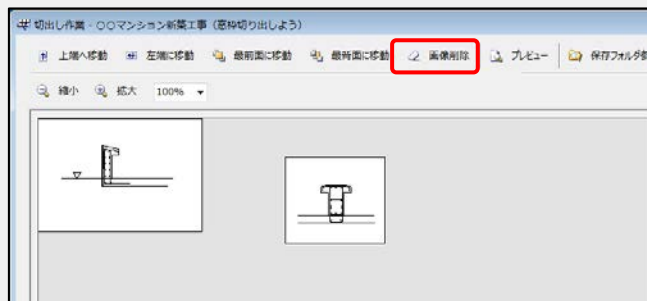


切出した画像部品の重なっている部分の見え隠れを前面と背で設定します。

最前面に移動 最背面に移動



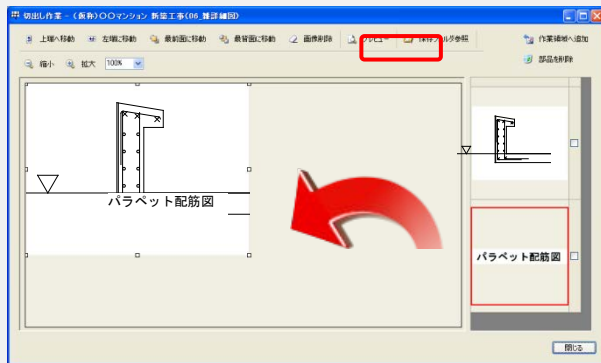
画像削除



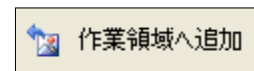
画像削除

作業領域で選択されている画像を削除します。

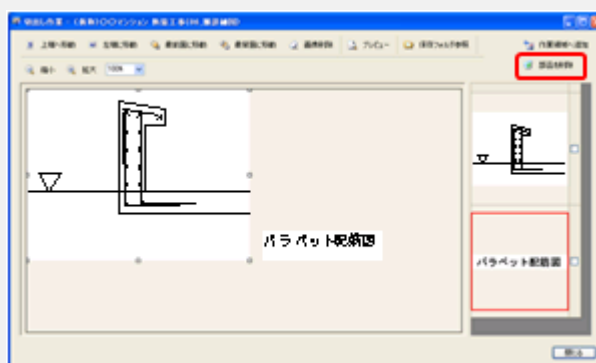
作業領域へ追加



部品プレビューの部品を作業領域へ表示します。

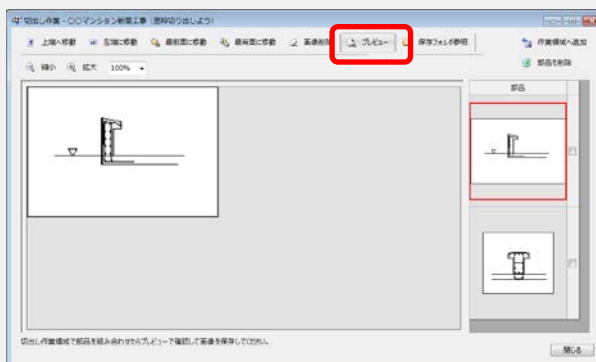
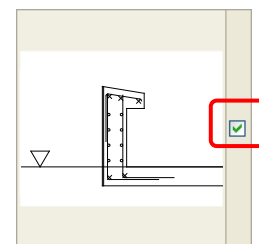


部品を削除



部品プレビューでチェックマークが付いている部品を削除します。

ただし、作業領域で表示している部品は削除できません。



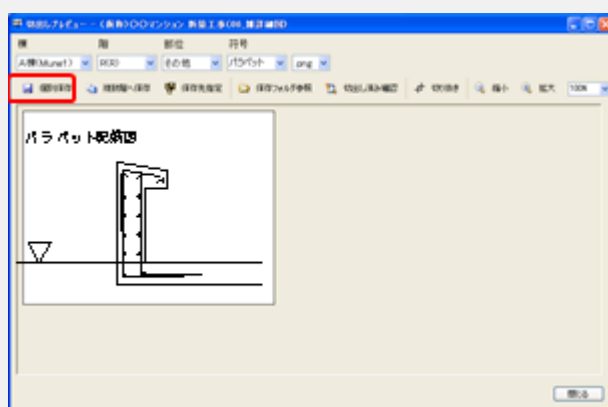
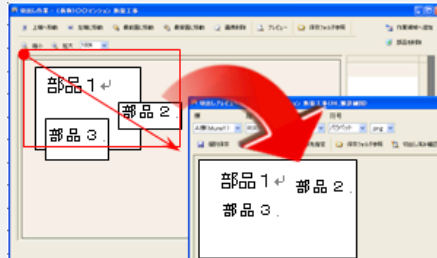
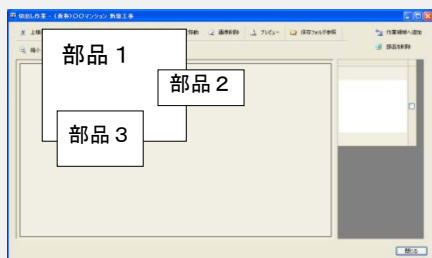
⑪画像の編集が完了したら

【プレビュー】をクリックしてください。

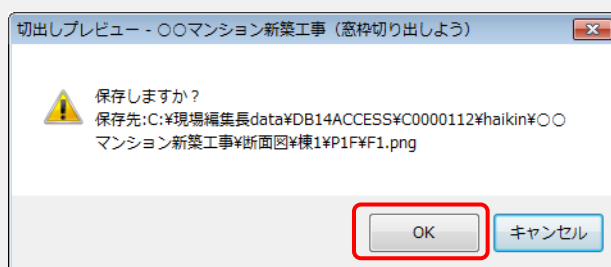


⑫切出しプレビュー画面が開きます。
保存対象部材の「棟」、「階」、「部位」、
「符号」、「ファイル形式」を
選択してください。
なお、「符号」は直接入力も可能です。

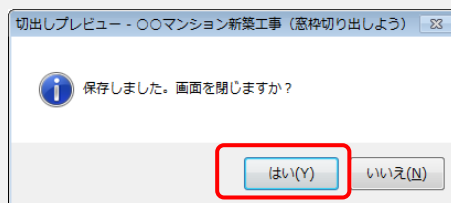
プレビューは、作業領域の左上から作業領域の
最も右端にある部品の右端までと、最も下にあ
る部品の下端までの範囲を1つの画像に結合
します。



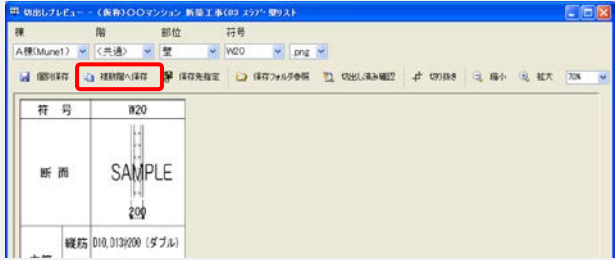
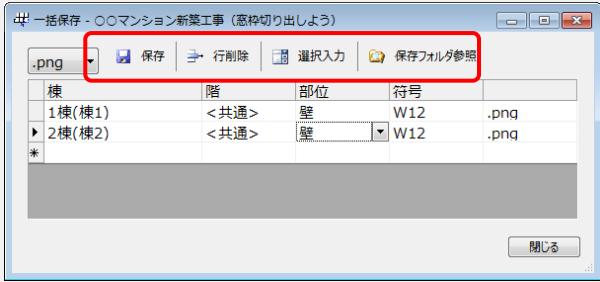
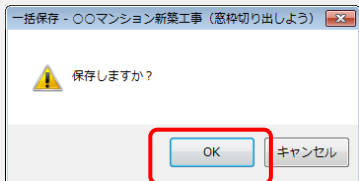

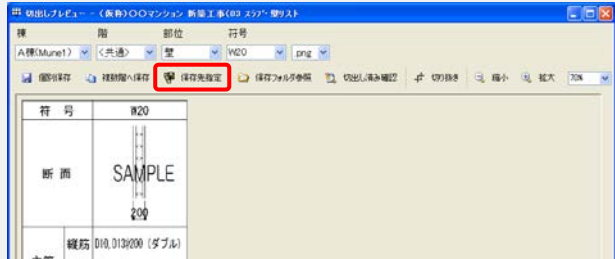

⑬棟、階、部位、符号、を選択したら、
【個別保存】をクリックしてくださ
い。

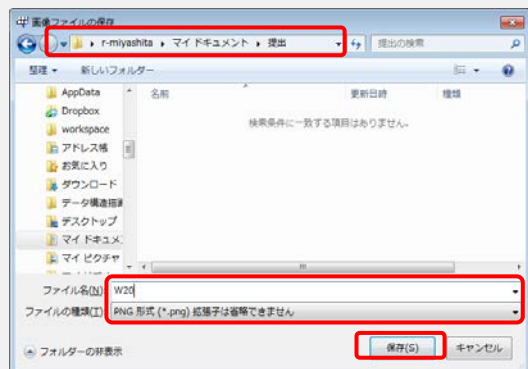


⑭保存の確認メッセージが表示され
ます。
【OK】をクリックしてください。



⑮プレビュー画面を閉じる確認メッセージが表示されます。
棟や階を変えて保存するには
【いいえ】を、終了するには
【はい】をクリックしてください。

画面イメージ	項目
<p>【複数階へ保存】</p>   	<p> 複数階へ保存</p> <p>1つの部材断面図が複数の「符号」を兼ねて作図されている場合など個別切出しで作成した画像を複数の「棟」、「階」へ保存するときには【複数階へ保存】を選択してください。すると「棟」、「階」、「符号」を複数条件で一括保存することができます。</p> <p>「棟」、「階」、「符号」の条件追加は最下行へ行ってください。条件を削除するには行を選択して【行削除】をクリックしてください。</p> <p>符号のリスト選択と直接入力切り替えは「符号入力方法変更」アイコンをクリックすると切り替わります。複数条件を設定したら保存アイコンをクリックしてください。</p> <p>保存確認メッセージが表示されます。</p> <p>【OK】をクリックしてください。</p>
<p>【保存先指定】</p> 	<p> 保存先指定</p> <p>個別切出しで作成した画像のファイル名とフォルダを指定して保存します。</p>



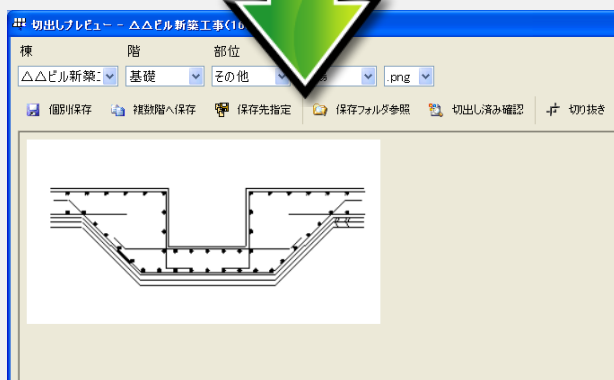
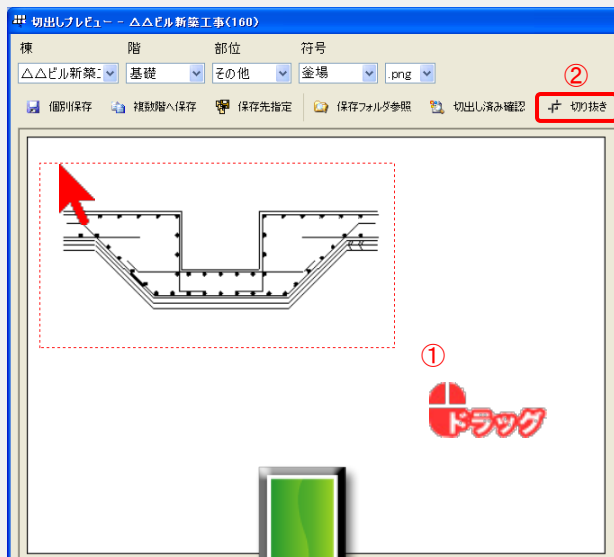
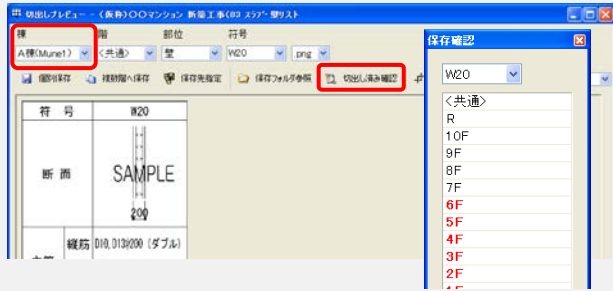
【保存先指定】アイコンをクリックすると、画像ファイルの保存ウィンドウが開きます。

保存する場所とファイル名を選択して【保存】をクリックしてください。

工事写真アルバムで写真と関連付けて部材断面図を出力するには、設定した断面図保存フォルダ内に符号と同じファイル名で画像が保存されていないとなりません。

(59 ページ「部材断面図の保存フォルダ」参照)

【切り出し済み確認】



切出し済み確認

「棟」を選択してから「切出し済み確認」をクリックすると、各符号別に画像が保存済みの階の情報を表示します。

赤色で表示されている階が保存済みです。

切り抜き

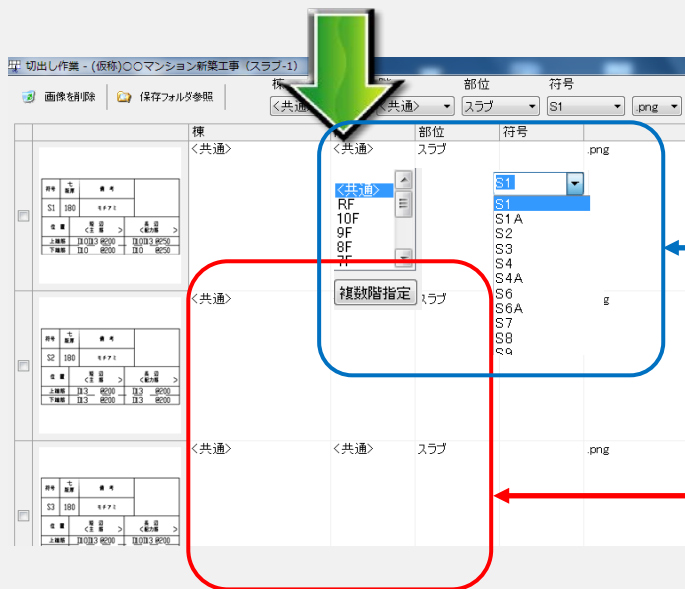
プレビュー画像から部分的に画像を切り抜くトリミング処理を行います。

①プレビュー画像内の切り抜きたい範囲をドラッグにより指定してください。

②【切り抜き】アイコンをクリックしてください。

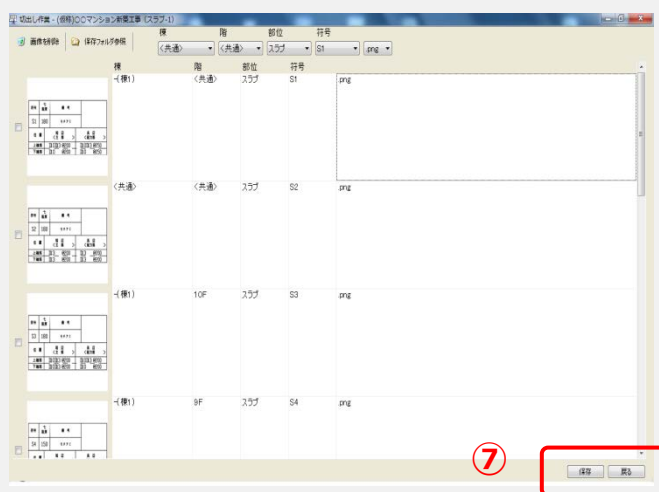
4.3.4. 窓枠一括切出し

画面イメージ	項目
	<p>①事前に画像ファイル化した構造図の保存フォルダを開き、切出しを行う図面ファイルを選択してください。</p> <p>②【窓枠一括】を選択して下さい。</p> <p>③切出す画像の範囲を四角で囲むようにドラッグします。</p>
	<p>④ <input checked="" type="checkbox"/> 黒線に合わせる</p> <p>④ <input type="button" value="次へ"/> <input type="button" value="開じる"/> をクリックして下さい。</p>
	<p>⑤保存対象部材の「棟」、「階」、「部位」、「符号」、「ファイル形式」を選択してください。</p> <p>⑥保存対象部材の「棟」、「階」、「部位」、「符号」、「ファイル形式」等が同じ場合は一括登録が出来ます。それぞれクリックして下さい。</p>

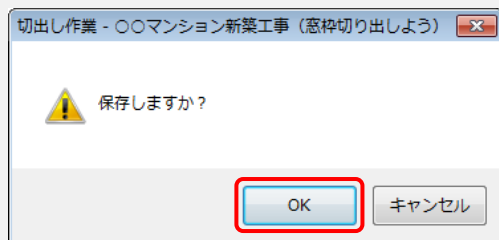


一括登録した「棟」、「階」、「部位」、「符号」、「ファイル形式」はそれぞれ編集する事が出来ます。
(⑤参照)

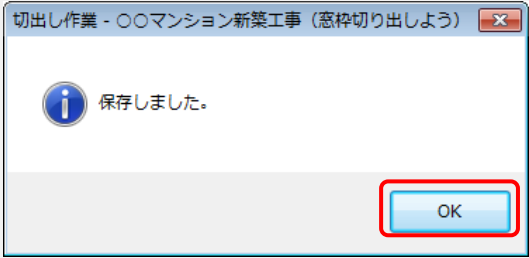
「棟」、「階」、「部位」が同じ場合は、⑥に一括登録する事が出来ます。



⑦ **保存** をクリックして下さい。



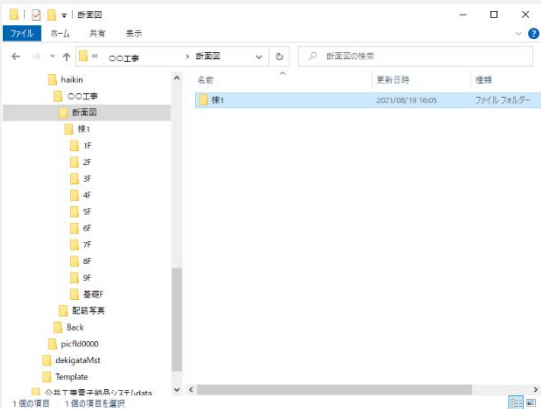
⑧ 【OK】 をクリックして下さい。

	<p>⑨ 【OK】をクリックして下さい。</p>
---	--------------------------

4-4. 部材断面図の保存フォルダ

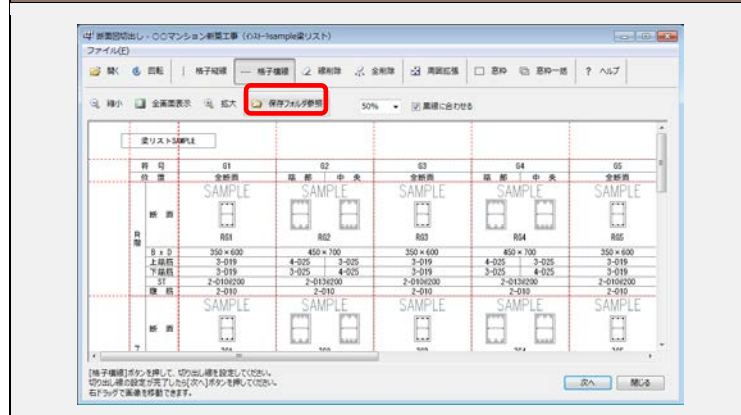
断面図切出しで作成した各部材断面図の画像ファイルは、設定したフォルダ内に正しく保存されていなければ印刷帳票へ出力されません。また Excel への画像ファイル出力もされません。設計変更等で配筋の仕様が変った場合などは、画像ファイルを再作成しなければなりませんので、変更前の旧断面図で誤って管理されないよう保存フォルダとファイル形式に注意して管理して下さい。

4.4.1. 断面図フォルダの作成

画面イメージ	説明
	<p>部材断面図の画像ファイルを保存するフォルダは、PC 内に自動的に作成されます。</p> <p>《断面図フォルダ》 C:¥現場編集長 data¥DB14ACCESS¥[工事 ID]¥haikin¥[工事名]¥断面図</p> <p>※[工事名]は、工事情報で設定した工事名がフォルダ名になります。</p>

4.4.2. 断面図フォルダの設定と構成

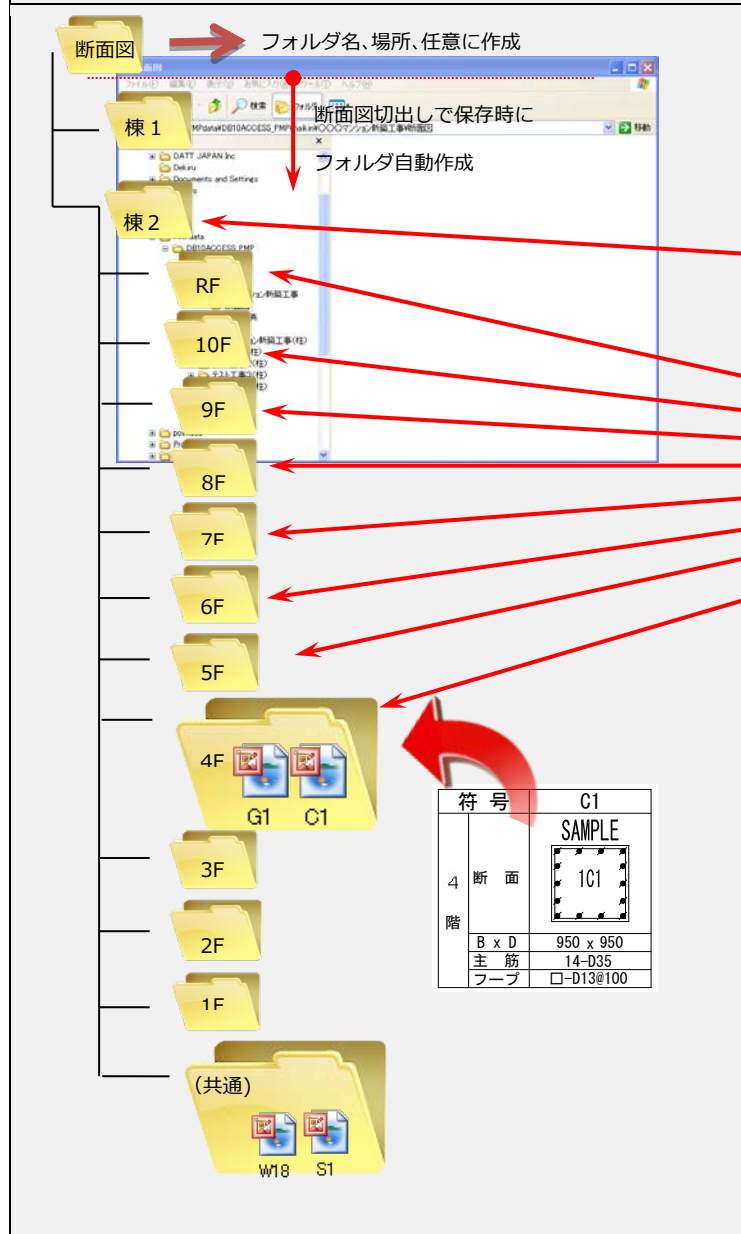
画面イメージ



説明

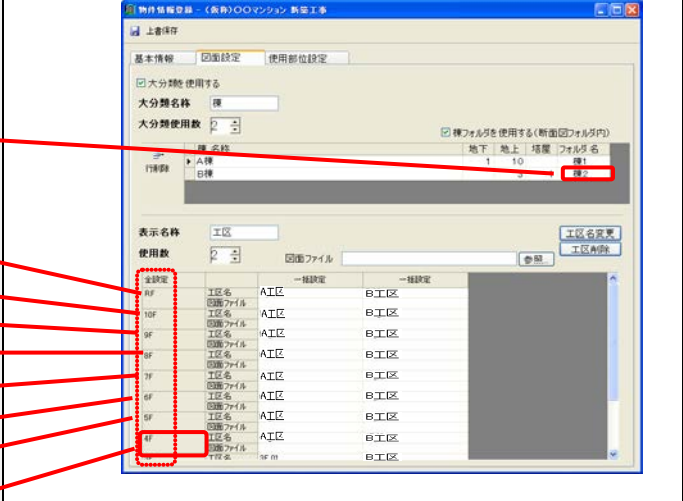
作成した断面図用フォルダは断面図切り出し画面で設定します。

【保存先フォルダの参照】をクリックします。



断面図保存用フォルダを選択します。

【物件情報録登録】



↑各階（行）をクリックするとその階の断面図フォルダが開き、
フォルダの中面図が確認出来ます。

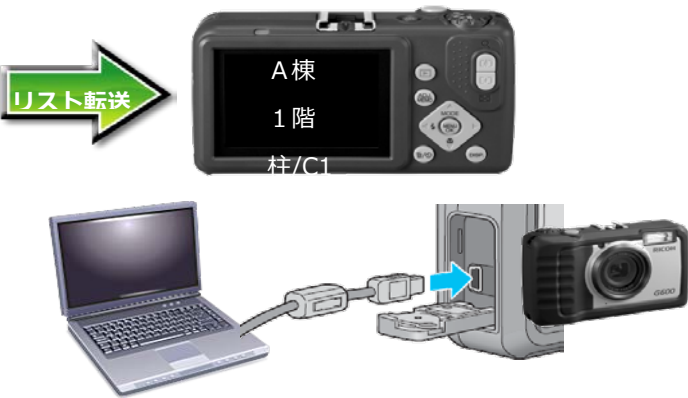
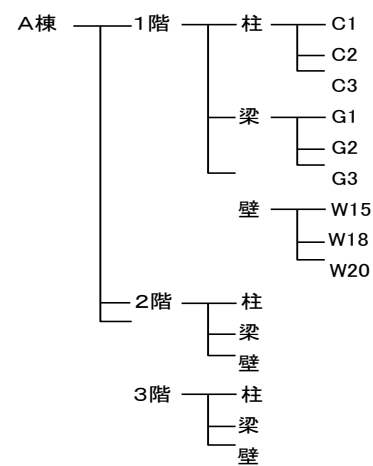
【断面図切出し】



壁やスラブなど、階が異なっても断面図が同じ部材は作成時に「階」設定で「<共通>」を選択すると「(共通)」フォルダへ保存されます。

5. 撮影リスト作成

配筋写真管理を行う部材の撮影リストを作成します。



5-1. 部材断面図を元に一括作成

断面図切り出しによって作成された画像ファイルは、「階」別のフォルダへ「符号」と同じファイル名で保存されています。その画像ファイルが存在する階・符号の部材を一括でリスト化します。

画面イメージ	説明
	<p>例：「棟 1」フォルダ内の「2F」フォルダ内へ</p> <p>C1、C2、C3、C4、C5、G1、G2、G3、G4、G5 という 10 個の画像ファイルが保存されている状態のとき、一括でリスト作成を行うと 2 階の柱 C1～5、梁 G1～5 の計 10 件がリスト作成されます。</p>

撮影リスト一括作成の作成条件

「撮影リスト作成」アイコンクリックで一括作成されるリストの作成条件は、次の条件で作成されます。

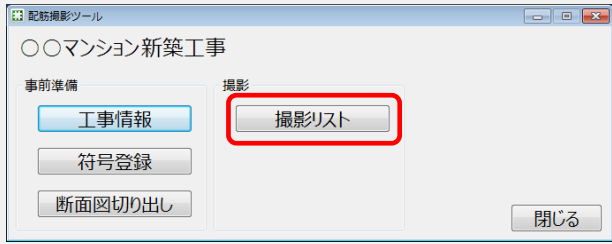
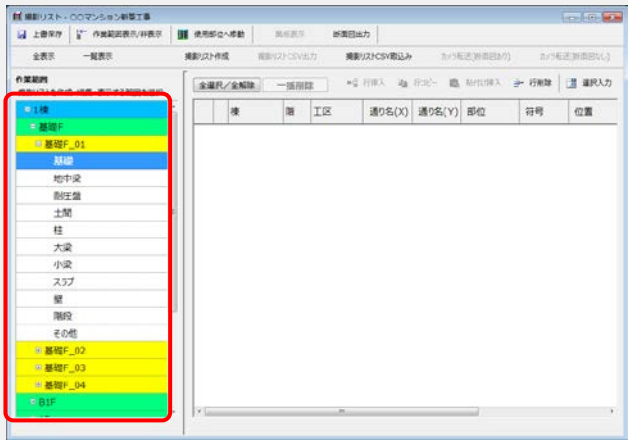
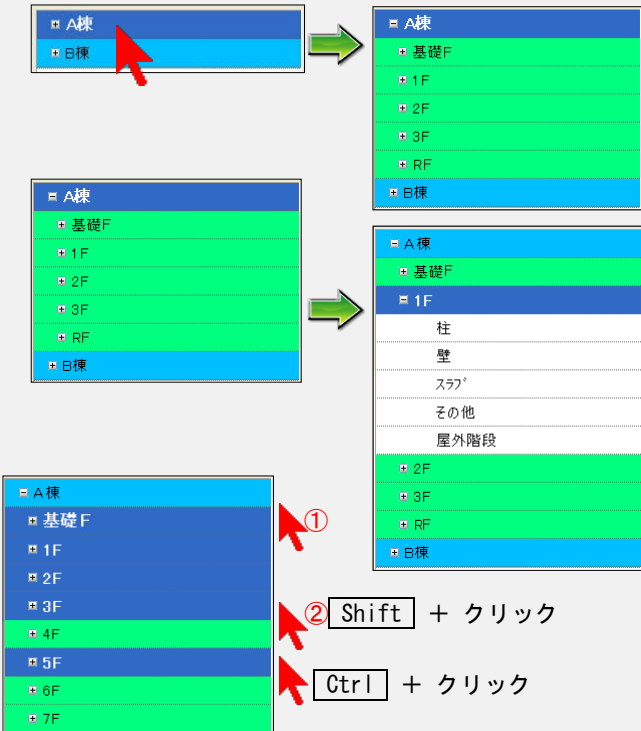


画面イメージ	説明
<div></div>	<p>【条件1】</p> <p>「工事情報登録」の「部位情報」画面で設定されている各階の部位をリスト作成します。</p> <p>例：</p> <div></div>
<div></div>	<p>【条件2】</p> <p>「部位・符号・通り名登録」メニューの「項目間の関連付け」画面で設定されている「部位」と「符号」の関連付けで、「部位」に関連付けされている「符号」をリスト作成します。</p> <p>例：</p> <div></div>

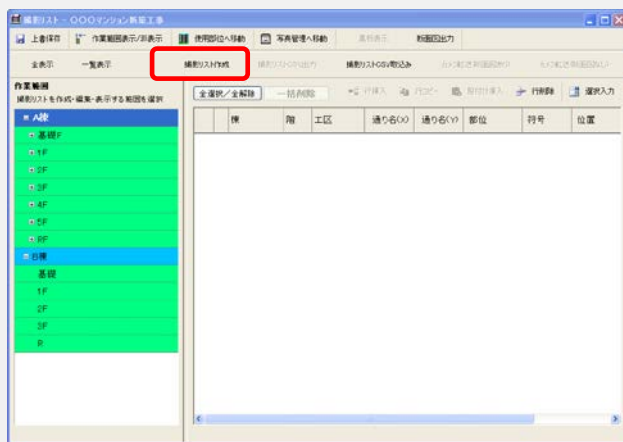
5.1.1. 撮影リスト作成時の注意

撮影リストの一括作成は次の事に注意して下さい。

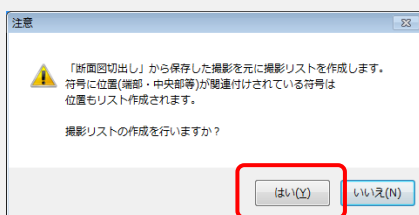


- ・一括作成後のリスト表示順は「部位・符号・通り名登録」メニューでの「符号」「位置」の登録順に作成、表示されます。
- ・一括作成では「1フロア、1符号、1件」のリスト作成となります。同じ符号の部材が複数個所配置されており全数写真撮影管理する場合は、通り名の情報を撮影時に黒板へ記入するか、一括作成後「行追加」で複数個所分リストを追加して通り名をリストへ入力して下さい。
- ・「位置」の関連付けが設定されている符号は全階同じ条件で位置をリスト作成します。例えば、梁が下層階で「端部」「中央部」に分かれており、上層階で全断面共通に変わる場合なども関連付けされていると上層階も位置がリスト作成されます。
- ・既存のリストへ追加でリスト作成を行うと、「階」「符号」「位置」が同じ条件のリストは重複して追加作成されません。ただし通り名が入力されていれば異なる条件とみなし追加します。
- ・既存のリストへ追加作成後の表示順は、柱、梁、など各部位の最下行へ追加されます。表示順の編集はできません。

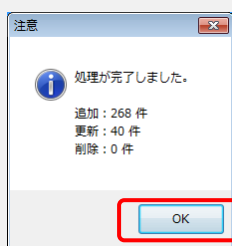
画面イメージ	説明
	<p>①【撮影リスト】をクリックしてください。</p> <p>すると、撮影リストのメニュー画面が開きます。</p> <p>新規作成後の初期状態はリストが無く何も表示されません。</p>
  <p>① Shift + クリック</p> <p>② Ctrl + クリック</p>	<p>②画面の左へ「棟名」が表示されます。リストを作成する「棟」、「階」、「部位」を選択します。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・「棟名」をクリックすると「階」が開きます。 ・「階」をクリックすると、部位が開きます。 <p>「階」「部位」を開かずに「棟」「階」を選択するには行の右側部分をクリックして下さい。</p>  <p>「階」「部位」を複数行選択するには、1行クリックしてから「Shift」キーを押しながら次の行をクリックすると、その行まで範囲選択できます。また、「Ctrl」キーを押しながら行を選択すると、連続範囲でない行を複数選択できます。</p>



③リストを作成する「階」を選択して「撮影リスト作成」をクリックしてください。



④リスト作成の確認メッセージが表示されます。
【はい】をクリックするとリスト作成が開始されます。



⑤完了メッセージが表示されます。
【OK】をクリックしてメッセージを閉じて下さい。



撮影リスト作成

「棟」を選択して撮影リスト作成を行うと、その棟の全ての「階」と「部位」が作成対象となります。



撮影リスト作成

特定の「部位」のみ選択して撮影リスト作成を行うと、選択した部位のみリスト作成されます。(階別の使用する部位設定は 41 ページ参照)

5.1.3. 撮影リスト上の断面図項目について

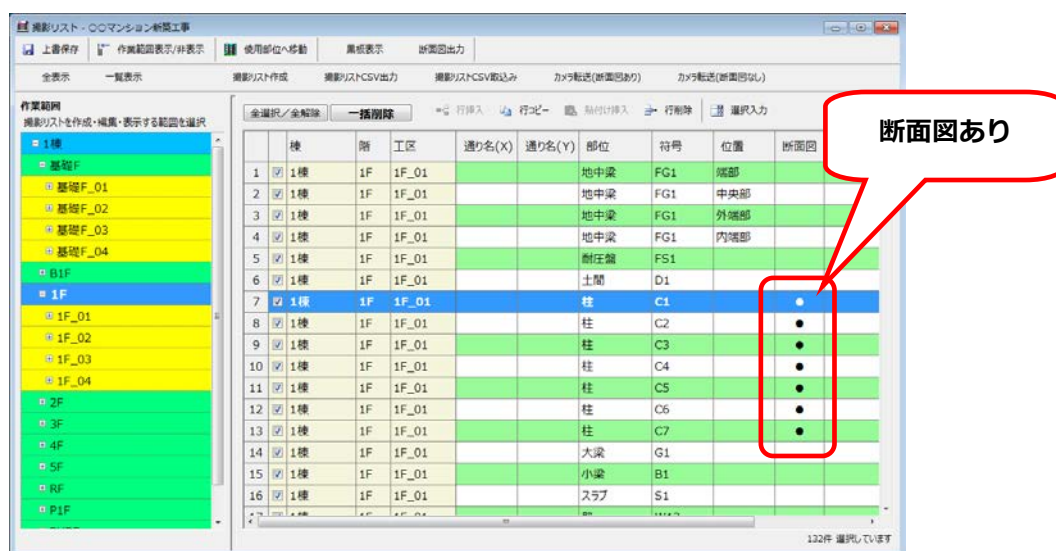
断面図項目は、その部位に断面図切出しによって保存された断面図が存在する場合に“●”を表示します。

撮影リストを利用して断面図が保存された部位を撮影すると、その写真を写真管理ツールで登録するときに、該当する断面図が自動的にリンクされます。

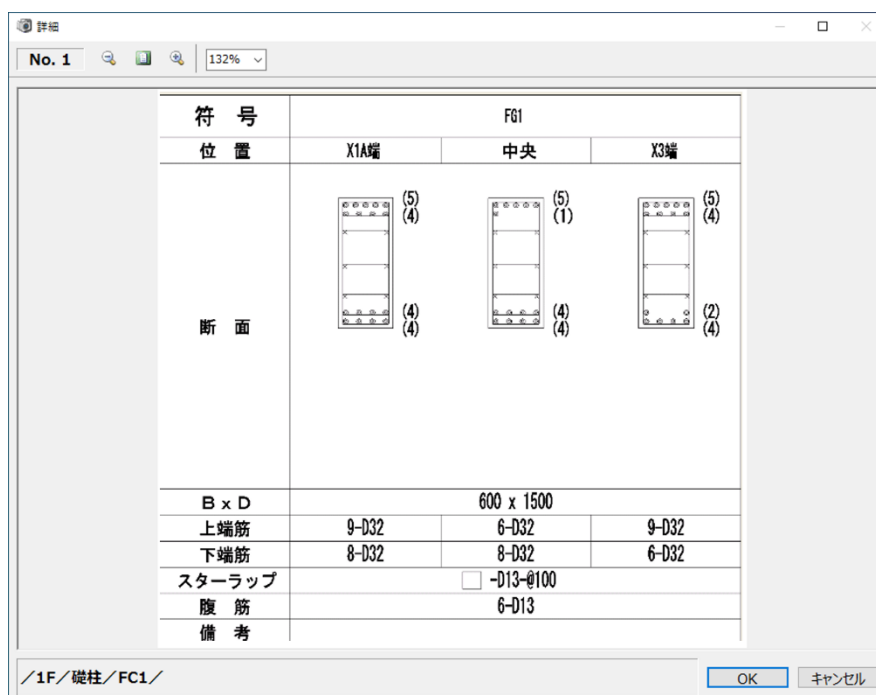
断面図項目に“●”が表示されていない部位は断面図が登録されていません。

断面図を登録する必要がある部位は、前述の断面図切出しを行ってください。

※撮影リストを利用した写真撮影については、「7-2.撮影リストをカメラへ転送(P.9)」を参照してください。

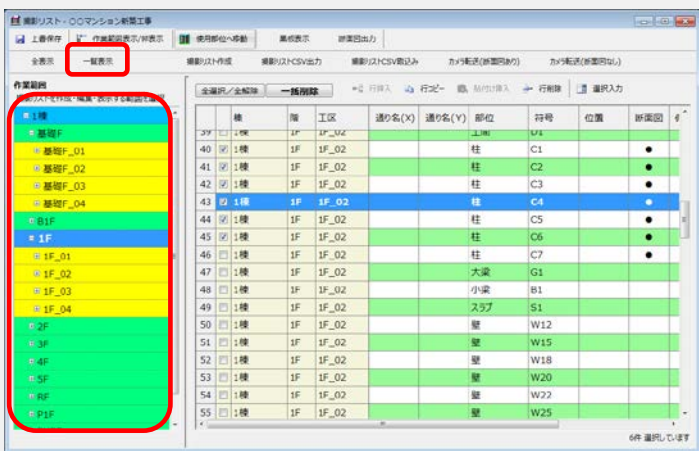
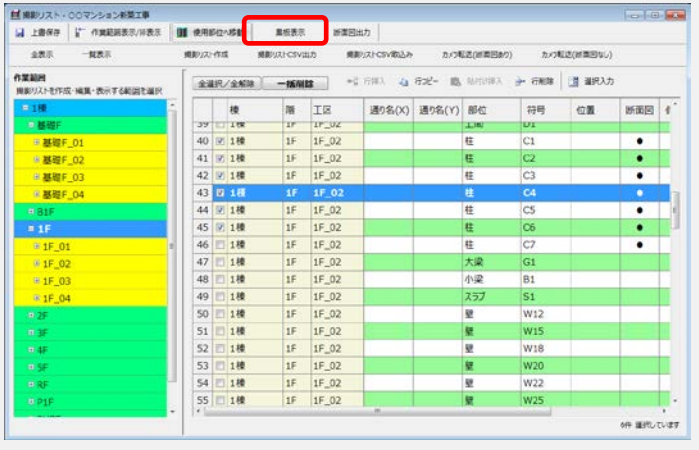


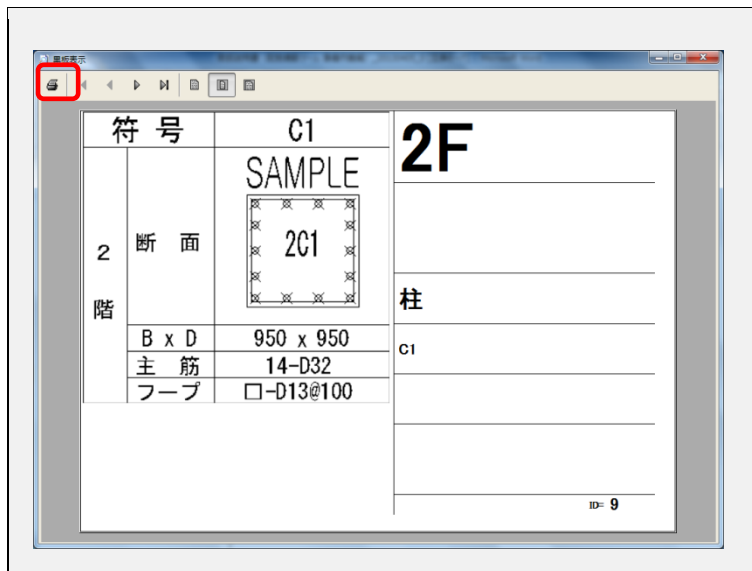
なお、“●”をクリックすると、該当する断面図が表示されます。



5.1.4. 黒板表示

切り出した断面図を黒板に表示し、印刷することができます。

画面イメージ	説明
 <p>The screenshot shows the '一覧表示' (List View) tab selected in the software interface. The left sidebar displays a tree view of the project structure, including '基礎F' (Foundation F), '1F' (1st Floor), '2F' (2nd Floor), '3F' (3rd Floor), '4F' (4th Floor), '5F' (5th Floor), '6F' (6th Floor), and 'P1F' (P1st Floor). The main area displays a table of construction items with columns for '棟' (Building), '階' (Floor), '工区' (Work Area), '通り名(X)' (Street Name X), '通り名(Y)' (Street Name Y), '部位' (Part), '符号' (Symbol), '位置' (Position), and '断面図' (Cross-section Diagram). The table lists various construction items, including '柱' (Column), '大梁' (Main Beam), '小梁' (Sub Beam), 'スラブ' (Slab), and '壁' (Wall).</p>	<p>①黒板表示対象の階と部位を選択して、 【一覧表示】をクリックし、撮影リストを表示してください。</p>
 <p>The screenshot shows the '黒板表示' (Blackboard Display) tab selected in the software interface. The left sidebar displays the same tree view of the project structure. The main area displays the same table of construction items as in the previous screenshot, but the '断面図' (Cross-section Diagram) column now shows the selected construction items, indicating that the blackboard display is active.</p>	<p>②【黒板表示】をクリックしてください。</p>



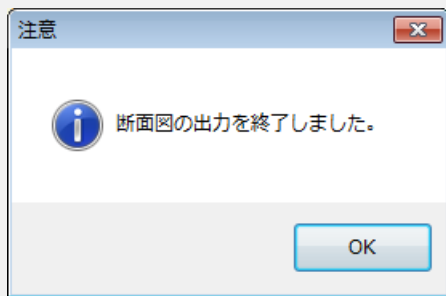
③黒板表示イメージのプレビュー画面が表示されます。表示内容を確認し、画面左上隅の印刷アイコンをクリックすると、A4 用紙に全ページ印刷されます。

※撮影リストを全表示して、黒板印刷をすることも可能ですが、大量の枚数になりますので、ご注意ください。

5.1.5. 断面図出力

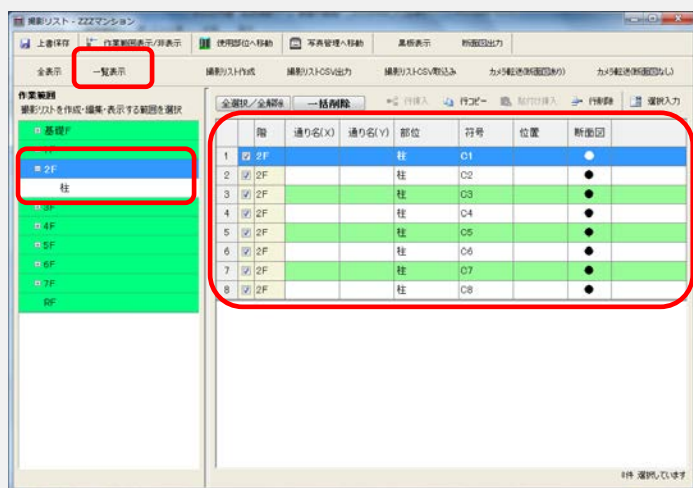
断面図出力は、切り出した部材断面図を Excel に出力することができます。また、構造情報で伏図を設定した場合は、伏図の図面も合わせて Excel に出力されます。

画面イメージ	説明
	①【断面図出力】をクリックしてください。
	②断面図の出力先を指定するダイアログボックスが表示されます。任意に出力先を指定してください。



③断面図出力が終了すると、終了メッセージが表示されます。

【OK】 ボタンをクリックしてください。

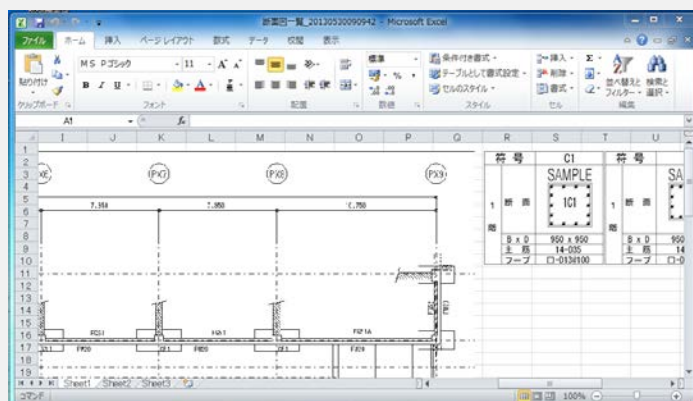


④出力された Excel ファイルを開くと、断面図が画像ファイルとして張り付いています。Excel ファイルですので、自由に編集できます。

一部の断面図を出力する場合は、作業範囲で該当する階、部位を選択し、【一覧表示】をクリックして撮影リストの表示を絞り込んでください。

【断面図出力】をクリックすると、絞りこまれた箇所のみが出力されます。

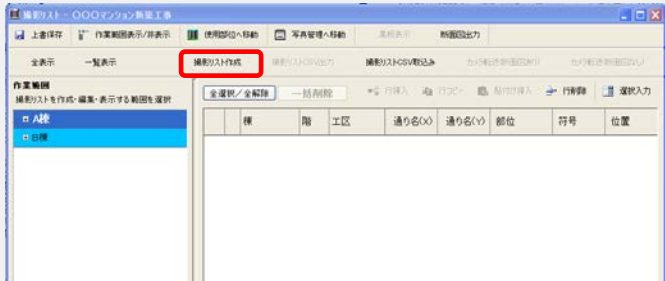

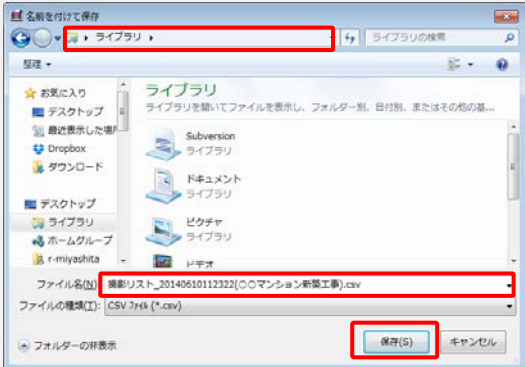
※例では伏図は設定された階を選択したため、伏図も合わせて出力されています。

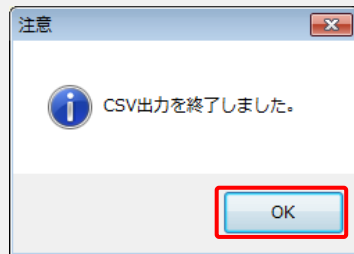


5-2. CSV データへの出力、CSV データからの取り込み

撮影リストは規定のフォーマットで作成した CSV 形式のファイルへ出力、又は CSV ファイルから取り込む事ができます。リストへ通り名を入力して全数写真撮影管理を行う場合などは、エクセルで編集し、CSV 形式で保存したデータを取り込んで下さい。

5.2.1. CSV ファイルへ出力

画面イメージ	説明
	<p>①リストを作成する「棟」、「階」、を選択します。</p> <p>【撮影リスト作成】をクリックして、撮影リストを作成してください。</p>
	<p>②【撮影リスト CSV 出力】をクリックしてください。</p>
	<p>③「名前を付けて保存」ウィンドウが開きます。</p> <p>保存する場所とファイル名を指定して【保存】をクリックしてください。</p>



④出力終了のメッセージが表示されます。

【OK】をクリックしてください。



CSV ファイルへ出力される部材リストのデータは 68 ページの部材リスト作成と同じ条件で出力されます。

5.2.2. CSV ファイルの編集

画面イメージ

Microsoft Excel - Book1																				
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	
1	(棟ID)	(棟名)	(階)	(工区ID)	(工区)	(検査日)	(No.)	通り名1	～	通り名2	～	通り名3	部位	符号	位置	(撮影日)	検査者	(写真枚数)	(メモ)	備考
2	1	A棟	1F		31F,1工区								柱	C1						
3	1	A棟	1F		31F,1工区								柱	C2						
4	1	A棟	1F		31F,1工区								柱	C3						
5	1	A棟	1F		31F,1工区								柱	C4						
6	1	A棟	1F		31F,1工区								柱	C5						
7	1	A棟	1F		31F,1工区								柱	C6						
8	1	A棟	1F		31F,1工区								柱	C7						
9	1	A棟	1F		31F,1工区								柱	C8						
10	1	A棟	1F		31F,1工区								壁	WB8						
11	1	A棟	1F		31F,1工区								壁	WB9						
12	1	A棟	1F		31F,1工区								その他							
13	1	A棟	1F		31F,1工区								屋外階段							
14																				
15																				
16																				
17																				
18																				
19																				
20																				

説明

①保存したエクセル CSV ファイルを開きます。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(種ID)	(種名)	(部)	(工区ID)	(工区)	(検査日)	(No)	通り名1	～	通り名2	～	通り名3	部位	符号	位置	(製法日)	検査者	(写真枚数)	(メモ)	備考
1	A種	1F	31F1工区									柱	C1						
2	A種	1F	31F1工区									柱	C2						
3	A種	1F	31F1工区									柱	C3						
4	A種	1F	31F1工区									柱	C4						
5	A種	1F	31F1工区									柱	C5						
6	A種	1F	31F1工区									柱	C6						
7	A種	1F	31F1工区									柱	C7						
8	A種	1F	31F1工区									柱	C8						
9	A種	1F	31F1工区									壁	W18						
10	A種	1F	31F1工区									壁	W20						
11	A種	1F	31F1工区									その他							
12	A種	1F	31F1工区									屋外階段							
13	A種	1F	31F1工区																
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			


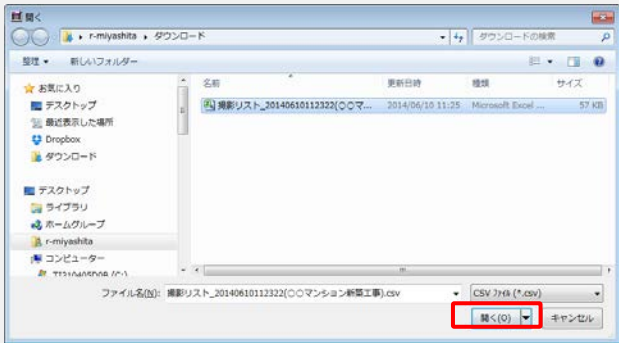
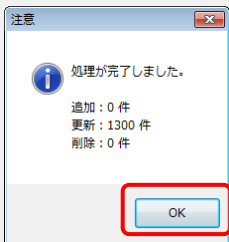
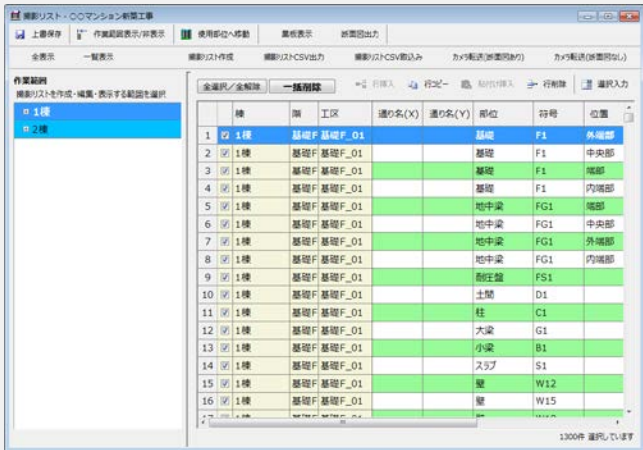
②エクセルで部材リストを編集します。1行目の項目の内、カッコ（ ）で囲まれている項目列（A～G 列）の内容はセルのコピーで編集して下さい。H 列の「通り名 1」から N 列の「位置」までは自由に編集可能です。

【注意事項】

- ・ H 列「通り名 1」に「X1」、I 列「～ 通り名 1」に「X2」と入力すると、取り込み後は「X1～X2」と表示されます。（“～”は自動で表示されます）
- ・ 部位は登録されている「部位」を入力して下さい。「スラブ」の半角がけと全角カタカナの違いや、「床版」などの違いに注意して下さい。
- ・ 符号は登録されている符号を使用して下さい。半角英数の「C1」と全角英数の「C 1」の違いに注意して下さい。

③編集が完了したらファイルを閉じます。

5.2.3. CSV ファイルからの取り込み

画面イメージ	説明
	<p>①CSV データを取り込む階を選択したら</p> <p>【撮影リスト CSV 取込み】をクリックしてください。</p>
	<p>②フォルダ選択ウィンドウが開きます。</p> <p>CSV ファイルを選択して</p> <p>【開く】をクリックしてください。</p>
	<p>③完了メッセージが表示されます。</p> <p>【OK】でメッセージを閉じて下さい。</p>
	<p>④取り込まれたリストが表示されます。</p>

5-3. リストの編集

5.3.1. リストの表示方法

画面イメージ	説明
<div>  </div>	<p>①「部材リスト」メニュー画面の左へ「棟名」が表示されます。リストを編集する「棟」、「階」、を選択します。</p> <div></div> <ul style="list-style-type: none">・「棟名」をクリックすると「階」が開きます。・「階」をクリックすると、部位が開きます。
<div></div>	<p>②「部位」を選択したら「一覧表示」をクリックします。</p>

画面1: 初期リスト - OOOマシン 作業工事

作業範囲: 階別表示/非表示

階	工区	通り名(OO)	通り名(O)	部位	符号	位置
1	A棟	基礎F 基礎F		集中梁	FG1	
2	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG2	
3	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG3	
4	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG4	
5	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG5	
6	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG6	
7	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG7	
8	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG8	
9	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG9	
10	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG10	
11	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG11	
12	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG12	
13	A棟	基礎F 基礎F		土間		
14	A棟	基礎F 基礎F		その他		
15	A棟	基礎F 基礎F.02		地中梁	FG1	
16	A棟	基礎F 基礎F.02		地中梁	FG2	

選択した「部位」のリストが表示されます。



「作業範囲の表示/非表示」をクリックすると画面左の階と部位の階層が非表示になります。

画面2: 初期リスト - OOOマシン 作業工事

作業範囲: 階別表示/非表示

階	工区	通り名(OO)	通り名(O)	部位	符号	位置
1	A棟	基礎F 基礎F		集中梁	FG1	
2	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG2	
3	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG3	
4	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG4	
5	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG5	
6	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG6	
7	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG7	
8	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG8	
9	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG9	
10	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG10	
11	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG11	
12	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG12	
13	A棟	基礎F 基礎F		土間		
14	A棟	基礎F 基礎F		その他		
15	A棟	基礎F 基礎F.02		地中梁	FG1	
16	A棟	基礎F 基礎F.02		地中梁	FG2	

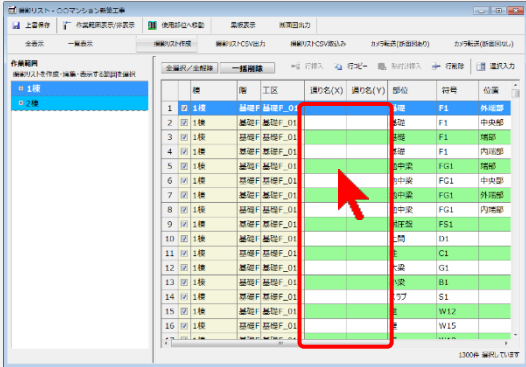
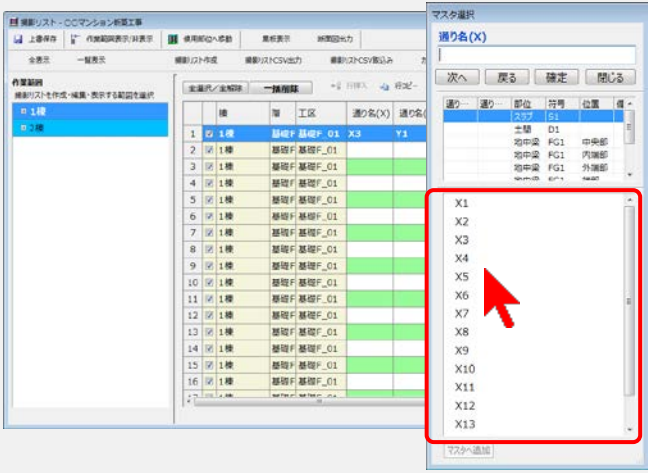
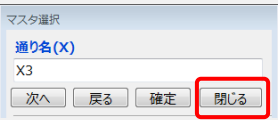
「作業範囲表示/非表示」をクリックすると画面左に階と部位の階層が表示されます。



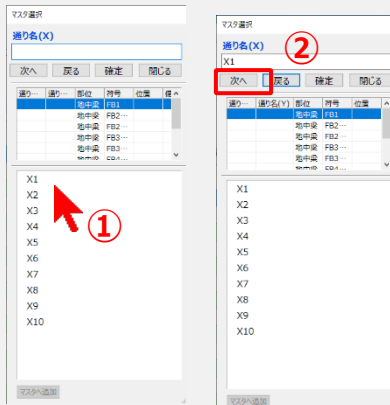
画面3: 初期リスト - OOOマシン 作業工事

作業範囲: 階別表示/非表示

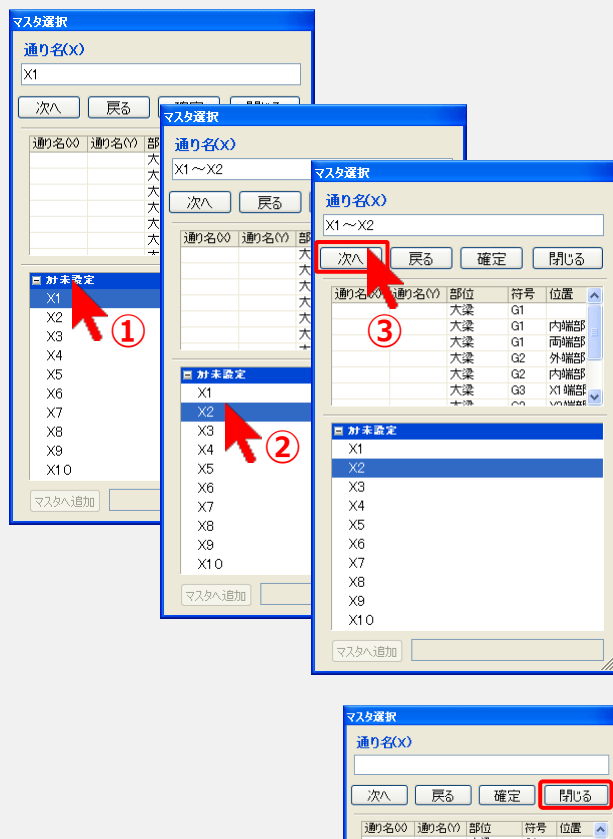
階	工区	通り名(OO)	通り名(O)	部位	符号	位置	断頭図
1	A棟	基礎F 基礎F		集中梁	FG1		●
2	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG2		●
3	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG3		●
4	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG4		●
5	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG5		●
6	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG6		●
7	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG7		●
8	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG8		●
9	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG9		●
10	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG10		●
11	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG11		●
12	A棟	基礎F 基礎F		地中梁	FG12		●
13	A棟	基礎F 基礎F		土間			
14	A棟	基礎F 基礎F		その他			
15	A棟	基礎F 基礎F.02		地中梁	FG1		●
16	A棟	基礎F 基礎F.02		地中梁	FG2		●
17	A棟	基礎F 基礎F.02		地中梁	FG3		●

画面イメージ	説明
	<p>①表示されているリストの通り名欄をクリックしてください。</p>
	<p>「マスタ選択」ウィンドウが開きます。</p> <p>②通り名を選択入力してください。</p>
	<p>④ 【閉じる】をクリックします。</p>

【通り名の入力方法】

画面イメージ	説明								
<div>・ 柱の通り名</div> <div></div>	<div>①「通り名(X)」の通り名をクリックします。</div> <div>②「次へ」をクリックします。</div> <div>③「通り名(Y)」の通り名をクリックします。</div> <div>④「次へ」をクリックします。</div> <div><table><tr><th>通り名(X)</th><th>通り名(Y)</th><th>部位</th><th>符号</th></tr><tr><td>X1</td><td>Y2</td><td>柱</td><td>C1</td></tr></table></div>	通り名(X)	通り名(Y)	部位	符号	X1	Y2	柱	C1
通り名(X)	通り名(Y)	部位	符号						
X1	Y2	柱	C1						

・梁、壁、スラブ、等の通り名



①通り名(X)「○～○」範囲表示の始まりの通り名をクリックします。

通り名(X)	通り名(Y)	部位	符号
X1～X2	Y3～Y4	小梁	B1

②続けて範囲表示の終わりの通り名をクリックします。

③「次へ」をクリックします。

④通り名(Y)「○～○」範囲表示の始まりの通り名をクリックします。

⑤続けて範囲表示の終わりの通り名をクリックします。

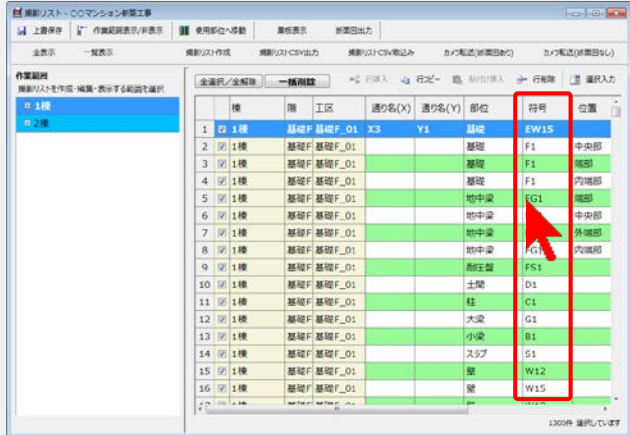
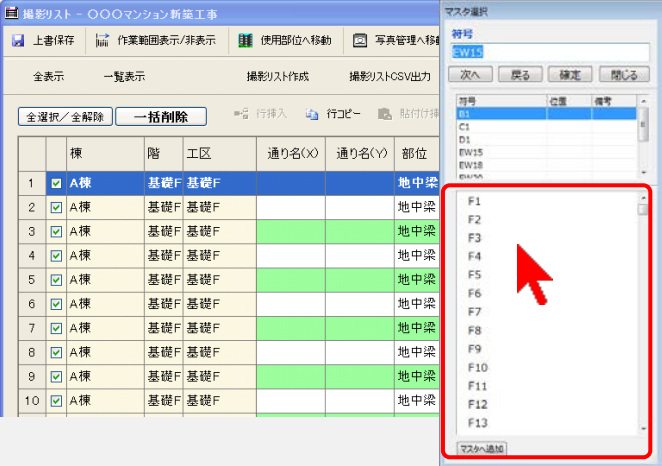
⑥【閉じる】若しくは【確定】をクリックしてください。



通り名は直接入力も可能です。「'」符号は半角が使用できません。全角で入力して下さい。

⑦削除は入力ボックスの文字を削除してください。

5.3.3. 符号の編集

画面イメージ	説明
 <p>The screenshot shows the 'Symbol List' window for a new building project. It contains a table with columns: 棟 (Building), 階 (Floor), 工区 (Work Area), 通り名(X) (Road Name X), 通り名(Y) (Road Name Y), 部位 (Part), 符号 (Symbol), and 位置 (Position). The 'Symbol' column is highlighted with a red box, and a red arrow points to the 'EW15' symbol in the 15th row.</p>	<p>①表示されているリストの符号欄をクリックしてください。</p>
 <p>The screenshot shows the 'Symbol List' window with the 'Symbol' column selected. A red box highlights the 'Symbol' column, and a red arrow points to the 'F1' symbol in the 1st row. A 'Master Selection' window is also visible, showing a list of symbols (F1, F2, F3, F4, F5, F6, F7, F8, F9, F10, F11, F12, F13) with a red arrow pointing to 'F1'.</p>	<p>マスタ選択ウィンドウが開きます。</p> <p>②符号を選択入力してください。</p>

マスタ選択

位置

端部

次へ 戻る 確定 閉じる

位置	備考
中央部	
内端部	
外端部	
端部	

マスタ選択

符号

C1

次へ 戻る 確定 閉じる

符号	位置	備考
B1		
C1		

③「位置」の入力へ表示が変わります。

【閉じる】をクリックしてください。



符号は直接入力も可能ですが、文字の全角と半角に注意して下さい。工事写真アルバムで部材断面図が正しく表示されません。また、断面図切出しを行っていない部材の符号を入力すると、工事写真アルバムで部材断面図が表示されません。

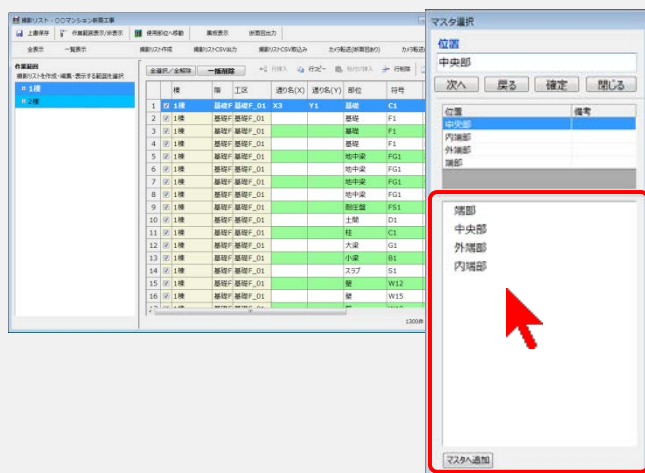
5.3.4. 位置の編集

画面イメージ

No.	部	工区	部材名(X)	部材名(Y)	部材	符号	位置
1	10	10	部材F_01	Y1	部材	C1	中央部
2	10	10	部材F_01	Y1	部材	F1	端部
3	10	10	部材F_01	Y1	部材	F1	内端部
4	10	10	部材F_01	Y1	部材	F1	外端部
5	10	10	部材F_01	Y1	部材	F1	端部
6	10	10	部材F_01	Y1	部材	F1	中央部
7	10	10	部材F_01	Y1	部材	F1	内端部
8	10	10	部材F_01	Y1	部材	F1	外端部
9	10	10	部材F_01	Y1	部材	F1	端部
10	10	10	部材F_01	Y1	部材	F1	中央部
11	10	10	部材F_01	Y1	部材	F1	内端部
12	10	10	部材F_01	Y1	部材	F1	外端部
13	10	10	部材F_01	Y1	部材	F1	端部
14	10	10	部材F_01	Y1	部材	F1	中央部
15	10	10	部材F_01	Y1	部材	F1	内端部
16	10	10	部材F_01	Y1	部材	F1	外端部

説明

①表示されているリストの位置欄をクリックしてください。



マスタ選択ウィンドウが開きます。

②位置を選択入力してください。

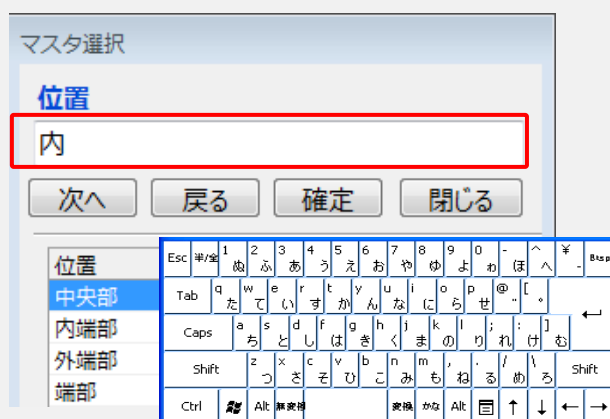


③「メモ」の入力へ表示が変わります。

【閉じる】をクリックしてください。

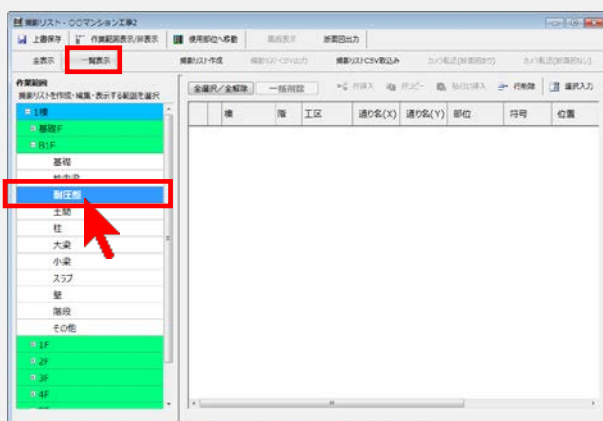


位置は直接入力も可能です。



【行の追加】

画面イメージ

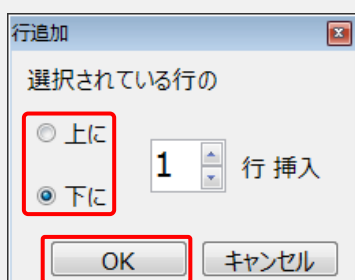


説明

①リストを追加する部位を選択して【一覧表示】をクリックしてください。



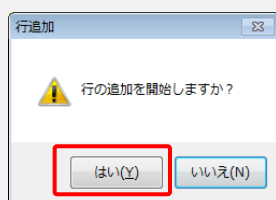
②リストを追加したい行をクリックして【行挿入】をクリックしてください。



行追加ウィンドウが表示されます。

③選択している行の「上に」追加するか「下に」追加するか選択して、追加する行数を入力してください。

④【OK】をクリックしてください。


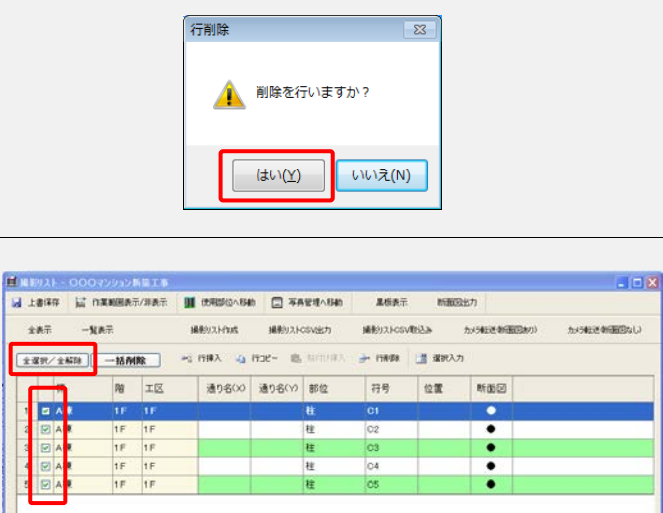


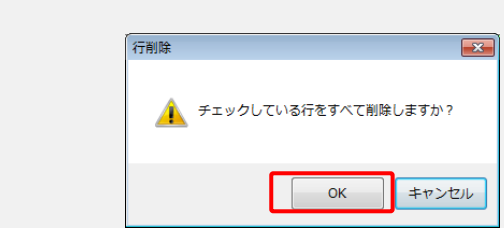


⑤行追加の確認メッセージが表示されます。

【はい】をクリックしてください。

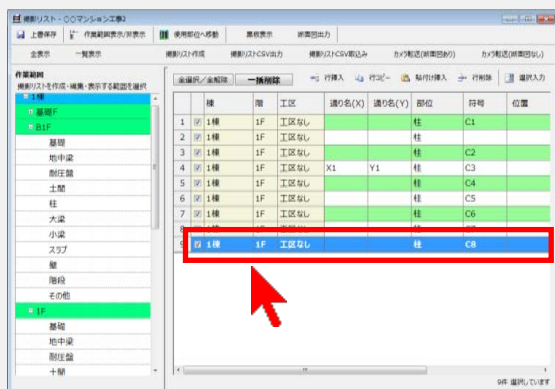
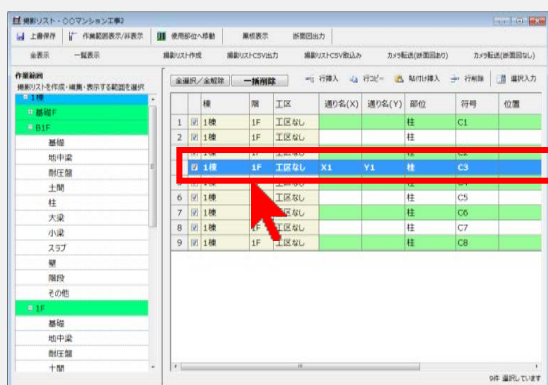
行が追加されます。

【行の削除】

画面イメージ	説明
	<p>①リストを削除する行をクリックして【行削除】をクリックしてください。</p>
	<p>②削除確認メッセージが表示されます。 【OK】をクリックすると削除されます。</p>
	<p>③複数行を一括削除するには、【全選択/全解除】アイコンをクリックして、行先頭のチェックマークを全て外してから、削除する行にチェックマークを入れます。</p>
	<p>④【一括削除】をクリックします。</p>
	<p>⑤削除確認メッセージが表示されます。 【OK】をクリックすると選択された行が削除されます。</p>

【行のコピー】

画面イメージ



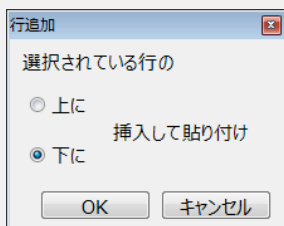
説明

①リストより、コピーしたい行を選択して下さい。

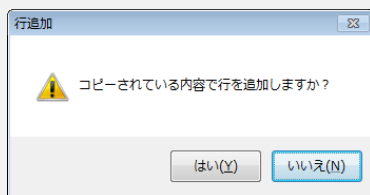
②「行コピー」をクリックすると「貼付け挿入」が表示されます。



③挿入する行を選択して下さい。



④貼付け挿入をクリックすると、行追加が表示されます。
はい」をクリックすると行が追加されます。
選択されている行の上・下を選んで【OK】をクリック
すると部位、符号がコピーされ行が追加されます。



⑤コピーする内容が正しければ、【はい】をクリックしてください。

	棟	階	工区	通り名(X)	通り名(Y)	部位	符号	位置
1	1棟	1F	工区なし			柱	C1	
2	1棟	1F	工区なし			柱	C2	
3	1棟	1F	工区なし			柱	C3	
4	1棟	1F	工区なし	X1	Y1	柱	C4	
5	1棟	1F	工区なし			柱	C5	
6	1棟	1F	工区なし			柱	C6	
7	1棟	1F	工区なし			柱	C7	
8	1棟	1F	工区なし			柱	C8	
9	1棟	1F	工区なし			柱	C9	
10	1棟	1F	工区なし	X1	Y1	柱	C3	

⑥行が追加されます。

6. その他

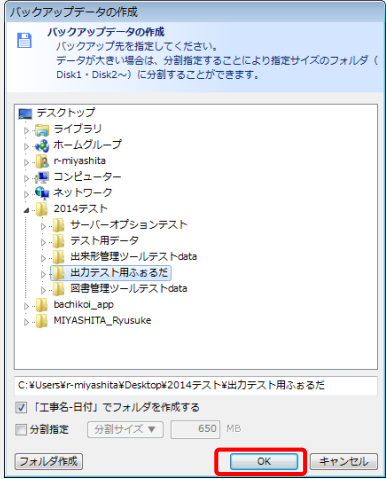
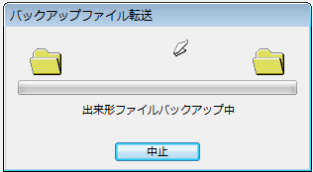
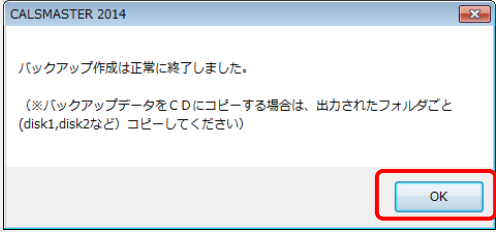
6-1. データのバックアップの作成と回復

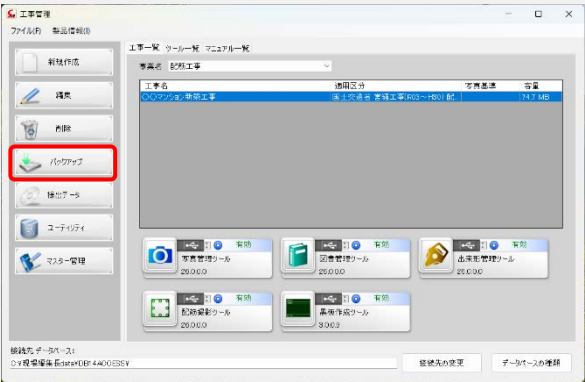
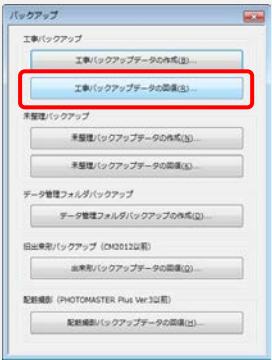
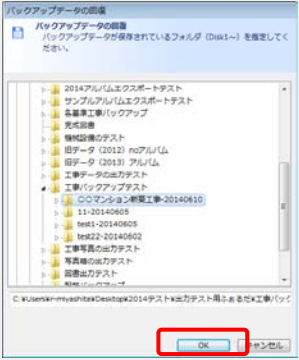
バックアップ用データとして出力されたデータは他のパソコンへ取り込んで使用することができます。断面図切出し等の事前準備作業を写真撮影担当者以外のパソコンで作成する場合などに便利です。

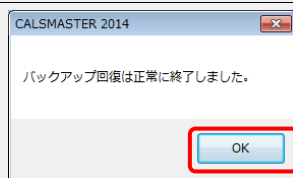
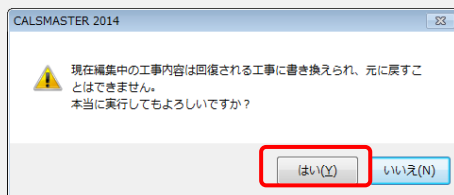
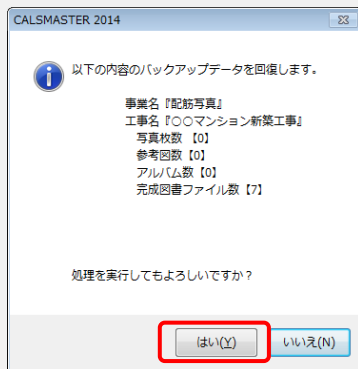


6.1.1. バックアップデータの作成

画面イメージ	説明
	<p>①工事管理画面にて、出力したい工事を選択してください。</p> <p>②右のメニューより【バックアップ】選択してください。</p>
	<p>③【工事バックアップデータの作成】をクリックしてください。</p>

	<p>④バックアップの作成ウィンドウが開きます。</p> <p>ファイル名を指定して【OK】をクリックしてください。</p>
	<p>⑤バックアップファイル転送ダイアログが表示されます。出力完了まで暫くお待ちください。</p>
	<p>⑤完了メッセージが表示されます。</p> <p>【OK】をクリックしてください。</p>

画面イメージ	説明
	<p>①工事管理画面にて、右のメニューより【バックアップ】選択してください。</p>
	<p>②【工事バックアップデータの回復】をクリックしてください。</p>
	<p>③バックアップデータの回復ウィンドウが開きます。ファイル名を指定して【OK】をクリックしてください。</p>



④確認ウィンドウが開きます。

【はい】をクリックしてください。

同名の工事が存在している場合には書き換えられます。問題がなければ【はい】をクリックして下さい。

データの取り込みが開始されます。

⑤完了メッセージが表示されます。

【OK】をクリックしてください。

7. 現場作業～配筋写真の撮影方法

ここでは撮影リストをカメラへ転送し配筋写真を撮影するまでの流れを説明します。

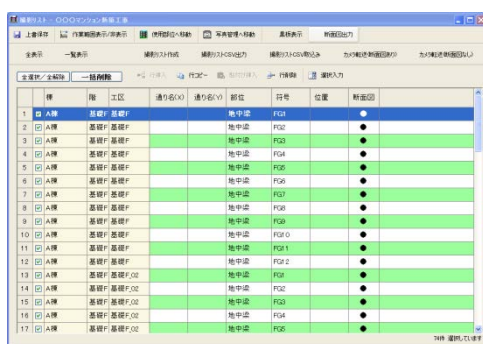
7-1. デジタルカメラの初期設定

リコー製のデジタルカメラ G700/G800 を配筋連携ツールと連携して使用するためには、はじめにカメラの設定が必要です。事前に電池を充電してください。

カメラの設定につきましては添付の「リコーカメラ初期設定」マニュアルをご確認下さい。

7-2. 撮影リストをカメラへ転送

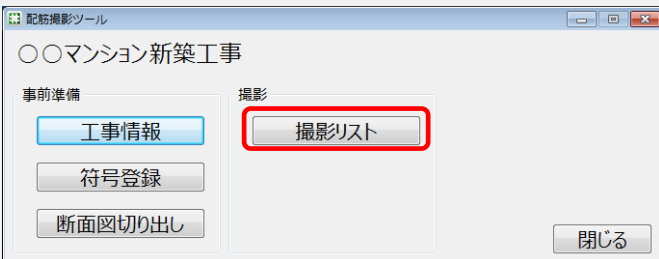
撮影リストをリコー製のデジタルカメラ G700/G800/G900 へ転送するとカメラメモ機能で表示されます。

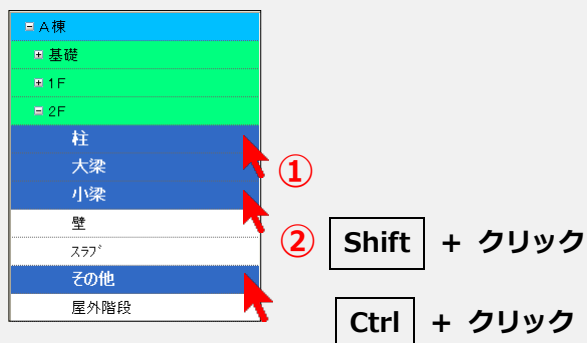
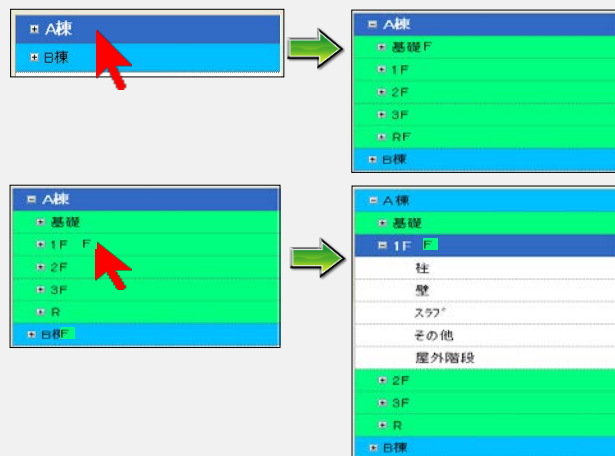
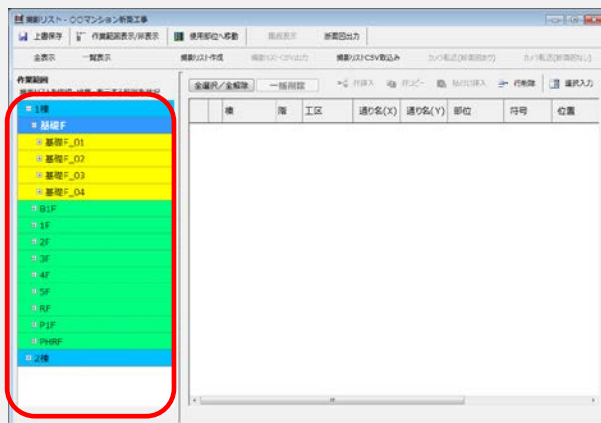


項目	名称	位置	状況	備考
1	A棟	基礎F	地中梁	PS0
2	A棟	基礎F	地中梁	PS0
3	A棟	基礎F	地中梁	PS0
4	A棟	基礎F	地中梁	PS0
5	A棟	基礎F	地中梁	PS0
6	A棟	基礎F	地中梁	PS0
7	A棟	基礎F	地中梁	PS0
8	A棟	基礎F	地中梁	PS0
9	A棟	基礎F	地中梁	PS0
10	A棟	基礎F	地中梁	PS0
11	A棟	基礎F	地中梁	PS0
12	A棟	基礎F	地中梁	PS0
13	A棟	基礎F	地中梁	PS0
14	A棟	基礎F	地中梁	PS0
15	A棟	基礎F	地中梁	PS0
16	A棟	基礎F	地中梁	PS0
17	A棟	基礎F	地中梁	PS0



※カメラ転送（断面図あり）は G700,G800,G900 で使用可能です。

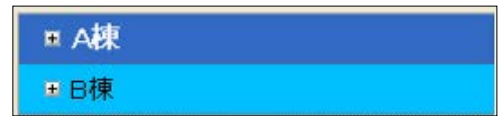
画面イメージ	項目
	①【撮影リスト】をクリックしてください。



撮影リストメニュー画面が開きます。

②画面の左へ「棟名」が表示されます。

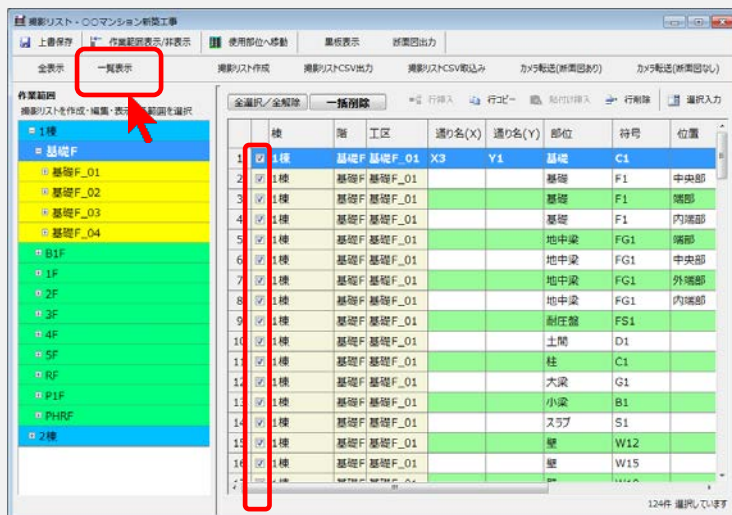
リストを表示する「棟」、「階」、「部位」を選択します。



・「棟名」をクリックすると「階」が開きます。

・「階」をクリックすると、部位が開きます。

「部位」を複数行選択するには、1行クリックしてから「Shift」キーを押しながら次の行をクリックすると、その部位まで範囲選択できます。また、「Ctrl」キーを押しながら部位を選択すると、連続範囲でない部位を複数選択できます。



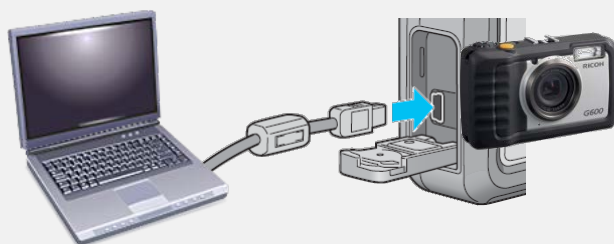
③リストを転送して現場で撮影する部位を選択し、【一覧表示】をクリックしてください。

選択した部位のリストが表示されます。

チェックマークが入っている行が、カメラ転送の対象となります。

リコーG700 は 99 行まで、G800・G900 は 999 行までリストを転送することができます。左端列の一覧表示通し番号を目安にして下さい。

※行数の上限を超えて転送した場合、エラーとなりますのでご注意ください。



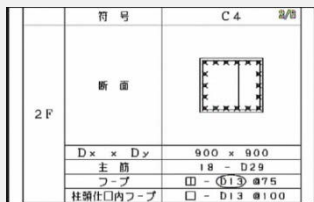
④カメラの電源を OFF のまま USB ケーブルでパソコンへ接続します。



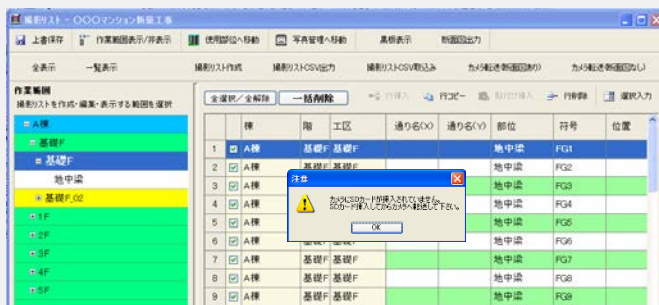
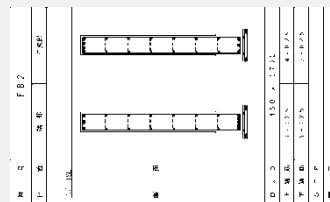
⑤カメラの電源が自動で入り、モニタの表示が「接続待ち…」から「PC 接続中」に変わります。



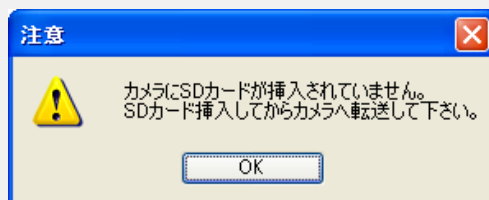
【参考図が横長の場合】



【参考図が縦長の場合】



【G700 の場合】



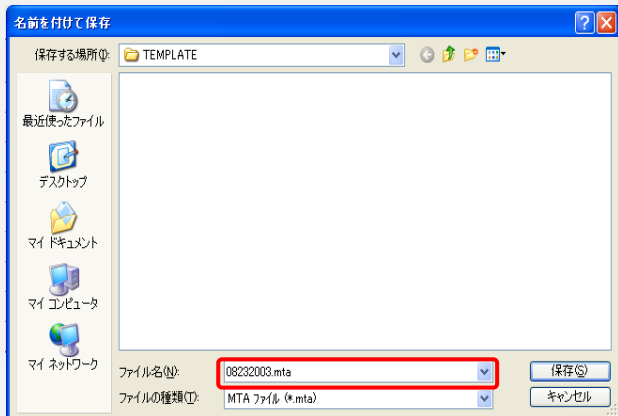
⑥「カメラ転送(断面図あり)」または「カメラ転送(断面図なし)」をクリックしてください。

カメラ転送(断面図なし)・・・部材リストが転送されます。
カメラ転送(断面図あり)・・・部材リスト及び断面図が転送されます。
※ 押下時に G900/G800 か G700 かを選択するメニューがプルダウン表示されますので選択してください。

【G700 を使用されている場合】
カメラ転送(断面図あり)された断面図(参考図)が縦長の場合、画像を 90 度回転して出力されます。

転送先がリコーカメラで、SD カードが未装着の場合、メッセージが表示され処理を中止します。

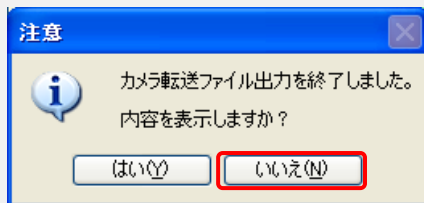
・カメラ転送(断面図あり)時に、SD カード内の未使用参考図ファイル削除します。
※SD 内の参考図実ファイルと全カメラメモ内の参考図とを比較し、メモに無いものは削除します。



「名前を付けて保存」ウィンドウが開きます。

⑦ファイル名は日付、時間になっていますので分かりやすい名前で保存してください。

例： 08241000 ⇒ 1F_柱

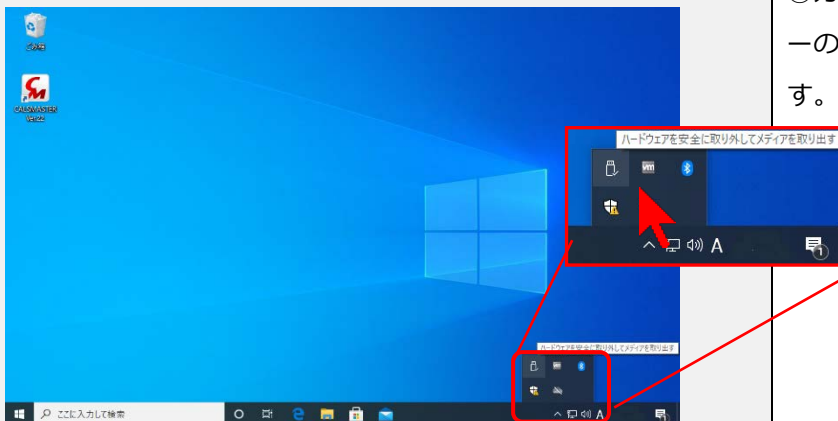


⑧転送完了のメッセージが表示されます。

転送した内容を確認するには【はい】を、確認しない場合は【いいえ】をクリックしてください。



「はい」をクリックすると転送したリストを開くことができますが、リコーのカメラと同梱されているCDから「Caplio Software」の「List Editor」がインストールされていない場合は開くことができません。



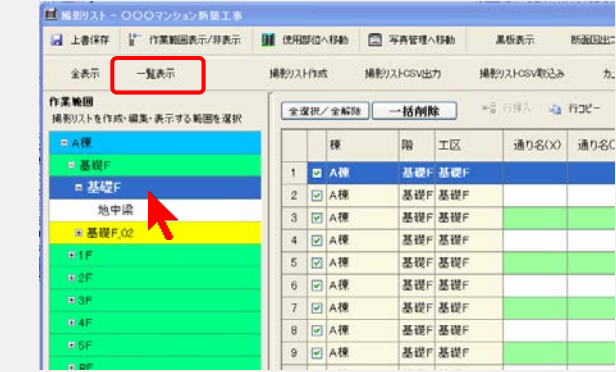


⑨カメラをパソコンから取り外します。タスクバーの「USB の取り外し」アイコンをクリックします。

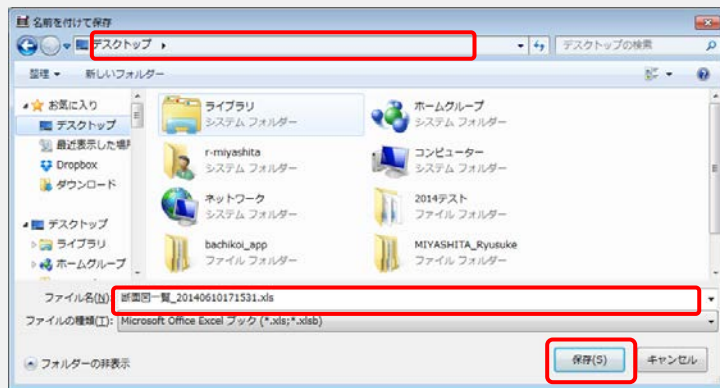


⑩カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜きます。

7-3. 部材断面図の Excel 出力

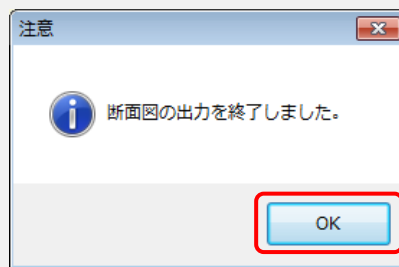
断面図切出しで作成された部材断面図画像ファイルを、指定した階の部位別に Excel ファイルへ貼り付けて出力することができます。現場での配筋検査帳票や鉄筋工事のその他の書類へ利活用して下さい。

画面イメージ	項目
 	<p>①部材断面図を Excel ファイルへ出力する部位を選択して、「一覧表示」をクリックします。</p> <p>選択した部位のリストが表示されます。 チェックマークが入っている行が、Excel ファイルへの出力対象となります。</p>
	<p>②出力するリストにチェックマークを入れて【断面図の出力】をクリックしてください。</p>



「名前を付けて保存」ウィンドウが開きます。

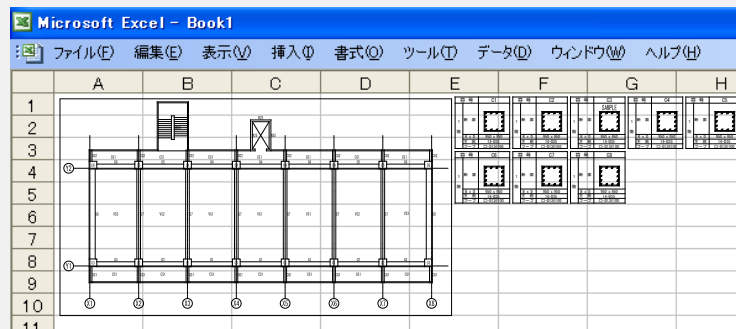
③Excel ファイルの保存場所とファイル名を指定して【保存】アイコンをクリックしてください。



④完了メッセージが表示されます。

【OK】をクリックしてください。

保存した Excel ファイルを開くと指定した部材の断面図の画像が貼り付けられて出力されています。

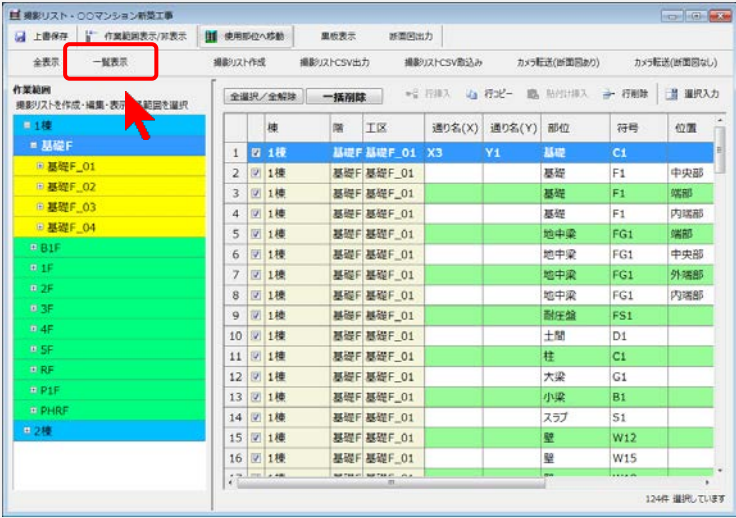


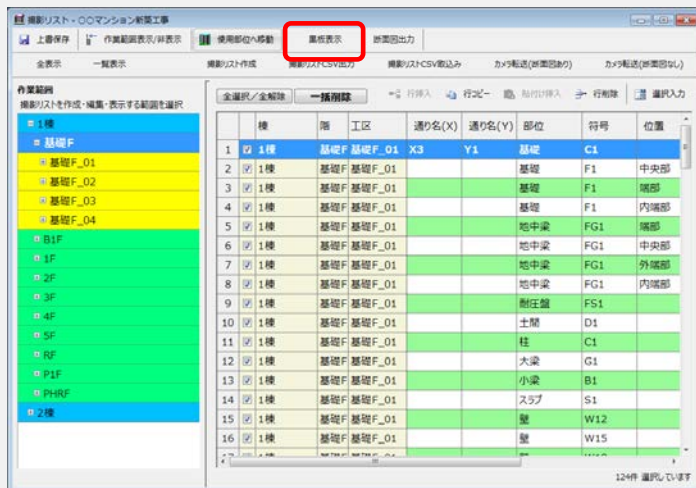
各階別（工区別）に伏図を割り当てておくとも伏図も合わせて出力されます。

（伏図の割り当ては準備作業マニュアル 40 ページ参照）

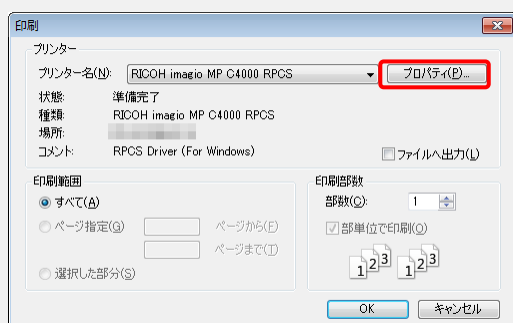
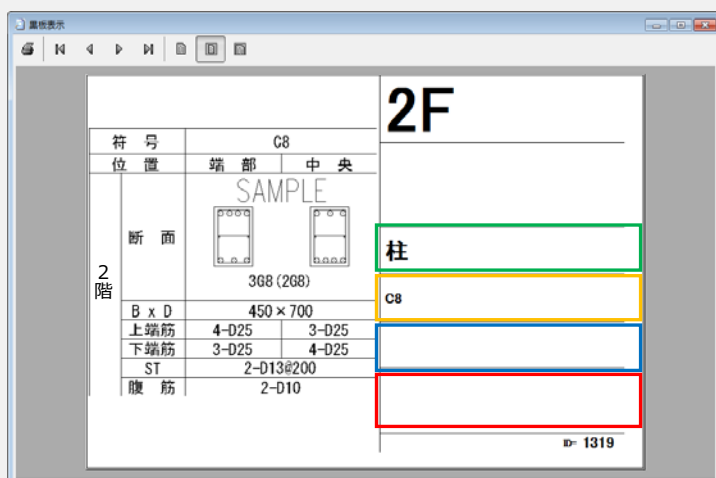
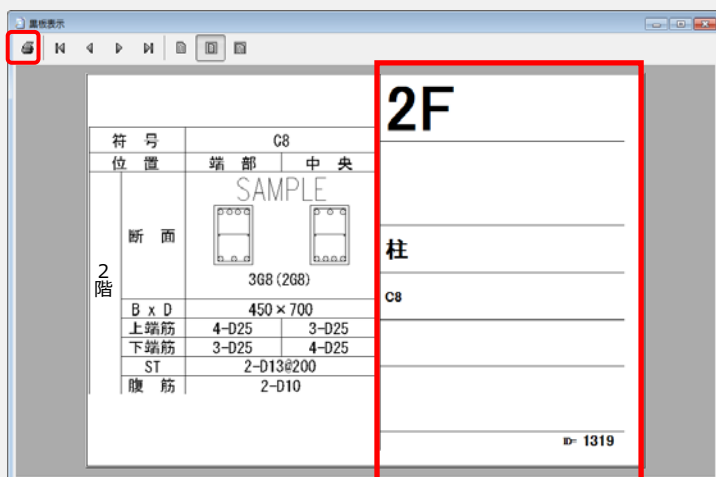
7-4. 黒板添付用部材断面図の出力

断面図切出しで作成された部材断面図画像ファイルを、用紙印刷する事ができます。現場での配筋写真撮影時に黒板へ貼り付ける場合に利用して下さい。

画面イメージ	項目
	<p>①用紙印刷したい部位を選択して【一覧表示】をクリックしてください。</p> <p>選択した部位のリストが表示されます。</p> <p>チェックマークが入っている行が、用紙印刷対象となります。</p>



②用紙印刷するリストへチェックマークを入れて
【黒板表示】をクリックしてください。



黒板表示ウィンドウが開きます。

③印刷アイコンをクリックすると印刷が実行されます。各プリンタのプロパティ設定で、出力用紙サイズを選択した後、印刷して下さい。

【黒板のフォントサイズについて】

部位 = 10文字分

符号 = 30文字分

位置 = 10文字分

備考 = 50文字分

8. Q & A 索引

8-1. 現場作業編

分類	No.	質 問	回 答
部材リスト／カメラ転送ファイル作成	1	部材リストに表示する各部位の表示／非表示する場合	【工事情報】／【部位情報】より各階に表示する部位にチェックを行うとチェックを行った部位のみが表示されます。マスタメンテナンスで部位の追加を行った場合は、【使用部位設定】にてチェックを行わないと表示されませんので、必ずチェックをして下さい。
	2	通り名（X）、通り名（Y）、部位、符号、位置など追加及び修正、削除を行う場合	メニュー画面の【部材リスト】より追加及び修正したい行の部材リストを表示し、変更する行を選択します。変更する各項目をクリックするとマスタ選択が表示されますので、該当するマスタを選択して下さい。
	3	検査者、立会者を入力及び変更する場合	メニュー画面の【部材リスト】より追加及び変更したい行の部材リストを表示し、検査者、立会者欄にて追加及び変更が出来ます。【マスタ選択と直接入力切り替え】での直接入力も行なえます。
	4	備考欄に入力する場合	メニュー画面の【部材リスト】より備考欄に入力したい行の部材リストを表示し、備考欄入力出来ます。
	5	明日撮影したいリストをカメラへ転送したら、今日撮影したリストは残りますか？上書きされますか？	撮影時に表示されるリストは、毎回転送する度に上書きされます。ただし撮影済みの写真に添付されているリストは上書きされませんので、表示することができます。
	6	基礎階のリストに柱がないので B1F と同じリストを基礎階に追加してほしい	①. B1 階の柱リストを CSV 出力 ②. 基礎階の他の部材リストを CSV 出力 ③. ②のファイルから棟 ID、棟名、階、工区 ID、工区名をコピー ④. ①の B1 階ファイルへ棟 ID、棟名、階、工区 ID、工区名を全リストへ貼り付け ⑤. 基礎階で CSV 取込
	7	複数の部材リスト作成を行う場合	メニュー画面の【部材リスト】より表示する部位を選択しますが、その際に【Ctrl キー】+部位をクリックし、一覧表示をクリックすると表示されます。その後、部材リスト作成を行って下さい。
	8	カメラにリストが 1 つしか送信されない。カメラの上下ボタンを押しても別のリストが表示されない	カメラ側の表示設定が、【MODE 1】となっていた。 カメラの Menu ボタンから設定画面を開き、【MODE 2】へ設定変更して下さい。
	9	G800/G700/G600 から RICOH Gate La に写真を取り込めない場合	写真を取り込めない場合は下記の 1) ～ 3) を行って下さい。 1) ケーブル類の接続確認 2) SD カードが入っているか？（メモ機能で 10 メガ使用） 3) カメラとカードの初期化

部材リスト／カメラ転送ファイル作成			<p>1) ～ 3) を行っても取り込みが出来ない場合</p> <p>お問い合わせ先：リコー お客様相談センター</p> <p>TEL 0570-001313</p> <p>営業時間 9:00～17:30（平日）</p> <p>10:00～17:00（土・日・祝日）</p>
	10	カメラメモ情報をカメラへ転送できていたものが、転送できない場合	<p>次の事を確認して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SD カードが書き込み禁止になっていないか ・SD カードの空き容量が不足していないか ・SD カード内のフォルダを削除していないか ・SD カードをカメラで初期化したか
	11	下の階の部材リストを、上の階にコピーしたので、CSV 取り込みを行ったが、追加○件、更新○件と表示され、CSV ファイルより取り込み件数が少なくなる	CSV ファイルの「(No.)」の列の番号を削除して取り込んでください。
	12	部材リストの追加を行う場合	<p>①. 部材リストメニュー画面で、追加したい階の部位を一覧表示</p> <p>②. 行追加アイコンをクリック</p> <p>③. 通り名、部位、符号、位置をマスタから選択</p> <p>④. 上書き保存アイコンをクリック</p>

8-2. 準備作業編

分類	No.	質 問	回 答
工事情報	1	符号は何文字まで使用できるか	半角 11 文字までです。
	2	物件が複数棟ある場合	【工事情報】／【構造情報】より棟フォルダを使用する断面図フォルダ内にチェックを入れて下さい。大分類使用数に該当する数を入力下さい。その後棟名称・地下・地上・塔屋に該当する階数を入力ください。
	3	工区名変更及び工区削除を行う場合	【工事情報】／【構造情報】の初期値は 1F_01 に設定されていますが、【工区名変更】をクリックし、変更する事が出来ます。工区削除する場合は、【工区削除】をクリックし、削除する工区を選択して削除して下さい。

	4	20 階の建物で、中間基準階の部材リストの内容が全く同じなので、コピーする方法	1 フロア作成後に CSV 出力して、内容を他の階の CSV ファイルへ貼り付けたものを取り込んで下さい。
断面図 切出し	1	断面リストを追加及び変更を行いたい場合	追加及び変更する断面図を BMP/JPEG/GIF/PNG 形式といった画像ファイルに CAD データを変換し、SUBMENU の【断面図切出し】より、追加及び変更する画像ファイルを選択し、必要な断面図を切出し、保存して下さい。変更の場合は、変更する断面図を切出し、階、部位、符号を選択し保存すると上書き保存されます。

8-3. その他

分類	No.	質 問	回 答
工事情報／工事出力	1	データを支店で作成したのですが、どのデータを現場へ渡せばよいのか	【工事管理】→【工事出力】の zip ファイルと、マスタの保存 zip ファイル、断面図切出しの画像が保存されたファイルの 3 つです。

配筋撮影ツール マニュアル